
名古屋市科学館

要覧

令和 6 年度



は じ め に

名古屋市科学館は、「みて、ふれて、たしかめて」をコンセプトに掲げ、世界最大級のプラネタリウム、自然のダイナミズムを体感できる4つの大型展示をはじめとした多くの体験型の展示やサイエンスショーなどの実演・実験を通して、楽しみながら科学に触れることのできる施設として親しんでいただいております。

ポストコロナの社会となり、様々な活動が以前の水準に戻りつつある中で、当館におきましても、発券システムの再構築等による休館期間があったにも関わらず、昨年度を上回る多くのお客様にご来館いただきましたことを心よりお礼申し上げます。

令和5年3月から引き続き開催の特別展「スケスケ展 ―スケると見える仕組みの世界―」、野生ネコ科から身近なイエネコまで、最新の研究に基づいてネコ科がもつ魅力に科学で迫った特別展「『ネコ』～にゃんと！クールなハンターたち～」、ゴビ砂漠への探検家を率いたロイ・チャップマン・アンドリュースをはじめとした化石ハンターたちの調査と研究成果を紹介する特別展「化石ハンター展」、私たちの身近な「海」の誕生から現在を多様な生物の紹介とともに解き明かし、さらには海との未来を考える特別展「海 ―生命のみなもと―」と、予定していた特別展をすべて無事に開催することができ、また、企画展、講座・講演会なども数多く開催することができました。これも大学、研究機関、企業を始めとする皆様のご協力あってのことと深く感謝いたします。

また、令和6年3月には発券システムを再構築し、インターネットでの観覧券購入及び団体予約や、クレジットカード等によるキャッシュレス決済、一部観覧券のチケットレス化を実現しました、これまで大きなシステムトラブルも無く、来館者の利便性の向上に大きく寄与していると考えております。

昨今の外国人来館者の増加傾向や、B6形蒸気機関車等の展示といった、当館を取り巻く新たな展開を踏まえ、今後もより多くの皆様に愛される魅力的な施設であり続けられるよう努めてまいりますので、引き続き当館の運営に格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年8月

名古屋市科学館
館長 大路 樹生

科学館の基本理念

- 1 科学の原理と応用を理解し、そのおもしろさ、楽しさを知っていただく。
- 2 人間と科学技術との関わりを考えていただく。
- 3 社会的に関心の大きい問題について科学技術的な理解をはかる。
- 4 市民に科学を通じた生涯学習の場を提供する。

名古屋市科学館では、この基本理念にもとづき、展示、教育普及の諸活動を行うとともに、学校教育との連携、市民科学活動の推進をはかっています。

科学館マスコットキャラクター



「愛称＝アサラ」

アストロ (ASTRO) 宇宙

サイエンス(SCIENCE) 科学

ライフ (LIFE) 生命

の頭文字を取って付けた愛称です。

* 制作意図

形にとらわれない自由な発想によるキャラクター。

見る人の自由な発想によって、宇宙に存在するであろう未知の生物であったり、原子やエネルギーに見えたり、また、生命の源やアメーバであったりする。

青少年の科学に対する興味や関心をやさしく高めるよう、楽しくかわいいマスコットキャラクターとした。

制作者:鈴木 勝さん

科学館シンボルマーク



* イメージ

無限に広がる宇宙の片隅に存在する
青い惑星－地球

そこには、生命・物質・エネルギー
さまざまなものが自然のうちに調和し
ている。

人間は英知(科学とその技術)を持った
生命として、この地球に生まれてき
た。

人間は、自然のバランスをそこなわ
ず、英知をもって幸福に暮らしてい
かなければならない。

制作者:竹中 香奈子さん

目

次

はじめに

科学館の基本理念

施設の概要

- 1 沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 歴代館長等・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - (1) 組織及び職員構成・・・・・・・・・・ 3
 - (2) 諮問機関・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 4 施設概要・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - (1) 各館の概要・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - (2) 建築概要・・・・・・・・・・・・・・ 6
 - (3) ネーミングライツの導入・・・・・・・・ 6
 - (4) 施設・設備概要・・・・・・・・・・・・ 6

令和5年度事業の概要

- 1 展示事業・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - (1) 常設展示・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - (2) 大型展示・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - (3) 各種実演・ショー・・・・・・・・・・ 9
 - (4) スペシャル実演・・・・・・・・・・ 10
 - (5) 話題の科学・・・・・・・・・・・・・・ 10
 - (6) Multilingual Museum Guide・・・・ 11
- 2 特別展及び企画展・・・・・・・・・・ 12
 - (1) 特別展「スケスケ展 - スケると見える
仕組みの世界 - 」・・・・・・・・・・ 12
 - (2) 特別展「『ネコ』～にゃんと！クールな
ハンターたち～」・・・・・・・・・・ 12
 - (3) 企画展「プラネタリウム 100 周年」 13
 - (4) 特別展「化石ハンター展 ゴビ砂漠の恐
竜とヒマラヤの超大型獣」・・・・ 13
 - (5) 特別展「海 - 生命のみなもと - 」・ 15
- 3 プラネタリウム投影・・・・・・・・ 16
 - (1) 一般投影・・・・・・・・・・・・・・ 16
 - (2) ファミリーアワー・・・・・・・・・・ 16
 - (3) 学習投影・幼児投影（学校等団体
向け）・・・・・・・・・・・・・・ 16
 - (4) 特別投影・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 4 教育普及事業・・・・・・・・・・・・ 18
 - (1) 天文分野・・・・・・・・・・・・・・ 18
 - (2) 理工分野・・・・・・・・・・・・・・ 19
 - (3) 生命環境分野・・・・・・・・・・・・ 20
 - (4) その他イベント・・・・・・・・・・・・ 22
 - (5) オンラインによる情報発信・・・・ 24
 - (6) 出前ミュージアム（その道の達人
派遣事業）及び館外事業・・・・・・ 26
 - (7) ボランティアの養成及び活用・・・・ 28

- (8) 科学館友の会・・・・・・・・・・・・ 31
- (9) 名古屋少年少女発明クラブとの
連携事業・・・・・・・・・・・・・・ 32
- (10) コンクール事業・・・・・・・・・・・・ 36
- (11) 博物館実習生の受入れ・・・・・・・・ 36
- (12) 職場体験学習・職場訪問学習など 37
- 5 調査研究・・・・・・・・・・・・・・ 38
- 6 印刷物の発行・・・・・・・・・・・・・・ 39
- 7 広報活動・・・・・・・・・・・・・・ 39
- 8 他施設との交流・・・・・・・・・・・・ 40
 - (1) 国内活動・・・・・・・・・・・・・・ 40
 - (2) 国際活動・・・・・・・・・・・・・・ 40
 - (3) 視察受入れ・・・・・・・・・・・・・・ 40
 - (4) 芸術と科学の杜・・・・・・・・・・・・ 40
 - (5) 研究機関等との相互協定等・・・・ 41
 - (6) 3 館コラボ企画・・・・・・・・・・・・ 41
- 9 高校生科学力向上促進事業・・・・ 41
 - (1) 令和 5 年度 高校生のための科学の日
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
 - (2) 高校生による科学の広場 発表・・・ 42
- 10 あいち・なごやノーベル賞受賞者
記念室・・・・・・・・・・・・・・ 42
- 11 研修・講座等・・・・・・・・・・・・・・ 43
- 12 情報収集保存活動・・・・・・・・・・・・ 47
 - (1) 情報資料室・・・・・・・・・・・・・・ 47
 - (2) インターネット・・・・・・・・・・・・ 47
- 13 令和 5 年度入館者状況・・・・・・・・ 48
 - (1) 月別利用状況（個人・団体別）・・・・ 48
 - (2) 月別利用状況（利用種別）・・・・ 48
 - (3) 団体地域別入館者数・・・・・・・・ 49

参考資料

- 1 年度別入館者数・・・・・・・・・・・・ 50
- 2 常設展示品・・・・・・・・・・・・・・ 52
- 3 年度別決算・・・・・・・・・・・・・・ 57
- 4 展示協力・・・・・・・・・・・・・・ 60
- 5 特別展及び企画展・・・・・・・・・・・・ 66
- 6 観覧料の変遷・・・・・・・・・・・・・・ 71
- 利 用 案 内・・・・・・・・・・・・・・ 73
- 名古屋市科学館条例・・・・・・・・・・・・ 74
- 名古屋市科学館条例施行規則・・・・・・ 77

施 設 の 概 要

1 沿 革

名古屋市科学館は市制施行 70 周年記念事業の一環として、昭和 37 年 11 月に天文館が建設され、その後、昭和 39 年 11 月に理工館が、平成元年 4 月に生命館が開館し、総合科学館として平成 24 年 11 月 3 日に開館 50 周年を迎えた。平成 23 年 3 月には、老朽化していた天文館・理工館を改築し、世界最大のプラネタリウムと 4 つの大型展示を備えた新たな施設として開館し、11 月には屋外展示及び外構工事の完了をもって、新館整備に係る全ての工事が終了しグランドオープンした。

昭和 33. 9. 25	科学館建設調査委員会初会合	16. 12. 23～25	ロボットサッカー国際交流会開催
35. 12. 16	第 1 期工事(天文館)建設着工	17. 3. 2	「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
36. 1. 11	起工式挙行	17. 7. 25～29	万博ロボットサッカー国際交流会開催
36. 11. 1	科学館開設準備室設置	18. 1. 25	「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
37. 8. 10	市立名古屋科学館条例公布・施行	19. 2. 7	「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
37. 10. 31	第 1 期工事(天文館)完工	20. 10. 1	理工館・天文館改築工事着工
37. 11. 1	開館式挙行	21. 5. 16	入館者 2,500 万人達成
37. 11. 3	天文館一般公開	22. 9. 1～	理工館・天文館改築に伴う休館
38. 6. 29	第 2 期工事(理工館)建設着工	22. 10. 11～31	生物多様性条約第 10 回締約国会議開催に伴い生命館を開館
39. 10. 30	第 2 期工事(理工館)完工	23. 3. 19	理工館・天文館一般公開
39. 11. 1	理工館一般公開		ネーミングライツ契約により、プラネタリウム名称を「Brother Earth」とする。
40. 9. 29	上原科学技術庁長官視察	23. 4. 1	国立極地研究所との相互協力に関する協定を結ぶ
42. 4. 1	博物館相当施設に指定	23. 10. 4	新館入館者 100 万人達成
47. 4. 1	総務局から市民局へ移管	23. 11. 6	新館グランドオープン記念式典挙行
47. 11. 1	開館 10 周年記念式典挙行	23. 12. 12	世界最大のプラネタリウム「Brother Earth」がギネス世界記録に認定
50. 10. 11	アメリカ合衆国カリフォルニア科学産業博物館と姉妹博物館提携	24. 3. 19	名古屋大学理学部との相互協力に関する協定を結ぶ
53. 8. 20～24	国際プラネタリウム館長会議(IPDC)開催	24. 5. 1	名古屋大学情報文化学部との相互協力に関する協定を結ぶ
55. 4. 1	市民局から教育委員会へ移管	24. 7. 16	新館入館者 200 万人達成
56. 11. 21	西館建設調査委員会初会合	24. 7. 18	(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)と相互協力に関する協定を結ぶ
57. 11. 1	開館 20 周年記念事業開催	24. 9. 10	「芸術と科学の杜」シンボルマーク決定
60. 1. 20	入館者 1,000 万人達成	24. 11. 3	名古屋市科学館開館 50 周年記念式典挙行
60. 3. 20	65 cm反射望遠鏡設置	25. 3. 26	名古屋大学博物館と相互協力に関する協定を結ぶ
61. 9. 3	生命館建設着工	25. 4. 1	初代名誉館長に益川敏英氏(ノーベル物理学賞)就任
63. 11. 30	生命館完工	25. 9. 29	中京大学人工知能高等研究所と相互協力に関する協定を結ぶ
63. 12. 2	シンボルマーク及びキャラクター(アサラ)決定	26. 1. 19	入館者 3,000 万人達成
平成元. 4. 28	生命館開館記念式典挙行	26. 8. 27	新館入館者 500 万人達成
元. 4. 29	「市立名古屋科学館」を「名古屋市科学館」に名称変更	28. 3. 29	名古屋市立大学との連携協力に関する覚書を結ぶ
	生命館一般公開	29. 8. 23	入館者 3,500 万人達成
元. 6. 14	名古屋市科学館協議会設置	30. 6. 17	新館入館者 1,000 万人達成
元. 7. 25	三笠宮崇仁殿下ご視察	令和元. 5. 1	第 2 代名誉館長に小林誠氏(ノーベル物理学賞)就任
	高円宮憲仁親王殿下並びに久子妃殿下ご視察	元. 8. 17	プラネタリウム観覧者数 2,000 万人達成
2. 1. 22	博物館登録	2. 1. 22	愛知教育大学と相互連携に関する協定を結ぶ
3. 4. 7	皇太子徳仁親王殿下ご視察	2. 2. 29	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため臨時休館
4. 11. 1	開館 30 周年記念式典挙行	～6. 1	あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室開設
5. 7. 24	入館者 1,500 万人達成	3. 3. 23	ネーミングライツ契約により、プラネタリウム名称を「NTP ぶらねっと」に変更
6. 3. 24	受変電設備火災事故発生	3. 4. 1	入館者 4,000 万人達成
	翌日(3. 25)から休館	4. 9. 28	観覧券のオンライン販売を開始
6. 7. 1	火災事故復旧工事完了・開館	6. 3. 1	
9. 7. 29	文部省科学系博物館活用ネットワーク推進事業受託		
9. 8. 2	高円宮憲仁親王殿下並びに久子妃殿下ご視察		
10. 10. 22	科学技術振興事業団・科学館整備モデル事業受託		
11. 5. 7	秋篠宮文仁親王殿下特別展ご視察		
12. 3. 14～16	アジア太平洋地域科学館協会総会等開催		
12. 11. 11	入館者 2,000 万人達成		
14. 4. 1	発明発見創造クラブ設立(～19. 3. 31)		
14. 10. 25	文部科学省科学系博物館教育機能活用推進事業受託		
15. 3. 27	フランス国立「パリ発見の宮殿」と交流計画に関する合意書調印		

2 歴代館長等

(敬称略)

館 長 名		期 間
初 代	清水 勤二	昭和 37 年 8 月 10 日～ 昭和 39 年 5 月 31 日
第 2 代	杉戸 清	昭和 39 年 6 月 1 日～ 昭和 40 年 6 月 15 日
第 3 代	久恒 中陽	昭和 40 年 6 月 16 日～ 昭和 46 年 4 月 30 日
第 4 代	今城 栄次郎(助役・事務取扱)	昭和 46 年 5 月 1 日～ 昭和 47 年 1 月 9 日
第 5 代	佐藤 知雄	昭和 47 年 1 月 10 日～ 昭和 61 年 3 月 31 日
第 6 代	岡田 博	昭和 61 年 4 月 1 日～ 平成 4 年 12 月 31 日
第 7 代	樋口 敬二	平成 5 年 1 月 1 日～ 平成 17 年 3 月 31 日
第 8 代	岡田 大(教育長・事務取扱)	平成 17 年 4 月 1 日～ 平成 18 年 3 月 31 日
第 9 代	柳田 博明	平成 18 年 4 月 1 日～ 平成 18 年 11 月 20 日
第 10 代	岡田 大(教育長・事務取扱)	平成 18 年 12 月 1 日～ 平成 19 年 3 月 31 日
第 11 代	石丸 典生	平成 19 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 3 月 31 日
第 12 代	瀬瀬 満	平成 26 年 4 月 1 日～ 令和 5 年 3 月 31 日
第 13 代	大路 樹生	令和 5 年 4 月 1 日～

名 誉 館 長 名		期 間
初 代	益川 敏英	平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日
第 2 代	小林 誠	令和元年 5 月 1 日～

ア ド バ イ ザ ー		期 間
初 代	瀬瀬 満	令和 5 年 4 月 1 日～

(2) 諮問機関

① 名古屋市科学館協議会

博物館法及び名古屋市科学館条例に基づいて設置されており、科学館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対し意見を述べる機関とされている。

科学館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命しており、条例により、定数は15人以内で、任期は2年とされている。

(敬称略)

氏 名	役 職 名	氏 名	役 職 名
江 崎 友 美	名古屋市立筒井小学校長	長 谷 川 好 規	(独)国立病院機構 名古屋医療センター名誉院長
榑 原 正 意	愛知県立港特別支援学校長	井 上 直 子	名古屋大学大学院 生命農学研究科准教授
林 文 敏	愛知県私学協会副会長	横 山 清 子	名古屋市立大学 データサイエンス学部教授
横 地 道 代	名古屋市地域女性団体 連絡協議会書記	富 成 義 郎	名古屋商工会議所副会頭
後 藤 め ぐ み	名古屋市立小中学校 PTA協議会理事	古 田 真 一	(株)中日新聞社名古屋本社 事業局次長
鈴 田 守	(公 募)	吉 野 真 史	日本放送協会名古屋放送局長
		武 藤 陽 一	(公財)中部科学技術センター 専務理事

[令和6年8月1日現在]

② 名古屋市科学館企画調査委員

科学に関する資料及び装置(科学館資料)に関し、調査研究を行い、もって科学館の充実を図るため、設置されており、委員は、館長の依頼を受け、科学館資料の収集及び展示の調査研究並びにその他科学館資料の専門的事項の調査研究に関することを処理するとされている。

委員は、教育委員会が選任している。

(敬称略)

氏 名	役 職 名	氏 名	役 職 名
水 谷 法 美	名古屋大学大学院 工学研究科教授	金 田 英 宏	名古屋大学大学院 理学研究科教授
中 貴 俊	中京大学工学部 メディア工学科准教授	吉 田 英 一	名古屋大学博物館 資料基盤研究系教授
飯 田 浩 史	名古屋市工業研究所 材料技術部部長	森 健 策	名古屋大学大学院 情報学研究科教授
天 野 浩	名古屋大学未来材料・システム研究所 未来エレクトロニクス集積研究センター長	清 水 裕 彦	名古屋大学大学院 理学研究科教授
成 瀬 清	基礎生物学研究所特任教授	赤 津 裕 康	国立長寿医療研究センター ロコモブレイルセンター長
寺 田 光 宏	岐阜聖徳学園大学 教育学部教授	遠 藤 守	名古屋大学大学院 情報学研究科准教授

[令和6年8月1日現在]

4 施設概要

当館は昭和 37 年に「天文館」、昭和 39 年に「理工館」、平成元年に「生命館」を開館した。天文館と理工館は平成 22 年 8 月をもって閉館し、改築整備を進めてきた新館を含めた新たな施設となった。改築後の科学館も従来と同じ天文館、理工館、生命館という 3 館で構成している。

（１）各館の概要

＜理工館＞

エントランスがあり、観覧者が最初に入館する施設。

2 階から 6 階までが常設展示室、地下に特別展・企画展等を開催するイベントホール、7 階に天文台、3 階と 7 階に休憩室がある。

常設展示室には、子どもたちの科学的な気づきを促す展示から、最先端科学を扱った展示があり、分野も科学技術全般に渡り幅広く取り扱っている。

通常の展示品のほか、2 階層の吹き抜けを用いた大型展示品も整備した。

＜天文館＞

主に球体の施設部分であり、4 階から 6 階までのフロアで構成されている。

4 階は実演を行うサイエンスステージ、5 階は常設展示室、6 階にプラネタリウムがある。

プラネタリウムでは、幼児を含む幅広い年齢層を対象に、単に憧れとしての星空を眺めるだけではなく、天文知識や現象を正確に伝え、さらに、本当の星空にまで興味が広がるような番組構成・解説を行っている。

＜生命館＞

2 階から 5 階までが常設展示室、6 階に講座を開催する実験室や学習室、1 階に休憩室、地下 2 階に「あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室」が設置されたサイエンスホールがある。

常設展示室では、生命とは何かをあらゆる角度から総合的に解明しようとする生命科学をテーマに、「生命」「人体」「生活」及び「地球」のグループを設定し、この地球という惑星の上で、人類が豊かで健康な暮らしをするための問いかけをしている。

(2) 建築概要

区 分	各棟別	理工館・天文館	生 命 館
敷 地 面 積	13,661.95 m ²		
建 築 面 積	4,263.62 m ²	3,063.80 m ²	1,199.82 m ²
延 床 面 積	22,551.32 m ²	15,735.19 m ²	6,816.13 m ²
構 造	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋	地上 7 階	地上 9 階
	コンクリート造	地下 2 階	地下 2 階
常設展示室	11 室 6,817 m ²	6 室 4,338 m ²	5 室 2,479 m ²
開 館 日		平 23. 3. 19	平元. 4. 29*

*生命館地下2階は、令和3年3月23日に「あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室」を開設

(3) ネーミングライツの導入

対象施設：プラネタリウムドーム

愛称：NTP ふらねっと

権利内容：施設命名権、施設サイン掲出権等

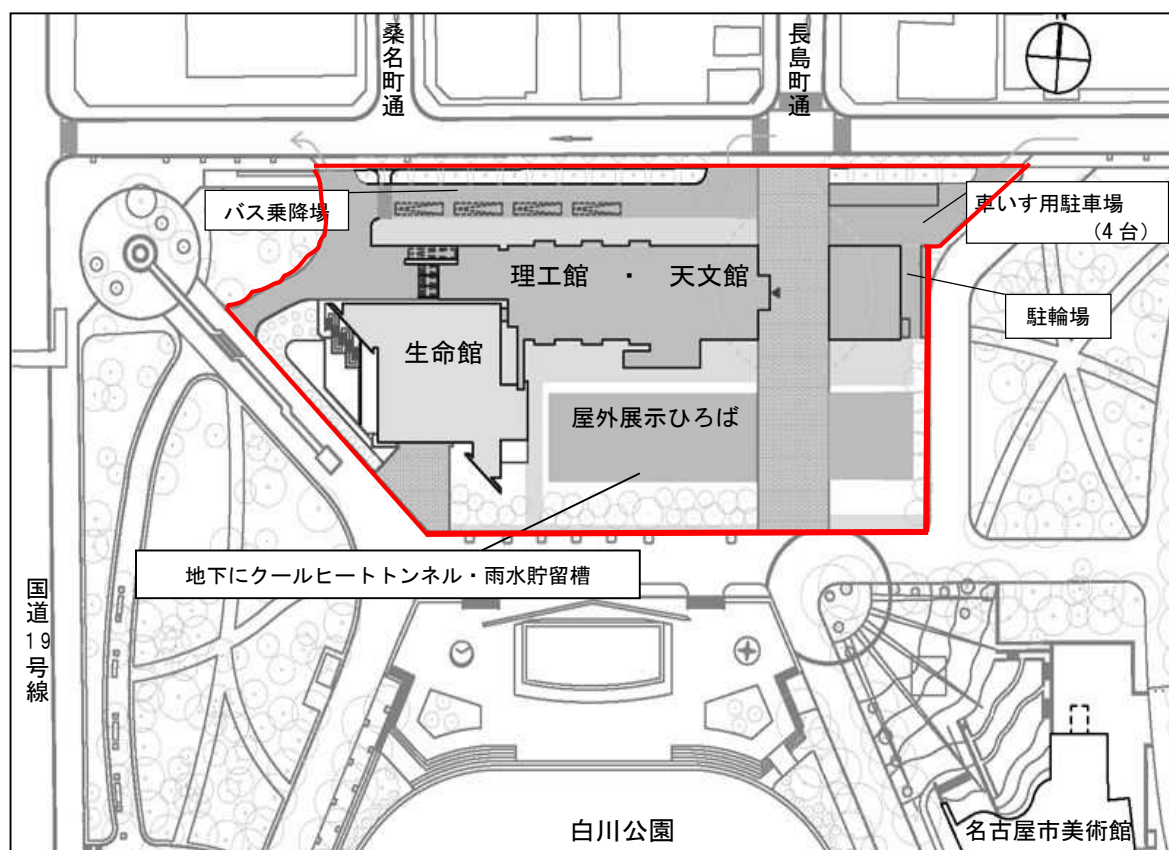
ネーミングライツスポンサー：NTP ホールディングス株式会社

契約期間：令和3年4月1日から令和8年3月31日

(4) 施設・設備概要

天 文 館	理 工 館	生 命 館	そ の 他
プラネタリウム 「NTP ふらねっと」 【830 m ² (350 席)】	天文台 【87 m ² 】	第2 実験室 【120 m ² (36 席)】	
プラネタリウム 制作室	7 階休憩室 【187 m ² (96 席)】	学習室 【102 m ² (54 席)】	
サイエンスステージ 【173 m ² (66 席)】	第1 実験室 【115 m ² (48 席)】		
	3 階休憩室 【251 m ² (84 席)】		カフェ 【157 m ² (65 席)】
	情報資料室 【97 m ² 】	1 階休憩室 【385 m ² (170 席)】	ミュージアム ショップ 【104 m ² 】
	イベントホール 【777 m ² 】	サイエンスホール 〔あいち・なごやノー ベル賞受賞者記念室〕 【302 m ² (224 席、補 助椅子 28 席)】	

- 35m プラネタリウムドーム「NTP ぷらねっと」
 - 統合システム（全システムを統合・生解説用コンソール）
 - 光学式プラネタリウム（ユニバーサリウム IX 型（名古屋市特別仕様））
 - デジタル式プラネタリウム（MediaGlobe Σ SE for Allsky）
 - 天の川投影機（MediaGlobe Σ SE for UNIVERSARIUM）
 - デジタルパノラマ（MediaGlobe Σ SE for Panorama）
 - 補助投影システム（解説用 DLA-V7 5 台、案内用 RCQ10jLB 9 台）
 - 音響システム（D-SICS）
 - 補聴システム（赤外線、及び磁気ループ）
 - 効果照明システム（スカイペイント）
 - 通路 LED
 - レーザーシステム（アウロラ）
 - 座席（350 席、全席リクライニング、左右 30° 回転）
- プラネタリウム制作室（5m ドーム）
 - 制作システム（SCD5）
- 天文台
 - 80cm カセグレン式反射望遠鏡
 - （周辺機器：20cm 屈折望遠鏡、デュアルワンダーアイ、スターイメージレイヤー他）
- 星のひろば
 - 15cm ケプラー式屈折望遠鏡 6 台、レーザーシステム一式
- 30cm 太陽望遠鏡（太陽投影像 194cm）
 - （周辺機器：10cm 白色像用屈折望遠鏡、10cm H α 像用屈折望遠鏡、分光器他）
- 屋外展示ひろば
 - H-IIB ロケット、市電 1400 型ボギー車、SM50S 型雪上車 522 号車他



令和5年度事業の概要

1 展示事業

(1) 常設展示

科学との出会いから、身近なくらしへ、そして宇宙や地球内部へと、科学に対する興味を広げていくようにテーマを設定している。

館	展 示 室 名	展 示 内 容
天文	5階 宇宙のすがた	広大な宇宙のスケールを実感するとともに、宇宙の姿とその不思議を紹介
理工	2階 不思議のひろば	「みる・きく・さわる・うごかす」といった体験を通して、科学の不思議さや楽しさとの出会いの場を演出する
	3階 技術のひろがり	身のまわりにある機械の仕組みや、ものづくりの知恵を科学の視点で紹介
	4階 科学原理とのふれあい	波動、電磁気、運動など自然界の原理や法則について紹介
	5階 物質・エネルギーのせかい	暮らしを支える材料、エネルギーや、物質を構成する原子・分子について様々な視点で紹介
	6階 最先端科学とのであい	地球環境を理解するため、宇宙と地下に挑む科学のフロンティアを紹介
生命	地下 2階 あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室	愛知・名古屋ゆかりのノーベル賞受賞者の業績や研究内容を展示
	2階 地球のすがた	地球上で見られる現象や地球環境の歴史などについて紹介
	3階 生活のわざ	豊かな暮らしを送るための人間の「衣」、「食」、「住」とさまざまな生物とのかかわりを展示
	4階 人体のふしぎ	自分自身の「からだ」のふしぎさ・大切さについて学ぶ展示
	5階 生命のひみつ	地球上の生物に共通する生命のしくみと、多様性の謎に迫ろうとする展示
屋 外		H-IIB ロケットや市電などの大型の実物展示を間近でみることができる

(2) 大型展示

館	大型展示	展 示 内 容
理工	2～3階 水のひろば	「雲、雨、川、海」による水の循環の表現や音と光を連携させた演出を観察するとともに、水を使った様々な実験をする。
	3～4階 竜巻ラボ	3本の柱からの横方向の風で回転流をつくり、上方より空気を吸い上げることで発生した巨大な竜巻を観察し、自然界のエネルギーを体感する。
	4～5階 放電ラボ	2基の大型テスラコイルから向かってくる放電により、ダイナミックな電気エネルギーを体感する。
	5階 極寒ラボ	マイナス 30℃の極低温空間で起こる現象を観察し、極地を疑似体験する。

(3) 各種実演・ショー

実演場所		名 称	実演・実験内容	令和4年度		令和5年度	
				回数 (回)	参加者数 (人)	回数 (回)	参加者数 (人)
理工館	2階	水のひろば	水の循環と水の性質について知識を深める演出	来館者対象		来館者対象	
	3階	モノづくり都市パノラマ	名古屋を参考にした架空の都市パノラマにて、人、モノ、エネルギーなどの流れを中心に説明	884	23,571	936	27,465
		竜巻ラボ	人工的に竜巻そっくりの空気の渦をつくり出すことができる実験装置で高さ約9mの渦を観察	1,006	74,809	939	79,874
	4階	放電ラボ	放電現象がどのようなメカニズムで起きているのか、轟音をともなう激しい電気スパークを観察し理解する	1,383	44,520	1,737	65,275
	5階	極寒ラボ	マイナス30℃の世界を体験しながらオーロラの映像を見たり、氷の実験や氷の結晶を観察	2,430	23,009	3,141	39,683
天文館	4階	サイエンスステージ	・ハカセ対決 ～燃焼編～ ・ふれ ふれ フレール ・まわる まわる まわる ・おば化な実験室 ・慣性で大歓声 ・うかしてとばして大実験 ・みんなのくうき ・浮くかな、沈むかな、どっちかな ・プラスとマイナス・静電気 ・ハカセとサンタのメリークリスマス ・夏祭り屋台サイエンス ・サイエンスショッピング ・スーパー☆マグネット	863	29,452	914	70,454
生命館	5階	生命ラボ	・あれ？目のさっかく ・紫外線を防ぐのは？ ・恐竜パズル ・シロアリの不思議な行動 ・ダンゴムシはジグザグがお好き？！ ・手のホネ ・マイクロペットを使ってみよう！ ・煮干しの解剖 ・これがプラナリアだ！ ・ゾウリムシのからだ ・葉緑体を見よう ・顕微鏡で見よう	412	3,642	386	3,669

※令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部の実演・ショーは回数・定員を減らして行った。
 なお、極寒ラボは令和3年11月9日から再開した。

(4) スペシャル実演

実演場所	事業名	開催期日	回数(回)	参加者数(人)
生命館 5 階	のぞいてみよう！ミクロの世界	月 3 回日曜日	70	756

(5) 話題の科学

理工館 6 階		
コーナー	テーマ	展示時期
右	くり返す電力ひっ迫に迫る	令和 4 年 10 ～ 令和 5 年 4 月
	ジーンズ 150 周年	令和 5 年 4 ～9 月
	関東大震災 100 年 (1)	令和 5 年 9～11 月
	リチウムイオン電池にひそむリスク	令和 5 年 11～ 令和 6 年 2 月
	潜水撮影の舞台裏	令和 6 年 3 月～
左	名古屋市科学館で SDGs を考える	令和 4 年 12 ～ 令和 5 年 9 月
	関東大震災 100 年 (2)	令和 5 年 9 ～11 月
	関東大震災 100 年 (統合)	令和 5 年 11～12 月
	月探査のいま	令和 5 年 12 月～ 令和 6 年 2 月
	潜水撮影の舞台裏	令和 6 年 3 月～
生命館 4 階		
人体 ニュース	新型コロナウイルス	令和 2 年 9 月～
	続・新型コロナウイルス SARS-CoV-2 (サーズ コヴ ツー) ワクチンと変異、新型コロナウイルス 3D 模型	令和 4 年 4 月～
	「新型コロナウイルスと細胞の結合部分」模型	令和 4 年 8 月～
生命館 5 階		
バイオ ギャラリー	食われるだけじゃない！いきもの	令和 4 年 8 月～ 令和 5 年 8 月
	なごやネコあつめ	令和 5 年 8 月～ 令和 6 年 2 月
	なごやのざんねんじゃない！いきもの 哺乳類編 スナメリ	令和 6 年 3 月～
天文館 5 階		
デモ スペース	はやぶさ 2 のリュウグウ探査	平成 31 年 4 月～ (随時更新)
	企画展「プラネタリウム 100 周年」	令和 5 年 9～10 月

(6) Multilingual Museum Guide (外国語音声案内サービス)

ブラザー工業株式会社の提供により、平成 26 年 11 月 5 日（水）から運用を開始し、平成 30 年 10 月 30 日（火）からは QR コードを用いた方式に改良して運用している。

※令和 6 年 6 月に、ソフトウェアサポート終了のため撤去

○サービス概要

来館者自身のスマートフォンを利用した外国語音声案内サービスで、専用の無料アプリケーションをインストールし、展示品に添付された QR コードを読み取ると音声案内が再生される。

専用アプリケーションのダウンロードは、科学館エントランスホールに設置の無料 Wi-Fi スポットを利用して行うことができる。

○対応言語

英語 中国語（繁体、簡体） 韓国語 日本語

○対応展示

理工館 3 階から 5 階までの展示 29 点

2 特別展及び企画展

(1) 特別展「スケスケ展—スケると見える仕組みの世界—」

- ①開催趣旨 最新の映像技術を用い様々な構造物や生物の外側と内側の機能・仕組みを、スケる(透ける)を通して紹介する展覧会、デジタル技術を用いたスケる体験や、透明標本の展示などを通じて外と内の関係性を感じたり意外な発見があったりと「見えない部分を見てみたい」という好奇心をくすぐります。
- ②開催期間 3月18日(土)～6月11日(日) 開催日数 60日
- ③入場者 90,107人
- ④会場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主催 名古屋市科学館、東海テレビ、中日新聞社
- ⑥協力 福岡市科学館、青島文化教材社、河合楽器製作所、久留米工業大学、株式会社 Sky Drive、名古屋市工業研究所、名古屋市交通局、名古屋市博物館
- ⑦企画協力 西日本新聞社、RKB 毎日放送
- ⑧企画・制作 K00-KI
- ⑨入場料
- | | | |
|-----|--------|--------------|
| 一般 | 1,500円 | [前売券 1,300円] |
| 高大生 | 800円 | [前売券 600円] |
| 小中生 | 500円 | [前売券 300円] |
- ⑩展示内容 自分の体の中はどうなっているのか、見る「にんげんスケスケ」、いろんな骨から外側を推測する「どうぶつスケスケ」、愛知・名古屋のモノづくりを見る「ナゴヤスケスケ」、ピアノや車など身近な製品だけど知らなかった内側を知る「くらしスケスケ」、体がスケている水生生物を展示した「アクアスケスケ」のコーナーに分けて展示した。

(2) 特別展「『ネコ』～にゃんと！クールなハンターたち～」

- ①開催趣旨 哺乳類の中で完全に肉食に特化した“究極のハンター”、ネコ科。現在、40種の野生ネコ科が地球上の多様な環境に適応し、生態系のさまざまな生き物と関わり合って暮らしている。本展では、ライオンやマヌルネコなどの野生ネコ科から身近で愛されるイエネコまで、最新の研究に基づいてネコ科がもつ生物としての魅力を科学の視点から紹介した。
- ②開催期間 7月15日(土)～9月18日(月・祝) 開催日数 54日
※8月15日(火)は台風7号接近に伴い臨時休館
- ③入場者 83,943人
- ④会場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主催 名古屋市科学館、読売新聞社、メ〜テレ
- ⑦特別協力 北九州市立いのちのたび博物館
- ⑧入場料
- | | | |
|-----|--------|--------------|
| 一般 | 1,800円 | [前売券 1,600円] |
| 高大生 | 1,000円 | [前売券 800円] |
| 小中生 | 500円 | [前売券 300円] |
- ⑨展示内容 剥製や骨格標本、映像を交えた展示で、“超肉食獣”として進化したネコ科の身体の

特徴や野生の生態を解説し、日本に生息するヤマネコとそのフィールド研究・保全なども詳しく紹介した。また、イエネコについても、野生ネコ科との共通性から注目の最新研究までを体験展示や模型などで楽しく学べるよう工夫した。

（３）企画展「プラネタリウム 100 周年」

- ①開催趣旨 近代的な光学式プラネタリウムは今から 100 年前のドイツで生まれました。100 年間でプラネタリウムは世界中に広まり、進化を遂げています。本企画展ではプラネタリウムの歴史や仕組みを、パネル展示や貴重な資料等を用いてご紹介します。またいくつかの家庭用小型プラネタリウムの見え方や、最新のデジタル式プラネタリウムの仕組みを体験できるコーナーを用意します。
- ②開催期間 9 月 26 日（火）～10 月 22 日（日） 開催日数 23 日
- ③入 場 者 34,389 人
- ④会 場 天文館 5 階 「宇宙のすがた」
- ⑤主 催 名古屋市科学館
- ⑥協 力 日本プラネタリウム協議会、カール・ツァイス・イエナ GmbH、有限会社大平技研、コニカミノルタプラネタリウム株式会社、株式会社五藤光学研究所、株式会社リアルビズ、雑居ゼミ、金城学院大学岩崎ゼミ、Astrolab/PolanoLLC、合同会社アルタイル、アストロアーツ／星ナビ編集部
- ⑥入 場 料 無料（常設展観覧料で観覧可能）
- ⑦展示内容 天文館 5 階に常設しているプラネタリウムに関する展示に加え、以下の展示等を行いました。
- ・プラネタリウムの歴史を紹介するパネル展示
 - ・ツァイスⅣ型プラネタリウムの設置当時に納品された図面（初公開）
 - ・様々な家庭用プラネタリウムの見え方比較
 - ・展示室にミニドームを設置し、デジタル式プラネタリウムの映像とその投影方法の紹介

（４）特別展「化石ハンター展 ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣」

- ①開催趣旨 「化石ハンター」とは、地層の中に眠る化石を発掘・研究する挑戦者。本展では、およそ 100 年前に哺乳類の進化を探るゴビ砂漠への探検隊を率いたロイ・チャップマン・アンドリュースをはじめ、彼に続く名だたる化石ハンターたちの調査と研究成果を紹介し、来場者に化石や化石ハンターたちの魅力を伝えることを目指した。
- ②開催期間 11 月 11 日（土）～2 月 18 日（日） 開催日数 76 日
- ③入 場 者 68,951 人
- ④会 場 理工館地下 2 階 イベントホール
- ⑤主 催 名古屋市科学館、日本経済新聞社、中日新聞社、東海テレビ、テレビ愛知、TOKAI RADIO
- ⑥協 力 アメリカ自然史博物館、神奈川県立生命の星・地球博物館、群馬県立自然史博物館、高知大学、滋賀県立琵琶湖博物館、名古屋大学博物館、兵庫県人と自然の博物館、福井県立恐竜博物館、福島県立博物館、北海道大学総合博物館、三重県総合博物館、瑞

浪市化石博物館、美濃加茂市民ミュージアム、日経サイエンス、日経ナショナル ジオグラフィック

⑦特別協力 国立科学博物館

⑧後援 JR 東海、愛知県教育委員会、愛知県私学協会、愛知県子ども会連絡協議会

⑨入 場 料 一般 1,800 円 [前売券 1,600 円]
 高大生 900 円 [前売券 800 円]
 小中生 500 円 [前売券 300 円]

⑩展示内容 およそ 120 点の恐竜や哺乳類の化石標本を展示し、この 100 年あまりの化石ハンターたちの調査と研究成果について紹介した。展覧会の後半では、現代の化石ハンターたちが提唱し、古生物学界で注目を集める「アウト・オブ・チベット」説について解説するとともに、この学説のきっかけとなった「チベットケサイ」の全身復元骨格標本と生体復元モデルを世界初公開した。展覧会の最後には、名古屋会場限定の展示として東海地方で発見された化石を展示し、身近にある化石や化石発掘の楽しさを伝えた。

⑪関連事業

内容	協力・講師	実施日	参加者数
ナイトミュージアム		1 月 12 日 (金) 1 月 13 日 (土) 1 月 27 日 (土) 1 月 28 日 (日)	1,301
ギャラリートーク	富田幸光・木村由莉 (国立科学博物館)	11 月 24 日 (金) 1 月 14 日 (日)	80
化石ハンター育成プロジェクト (高校生・教員対象)	瑞浪市化石博物館	12 月 10 日 (日) 12 月 23 日 (土) 12 月 24 日 (日)	19
化石ハンター育成プロジェクト 「未来の化石ハンターへ」 (一般対象)		12 月 24 日 (日)	56
「あばれる君と目指せ！化石ハンター」	あばれる君 (タレント) 木村由莉 (国立科学博物館)	1 月 13 日 (土)	124

(5) 特別展「海 - 生命のみなもと - 」

- ①開催趣旨 海は、水惑星地球の象徴であり、地球上のあらゆる生命のみなもと。そして地球表層の物質とエネルギーの循環を駆動し、そこに成り立つ生態系を育んできた。私たち人類は海のめぐみを享受すると同時に、海の厳しさを乗り越えることで繁栄してきたが、現代では人間活動に伴う環境への影響が海でも様々な変化として顕在化している。
- 本展では、私たちの身近にある「海」の誕生から現在、そして未来までを、多様な生物や人と海との関わりを通して紹介する。そして海を通して科学に興味をもってもらうとともに、私たちが今後どのように海と関わっていけばいいのかを考えるきっかけになることを目指す。
- ②開催期間 3月16日（土）～6月9日（日） 開催日数 72日
- ③入場者 82,225人
- ④会場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主催 名古屋市科学館、海洋研究開発機構、NHK名古屋放送局、NHKエンタープライズ中部、読売新聞社
- ⑥特別協力 国立科学博物館
- ⑦協力 市原市埋蔵文化財調査センター、宇宙航空研究開発機構、エバーラスティング・ネイチャー、沖縄県立博物館・美術館、神奈川県立生命の星・地球博物館、神奈川県立中央博物館分館海の博物館、東京海洋大学、東京大学、東北大学、豊橋市自然史博物館、日本テレビ放送網、沼津市教育委員会、八丈町教育委員会、ピリカ、ミュージアムパーク茨城県自然博物館
- ⑧入場料 一般 1,800円 [前売券 1,600円]
高大生 1,000円 [前売券 800円]
小中生 500円 [前売券 300円]
- ⑨展示内容 高さおよそ4.7メートルのナガスクジラの上半身標本といった海の生物の展示はもちろん、海の中でどのように生命が進化してきたのかを化石を通じてたどり、遺跡で発掘される石器や貝からは人と海との関わりについて学ぶことができる。他にも、水産資源の枯渇や海洋プラスチック汚染など海をめぐる課題、持続可能な形で海を活用していく取組についても紹介しており、およそ200点の展示品を通して、海についてあらゆる視点から知ることができる展示となっている。

⑩関連事業

内容	協力・講師	実施日	参加者数
「海」と人の歴史をたどる 監修者によるギャラリートークと講座	藤田 祐樹 (国立科学博物館)	5月18日 (土)	18
「海」とわたしの深い話 監修者と関連分野の研究者による講演会	谷 健一郎 (国立科学博物館) 道林 克禎 (名古屋大学) 古川 邦之 (愛知大学)	5月19日 (日)	96
ギャラリートーク 展示会来場者に対しての展示解説	谷 健一郎 (国立科学博物館) 野牧 秀隆 (海洋研究開発機構)	6月1日 (土) 6月2日 (日)	—

3 プラネタリウム投影

(1) 一般投影

一般の方を対象として今夜の星の探し方から幅広い天文のテーマを、わかりやすく解説する。
1回の投影時間は約 50 分。

テ　　マ	期　間	テ　　マ	期　間
ふたごの星	～4/16	見えない光でみた宇宙	11/ 1～11/30
世界の星空めぐり	4/22～5/31	星座早見で星さがし	12/ 1～12/26
宵の明星・金星	6/ 1～7/13	宇宙の物質循環	12/27～ 1/31
流れ星がみたい	7/15～8/25	星空のオルゴール ～早春～	2/ 1～ 2/15
ふたたび月へ	8/26～9/30	星空のオルゴール ～春～	3/26～
星空とプラネタリウム ～発明から 100 年～	10/ 1～10/31	令和 5 年度観覧者数＝255, 008 人	

【参考】令和4年度観覧者数=259,851人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
投影回数	88	89	82	88	101	71	82	84	76	80	45	25	911

【参考】令和4年度投影回数=1,006回

※プラネタリアムのメンテナンスのため令和6年2月16日から3月24日まで休演

(2) ファミリーアワー

家族連れや、初めてプラネタリウムをご覧になる方などにオススメの、プラネタリウムの基本が体験できるプログラム。今晚の星空から宇宙旅行までの楽しい内容となっている。

◇ テーマ	～4/ 9	太陽系アドベンチャー	4/15～9/ 3	とびだせ！ 星の世界へ
	9/ 9～12/ 3	太陽系アドベンチャー	12/ 9～ 2/12	ふたごの星の物語
	3/26～	とびだせ！ 星の世界へ		

◇ 投影時間 土曜・春休み・冬休み 14:00～
日曜・祝日・夏休み 11:20～, 14:00～
令和5年度投影回数=233回
令和5年度観覧者数=77,825人

※プラネタリウムメンテナンスのため令和6年2月16日から3月24日まで休演

(3) 学習投影・幼児投影（学校等団体向け）

幼稚園児、保育園児、小学生及び中学生の団体向けの学習投影で、それぞれの学年等に
 応じた内容のプログラムを編成し、わかりやすく解説する。

事業名・対象	内 容	期 間	投影回数	観覧者数(人)
幼児向け投影 (幼稚園・保育園 の年長児)	星座や星の物語などを全天周映像を 活用しながら構成し、幼児が楽しみな がら星に親しめるように解説する。	5/10～7/20 9/ 1～9/22 (45 日間)	79	20,505 (655 園)

事業名・対象	内 容	期 間	投影回数	観覧者数(人)
小 学 校 4年生向け	「冬の星座と太陽・月・星の動き」 プラネタリウムで星座を探したり、太陽・月・星が時間とともに動いていくようすを眺め、楽しみながら天体に関心を持てるような話をする。	11/24～2/15 (32日間)	60	17,498 (251校)
小 学 校 6年生向け	「地球から宇宙へ」 太陽と月と地球の関係、太陽系のしくみ、そして広大な宇宙の姿にふれ、宇宙の中の人間について考える。	9/26～11/22 (30日間)	55	16,277 (239校)

【参考】 令和4年度

事業名	投影回数	観覧者数(人)
幼児向け投影	82	19,818 (599園)
小 学 校 4年生向け	62	17,956 (252校)
小 学 校 6年生向け	59	17,176 (242校)

(4) 特別投影

テーマについてじっくり解説する大人向けの夜間の特別投影と、聴覚障害者の方も健常者とともに鑑賞できるようにライブで解説を字幕付きで投影する特別投影

① 夜間投影

18時30分からの大人向けプログラム。七夕やお月見など、その時々になんだ天文の話題を取り上げる場合と、同月の一般投影の内容を基本に映像演出や話題を加える場合がある。

開催期日	テーマ	参加者数(人)	開催期日	テーマ	参加者数(人)
5月20日	国際宇宙ステーション の夜	258	11月16日	見えない光で みた宇宙	235
7月7日	七夕の夜	267	12月23日	クリスマスの夜	272
8月22日	旧暦七夕の夜	305	12月24日		233
9月29日	お月見の夜	277	2月2日	オーロラの夜	215
10月21日	プラネタリウム発明 100周年の夜	294	2月3日		320
【参考】令和4年度参加人数＝2,415人			計		2,676

② 字幕付きプラネタリウム

プラネタリウム番組に字幕を付けて投影

◇ 対象 一般(聴覚障害者を含む)

◇ 開催期日 9/2

◇ 参加者数 345人

【参考】 令和4年度参加人数＝0人

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。

4 教育普及事業

(1) 天文分野

(講師：敬称略)
連携…連携協定に基づくもの

事業名及び事業内容（対象）	開催期日	参加者数 （人）	共催者等	市費	連携
昼間の星をみる会 天文台の望遠鏡で昼間にみえる星を観望	4月16日（日）～ 2月4日（日） （22回）	10,149		○	
市民観望会 プラネタリウムでの講座の後、天文台の口径80cm大望遠鏡や「星のひろば」に設置した望遠鏡で、観望条件のよい天体をご覧ください。公式YouTubeチャンネルを用いてオンラインでも開催。	5月27日（土）～ 3月10日（日） （10回）	1,409		○	
月と金星をみる会	5月27日（土）	207			
月をみる会	6月25日（日）	105			
二重星と月をみる会	7月29日（土）	193			
土星をみる会	9月24日（日）	244			
土星と月をみる会	10月28日（土）	203			
オンライン市民観望会「土星」	11月3日（金）	-			
木星と土星をみる会	12月10日（日）	223			
木星と月をみる会	1月20日（土）	132			
木星をみる会	2月10日（土）	102			
オンライン市民観望会「オリオン星雲」	3月10日（日）	-			
おんたけ天文教室 木曽御岳の雄大な自然の中にある名古屋市民おんたけ休暇村で天体観望を行う	8月19日（土）～ 8月21日（月）	29	（公財）名古屋市 民休暇村管理公社		
第20回 坂田・早川記念レクチャー 「宇宙の始まりと進化」 講師：東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構 特任教授 / 京都大学 名誉教授 佐々木 節 (高校生以上)	2月3日（土）	183	名古屋大学大学院 理学研究科・素粒子 宇宙起源研究所		○

(2) 理工分野

(講師：敬称略)

連携…連携協定に基づくもの

事業名及び事業内容（対象）	開催期日	参加者数 （人）	共催者等	市 費	連 携
楽しい鉄道模型展 名古屋模型鉄道クラブによる鉄道模型の走行	6月25日（日） 10月15日（日）	440 465	名古屋模型鉄道 クラブ		
電子工作教室（ジュニアコース） 「フルカラーLEDで色を学ぼう」 （小学5・6年生）	7月21日（金）	15		○	
電子工作教室（親子コース） 「オルゴールごまをつくろう」 （小学3・4年生と保護者）	7月22日（土） 23日（日）	28 （13組）		○	
放射線ウォッチング 測定キットの組み立てと測定・実験 （教員・高校生）	7月25日（火） ～28日（木）	48 大人31 高校生17	中部原子力懇談会		
航空教室「高性能ペーパーグライダーの製作 と飛行原理・飛行力学」 （小学5・6年生）	7月25日（火） 8月1日（火） 8月4日（金）	15	一般社団法人中 部航空宇宙産業 技術センター		
木曾ひのきからアロマオイルをとりだそう （小学3～6年生と保護者）	7月28日（金） 29日（土）	46 （23組）	木曾広域交流 事業基幹委員会		
夏休み親子写真教室	7月29日（土） 30日（日）	46	日本写真協会		
リフレッシュ理科教室 「のぼる？とびだす？チカラの不思議！」 （小中学および特別支援学校の教員）	8月4日（金）	24	応用物理学会東 海支部		
リフレッシュ理科教室 「のぼる？とびだす？チカラの不思議！」 （小学3年生～中学生）	8月5日（土）	47	登用物理学会東 海支部		
かがくの実験室「花火の科学」 （小学3・4年生と保護者）	8月12日（土） 13日（日）	60 （30組）		○	
名古屋市科学館・中京大学連携講座 「最高の科学技術を子どもたちに！」 電気いらずのトコトロボットを作ろう！ —重力の不思議— 講師：中京大学大学院工学研究科 教授 木野 仁 他（小学生と保護者）	8月26日（土）	18 （7組） 大人 9 小学生 8 未就学 1	中京大学人工知能 高等研究所		○
第43回 古川為三郎サイエンス講演会 「ペロブスカイト太陽電池」 講師：桐蔭横浜大学特任教授 宮坂 力	9月9日（土）	72		○	
親子からくり教室 九代玉屋庄兵衛さんによる茶運び人形の実演 とお話、茶運び人形の変身からくりを工作す るワークショップ（小学生と保護者）	9月23日（土）	21 （11組）	九代玉屋庄兵衛 後援会		
かがくの実験室 「ポンポン蒸気船をつくろう！」 （小学3～4年生と保護者）	11月4日（土） 5日（日）	54 （27組）		○	

(3) 生命環境分野

(講師：敬称略)
連携…連携協定に基づくもの

事業名及び事業内容（対象）	開催期日	参加者数 （人）	共催者等	市費	連携
科学館で研究者に質問！ーメダカの学校ー 講師：基礎生物学研究所バイオリソース研究室 成瀬 清	①4月15日（土） ②1月13日（土）	①35 ②31			
科学館で研究者に質問！ ー駆け込み「Te"ra」小屋(でらこや)ー 講師：名古屋市立大学 大学院医学研究科 教授 赤津 裕康 会場 理工館3階 創造のひろば	①4月23日（日） ②7月23日（日）	①20 (8組) ②13 (7組)			
第47回 化石を語る文化講演会	4月29日（土）	221	東海化石研究会 中日新聞社		
地質の日オンライン 一般講演会パブリックビューイング	5月13日（土）	50			
出張！名大博物館ー博物画を描いてみようー	5月28日（日）	300	名古屋大学博物館		○
第29回生きている地球の記録ーグリーンイメージ国際環境映像祭入賞作品上映会 2023年グリーンイメージ国際環境映像祭で入賞作品を上映	7月23日（日）	146	主催：公益財団法人三菱UFJ環境財団、名古屋市科学館、中日新聞社 共催：グリーンイメージ国際環境映像祭実行委員会		
南極・昭和基地ツアー！ 南極との生中継！現地で活動中の第63次南極観測隊の越冬隊員が、基地の内部や現地での活動を紹介する	7月29日（土）	146	国立極地研究所		○
おじま虫の世界ー衛生害虫と感染症対策について学ぼうー 生きた昆虫、標本、衛生害虫等の展示、標本づくり紹介、手洗いチェック（ATP測定）、スズメバチの巣解体ショー等	8月2日（水）	600	協力：名古屋市保健所 感染症対策・調査センター（名古屋市健康福祉局）	○	
フィールドセミナー 地球教室 講義や実験を通して学び、野外のフィールドで実習を行う2日連続講座 （小学3年生以上（小学生は保護者同伴））			名古屋大学博物館		
第69回 地球教室 鉱物をさがそう！ 会場：名古屋市科学館、蒲郡市生命の海科学館、三田石材（愛知県西尾市）	8月19日（土） 20日（日）	31	協力 愛知大学名古屋一般教育研究室、蒲郡市生命の海科学館、鳳来寺山自然科学博物館	○	○
第70回 地球教室 愛知県の石 ピッチストーンってどんな石？ 会場：名古屋大学博物館、新城市鳳来寺山	10月14日（土） 15日（日）	29			

事業名及び事業内容（対象）	開催期日	参加者数 （人）	共 催 者 等	市 費	連 携
第 71 回 地球教室 ナゴヤで化石をさがそう！ 会場：名古屋大学博物館、名古屋駅周辺、栄地区	2 月 24 日（土） 25 日（日）	29			
食品安全・安心学習センター啓発事業「手の菌を見てみよう！～正しい手洗い体験～」	8 月 23 日（水） 24 日（木）	546	名古屋市健康福祉局食品衛生検査所		
突撃！高知コアセンター！～もっと知りたいコアな話～	8 月 30 日（水）	11	協力：高知コアセンター		
科学館で地球儀を作ろう	8 月 29 日（火） ～9 月 3 日（日）	5,060	第四管区 海上保安本部		
名古屋市立大学×名古屋市科学館サイエンスパートナーシップイベント 「自然科学の最前線」 「地球磁場観測から探る宇宙天気」講師：名古屋市立大学データサイエンス学部 教授 能勢正仁 「未知の分子を創る-アカデミック有機化学者の話-」講師：名古屋市立大学 総合生命理学部 教授 雨夜 徹 「常設展『生命のひみつ』の展示紹介」講師：名古屋市科学館 学芸員 柏木 晴香 「展示室自由見学」 （高校生（中学生・同伴の保護者も参加））	11 月 3 日（金・祝）	30	名古屋市立大学		○
かがくゼミナール「くすりのなかみを見てみよう 一薬との上手なつきあい方 パート 25」 講師：名古屋市薬剤師会 久納 秀俊 他 会場：第 1 実験室 （小学 3 年生～中学生と保護者）	11 月 5 日（日）	32 （16 組） 保護者 16 小中学生 16		○	
かがくゼミナール「海の宝探し—砂の中の海洋生物を探そう！—」 講師：愛知みずほ大学 人間科学部 准教授 川瀬 基弘 （小学生以上（小学生は保護者同伴））	11 月 26 日（日）	56		○	
かがくの実験室「化石ではんこをつくろう」 （小学 3～4 年生と保護者）	1 月 6 日（土） 7 日（日）	74 （37 組）		○	

事業名及び事業内容（対象）	開催期日	参加者数 （人）	共 催 者 等	市 費	連 携
日本気象学会中部支部公開気象講座 「気候変動のリスクと予測研究の最前線」	1 月 21 日（日）	76	日本気象学会中部支部、名古屋地方気象台		
かがくゼミナール「薬局の薬で実験しよう 漢方編-薬との上手なつきあい方 パート 26」 講師：名古屋市薬剤師会 久納 秀俊 他 （中学生と高校生）	2 月 4 日（日）	15 中学生 12 高校生 3		○	
地球 BOX を作ろう	3 月 27 日（水） ～29 日（金）	800	第四管区海上保安本部		
名古屋市立大学・名古屋市科学館 サイエンス パートナーシップ事業 特別講座「あなたにもできる 救命処置」 講師：名古屋市立大学大学院 医学研究科 救命救急医療学 教授 松嶋 麻子 地域医療教育学 教授 赤津 裕康 インストラクター：名古屋市立大学 救命救急 サークル MeLSC (Meishidai Life Support Club : メルシー) 会場：サイエンスホール （小学生以上（小学生は保護者同伴））	3 月 31 日（日）	69 大人 38 中学生 1 小学生 30	名古屋市立大学		○

（４）その他イベント

（講師：敬称略）

連携…連携協定に基づくもの

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 （人）	共 催 者 等	市 費	連 携
「第 6 回 病院の機械を操作してみよう！」 ～いのちのエンジニア体験～ 様々な医療機器の展示と操作の体験、 展示ガイドツアーなど 会場：理工館地下 2 階 イベントホール	6 月 24 日（土） 25 日（日）	3,486	（一社）愛知県臨床 工学技士会		
SDGs スタンプラリー スタンプラリーで楽しみながら SDGs を学ぶ	8 月 1 日（火） ～31 日（木）	5,520	なごや環境大学		
科学館で研究者・学芸員に質問！ 科学館で研究者に質問！してみませんか 会場：創造のひろば 講師：名古屋市立大学 大学院医学研究科 教授 赤津 康裕、名古屋市科学館 野田 学	①8 月 27 日（日） ②11 月 26 日（日）	①12 ②21 （11 組） 大人 12 小人 9		○	

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
メディアデザインの力で “科学の魅力” を再発見！ 科学の魅力を表現するメディアデザイン作品を展示 会場 1：名古屋市科学館 サイエンスホール 会場 2：ナディアパーク アトリウム	会場 1： 9 月 30 日（土）、 10 月 1 日（水） 会場 2： 10 月 10 日（火） ～15 日（日）	会場 1： 1,407 会場 2： 来館者	名古屋芸術大学、 ナディアパーク管理 者株式会社国際 デザインセンター		
青少年のための科学の祭典 2023・名古屋大会 科学実験や科学工作などのブースがたくさん並び、自らふれて、作って、動かして、ハラハラ、ドキドキ、ワクワクしながら楽しむことができる科学のお祭り 会場：名古屋市科学館、でんきの科学館	9 月 30 日（土） 10 月 1 日（日）	3,322 (4,621) （ ）内はでんきの科学館を含む	「青少年のための科学の祭典」名古屋大会実行委員会、公益財団法人中部科学技術センター、公益財団法人日本科学技術振興財団、中日新聞社		

(5) オンラインによる情報発信

① 名古屋市科学館公式 YouTube チャンネル

(<https://www.youtube.com/c/NagoyaCityScienceMuseum>)

さまざまな科学の話題や科学館に関する動画を動画にて紹介。観望会をはじめ、学芸員がハイレベルな科学の内容を解説するものや、科学館で開催されるイベントや働くスタッフを紹介するなど、いろんなジャンルの動画を配信。令和2年4月14日から運用を開始。

投稿数：17本（令和5年度）

総視聴数：419,042回

チャンネル登録者数：5,670人（令和6年7月31日現在）

タイトル	配信日
人気実験総選挙 5月 No.1 ビンチョウタンでんち	6月2日
人気実験総選挙 5月 No.2 ナトリウムの光	6月2日
人気実験総選挙 6月 No.1 マグネシウムをもやす	6月22日
人気実験総選挙 6月 No.2 ふたつの風船	6月22日
人気実験総選挙 7月 No.1 はずむシャボン玉	7月21日
人気実験総選挙 7月 No.2 スーパー★ボール	7月21日
人気実験総選挙 8月 花 in 液体窒素	9月6日
人気実験総選挙 8月 LED in 液体窒素	9月6日
第71回 日本天文学会公開講演会 「名古屋が支える宇宙望遠鏡プロジェクト」	9月18日
人気実験総選挙 10月 音	11月1日
オンライン市民観望会「土星」	11月3日
人気実験総選挙 11月 化学反応	12月8日
人気実験総選挙 12月 水	12月22日
人気実験総選挙 1月 水の三態変化	1月27日
オンライン市民観望会「オリオン星雲」	3月10日
人気実験総選挙 2月 どうぶつ	3月22日
人気実験総選挙 3月 マジック	3月29日

（令和4年度：3本）

② 名古屋市科学館公式 HP における科学に関する情報発信

(<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/study/>)

・「学芸員 NOW」

当館学芸員が話題の科学や最先端科学のほか、意外と知られていない学芸員の仕事内容や科学館のウラガワなども紹介、名古屋市科学館公式 YouTube チャンネルとも連動。17件公開（令和5年度）

（令和4年度：3件）

・「天文情報」

当館学芸員がその時々天文現象などを平成7年以降、随時情報発信。20件公開（令和5年度）

（令和4年度：18件）

主なタイトル	配信日
5月12, 13, 14, 15, 17日の国際宇宙ステーション情報	5月10日

ペルセウス座流星群_2023	7 月 26 日
月が大きくみえるわけ_2023	8 月 1 日
2023 年 10 月 29 日部分月食	10 月 25 日
ふたご座流星群_2023	12 月 10 日

(6) 出前ミュージアム(その道の達人派遣事業)及び館外事業

職員やボランティアが小中学校へ出向き、日ごろ学校では実施困難な大型機材を活用した科学実験ショー、身近な材料を使用した科学工作の指導及び学芸員によるオリジナルな資料等を使用した科学講座を展開し、ふだんと一味違った授業を行った。

①出前ものづくり工房(ものづくりボランティア)

テーマ	区	学校名	学年	月	日	曜	参加者数	ボランティア数
虹の筒、ぱたぱたチョウ	天白	原小学校	2・3	6	30	金	218	12
息をする人形	西	庄内小学校	6	7	5	水	106	12
びっくりへび	港	福田小学校	1・2	7	6	木	138	8
びっくりへび	緑	神の倉小学校	1	9	14	木	81	4
虹の筒	昭和	松栄小学校	2	9	26	火	153	8
びっくりへび、虹の筒	昭和	村雲小学校	1・2	10	19	木	123	8
びっくりへび、虹の筒	千種	自由ヶ丘小学校	1・2	11	28	火	114	8
からまり時計	名東	高針小学校	5	12	1	金	64	8
びっくりへび、虹の筒	西	城西小学校	1・2	12	5	火	179	11
びっくりへび、虹の筒	東	筒井小学校	1・2	12	7	木	149	8
びっくりへび	瑞穂	中根小学校	2	12	12	火	106	8
びっくりへび、虹の筒	東	東桜小学校	1・2	12	19	火	113	8
びっくりへび、虹の筒	中村	日比津小学校	1・2	12	20	水	96	8
びっくりへび、虹の筒、ぱたぱたチョウ	名東	前山小学校	1・2 特別支援	1	16	火	117	8
びっくりへび、ぱたぱたチョウ	天白	山根小学校	1・3	1	23	火	118	8
びっくりへび、虹の筒、ぱたぱたチョウ	南	明治小学校	1・2・3	1	24	水	126	8
ぱたぱたチョウ	守山	上志段味小学校	3	1	26	金	81	8
虹の筒、ぱたぱたチョウ	西	稲生小学校	2・3	1	30	火	165	8
からまり時計	緑	長根台小学校	5	1	31	水	65	8
びっくりへび、虹の筒、ぱたぱたチョウ	中	松原小学校	1・2・3	2	1	木	128	8
びっくりへび、虹の筒、ぱたぱたチョウ	北	清水小学校	1・2・3	2	6	火	164	8
びっくりへび、ぱたぱたチョウ	千種	見付小学校	1・3	2	21	水	148	8
ぱたぱたチョウ	守山	廿軒家小学校	3 特別支援	2	28	水	112	8
計				23回			2,864	191
				令和4年度実績			2,532	192

②出前サイエンスゼミナール（学芸員）

テーマ	区	学校名	学年	月	日	曜	参加者数(人)
プールのヤゴを救おう	瑞穂	中根小学校	2	4	26	水	99
プールのヤゴを救おう	南	道徳小学校	3	5	1	月	50
ダンゴムシの行動のナゾ	守山	廿軒家小学校	3	5	24	水	104
プールのヤゴを救おう	緑	神の倉小学校	3	5	26	金	100
プールのヤゴを救おう	中川	千音寺小学校	2	5	31	水	95
南極の話	中川	万場小学校	6	6	27	火	72
空気の力	天白	山根小学校	4	6	28	水	79
ムラサキなキャベツ	中川	西特別支援学校	中学部 1・2・3	6	29	木	55
ダンゴムシの行動のナゾ	中川	戸田小学校	3	9	7	木	108
宇宙の果ては？	港	西福田小学校	6	9	20	水	25
ムラサキなキャベツ	中川	中島小学校	6	10	17	火	59
ムラサキなキャベツ	南	春日野小学校	6	10	18	水	61
ムラサキなキャベツ	天白	山根小学校	6	10	20	金	58
南極の話	名東	本郷小学校	6	11	1	水	66
ムラサキなキャベツ	港	西福田小学校	6	11	6	月	25
自分で調べる脳の働き	港	南陽東中学校	特別支援 2・3	11	10	金	3
身の回りの交通地下鉄を知ろう	名東	貴船小学校	3	1	12	金	117
計				17 回		1, 176	
				令和 4 年度実績		9 回	
						752	

③トワイライト事業（運営員）

テーマ	区	学校名	月	日	曜	参加者数(人)
低温の実験・静電気の実験 共催者：(公財)名古屋市教育スポーツ協会	緑	熊の前小学校	6	8	木	55
	守山	森孝東小学校	10	5	木	28
	緑	有松小学校	10	19	木	53
	港	西築地小学校	10	26	木	26
	西	なごや小学校	11	30	木	32
	千種	千石小学校	12	7	木	29
	緑	黒石小学校	2	1	木	30
計			7 回			253
		令和 4 年度実績	7 回			214

(7) ボランティアの養成及び活用

①天文ボランティア（ALC）

登録者数 131 人

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人) ()内は参加者数
【養成】 天文指導者養成講座 天文事業にボランティアとして協力できる人材を養成する講座で、参加資格は高校生以上(基礎講座・実技講座・館内夜間研修等、合計4回)。	8月6日(日) ～ 2月12日(月)	延べ 92
【活用（館内事業）】 天文指導者養成講座修了者を天文ボランティアとして活用		延べ 541 (11,558)
1) 市民観望会(8回)※オンライン開催は除く	5月27日(土) ～ 2月10日(土)	延べ 202 (1,409)
2) 昼間の星をみる会(22回)	4月16日(日) ～ 2月4日(日)	延べ 339 (10,149)
【活用（館外連携事業）】 (公財) 名古屋市民休暇村管理公社との共催等		延べ 46 (816)
1) おんたけ天文教室	8月19日(土) ～ 8月21日(月)	13 (29)
2) おんたけ休暇村（昼星・夜の観望会）	7月28日(金) ～ 8月27日(日)	延べ 33 (787)
3) おんたけこども村スターウォッチング	中止	-
【研修等】 各天文事業の勉強会など	合計2日	延べ 6

②ものづくりボランティア

登録者数：148 人

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人) ()内は参加者数
【養成】 ものづくりボランティア養成講座 ものづくり工房をはじめとして、各種事業において、実験工作などの学習支援者となるボランティアの養成(講座7回)で、参加資格は18歳以上。受講修了者のうち希望する者はものづくりボランティアとして登録	12月2日(土) ～ 2月3日(土)	延べ 6 (15)

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人) ()内は参加者数
【活用（館内事業）】 館の事業（ものづくり工房・ものづくり教室）の学習支援者として活動 （注）詳細は、別掲の「名古屋少年少女発明クラブ」の項に掲載	合計 46 回 4 月～3 月	183 (1, 974)
1) ものづくり工房 毎週土曜日（夏・冬・春休みを除く）	合計 36 回 4 月～3 月	143 (1, 833)
2) ものづくり教室 第3土曜日（8・3月を除く）	合計 10 回 4 月～2 月	40 (141)
【活用（館外連携事業）】 生涯学習施設、類似施設及び小中学校との連携事業の学習支援者として活動	合計 35 回 6 月～3 月	243 (3, 290)
1) 生涯学習センターとの連携 ①千種生涯学習センター「親子でチャレンジ！科学工作」 ②中村生涯学習センター「親子で科学工作教室」 ③中川生涯学習センター「ふれあい日曜学校」 ④南生涯学習センター「親子で楽しむサイエンス」	合計 4 回 6 月 24 日(土) 7 月 23 日(日) 9 月 10 日(日) 11 月 11 日(土)	19 (91) 内訳 5 (30) 5 (28) 5 (9) 4 (24)
2) 類似施設との連携 ① とだがわこどもランド「科学工作教室」 ② 西文化センター「夏休み科学工作教室」 ③ とだがわこどもランド「科学工作教室」	合計 3 回 7 月 17 日(月・祝) 8 月 23 日(水) 3 月 20 日(水・祝)	13 (73) 内訳 5 (29) 3 (5) 5 (39)
3) 出前ものづくり工房（出前ミュージアム） （注）詳細は、別掲の「出前ミュージアム」の項に掲載	合計 23 回 6 月～2 月	191 (2, 864)
4) 出前ものづくり教室（名古屋少年少女発明クラブ） （注）詳細は、別掲の「名古屋少年少女発明クラブ」の項に掲載	合計 5 回 11～2 月	20 (262)
【自主企画事業（ものづくりひろば）】 ものづくりボランティアの自主企画事業として、休日・祝日・小中学校の長期休業期間等の来館者を対象に実施。同時にボランティアの研修の場ともしている。	合計 27 回 4 月～1 月	183 (1, 295)

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人)
【研修等】 総会（定例会①）	4月8日(土)	88
定例会②	9月2日(土)	84
定例会③	2月3日(土)	85

③展示室ボランティア 登録者数：233人

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人) ()内は参加者数
【養成】 展示室ボランティア養成講座 常設展示等の説明・安全指導等を行うボランティアの養成 (講座5回)で、参加資格は18歳以上。受講修了者のうち 希望する者は展示室ボランティアとして登録	1月20日(土) ～ 3月23日(土)	延べ 10 (24)
【活用】 1) 展示フロアでの活動 常設展示等の説明、常設展示等の利用にあたっての安全 指導、常設展示等の運営の補助業務に活用	4月1日(土) ～ 3月31日(日)	延べ 3,448
2) ワゴン実演 サイエンスショー待ち時間などを利用して、磁石や偏光 板を使いマジックショー仕立てでの説明	開催せず	—
3) タッチ&トーク 地質系の実物標本(化石・岩石など)を来館者に解説しな がら観察、触れてもらう機会を提供	4月15日(土) ～ 3月30日(土)	延べ 161
4) ウッディ・プレイランド 理工館2階ウッディ・プレイランドで、玩具の遊び方の 伝授	開催せず	—
【研修等】 総会・フォローアップ研修 第1回	4月15日(土)	84
フォローアップ研修 第2～5回	7月～3月	延べ 249
ワゴン実演自主研修(2箇月に1回程度)	開催せず	—
タッチ&トーク自主研修(月に1回程度)	4月15日(土) ～ 3月23日(日)	延べ 95
ウッディ・プレイランド自主研修(2箇月に1回程度)	開催せず	—

④B6 蒸気機関車整備ボランティア 登録者数：18人

屋外展示のB6形蒸気機関車の調査及び整備を行う。令和5年度は実績なし。

(8) 科学館友の会

昭和 38 年 4 月に発足した「名古屋星の会」と昭和 41 年 7 月に発足した「科学館友の会」を前身とする。昭和 53 年 4 月からは科学館振興協会の一部会として運営されていたが、平成 16 年 3 月の科学館振興協会の解散に伴い、平成 16 年 4 月から（公財）中部科学技術センターの協力のもとに運営され、令和 2 年 4 月からは、株式会社中部日本広告社と協約を締結し、運営をおこなっている。

① 天文クラブ

会員数 679 人（プレミアム会員：195 人 会費 10,000 円、一般会員：413 人、会費 6,000 円、購読会員：71 人 会費 2,000 円）

（出版物）機関誌「？」No. 224～227 発行

（例会）

区分	プレミアム会員・一般会員	開催期日
例会	木・金曜日（年 4 回実施）	
	18：30～20：00	
1	宇宙はプラズマ	6 月 22・23 日
2	小惑星衝突から地球を守れ	9 月 21・22 日
3	近代プラネタリウム 100 周年	11 月 23・24 日
4	マゼラン雲で誕生する巨大星団の謎	1 月 25・26 日

（特別天体観望会）※ オンライン（限定生配信）で実施

区分	プレミアム会員・一般会員・購読会員	開催期日
1	二重星と月 19：30～20：00	8 月 26 日（土）
2	木星と土星 18：00～18：30	12 月 17 日（日）

（プレミアムイベント）

区分	プレミアム会員	開催期日
1	プレミアムイベント 18：30～20：00	2 月 8 日（木）

② サイエンスクラブ

会員数 224 人（小学生クラス：160 人 会費 7,000 円、中学生クラス：64 人 会費 8,000 円）

（例会）

区分	小学生クラス(小学 5・6 年生)	中学生クラス(中学 1～3 年生)
例会	年 5 回 土・日曜日	年 5 回 土・日曜日
	A、B、C 10：00～12：30（計 30 回実施）	A、B、C 10：00～12：30（計 12 回実施）
	D、E 9：55～10：50（計 2 回実施）	D、E 9：55～10：50（計 2 回実施）
A	光るどろだんごをつくろう	社会をもつ昆虫
B	電子ピカピカ蛍をつくろう	見え方の変わる絵をつくろう
C	紙をすいてみよう	ストームグラスでみる結晶の世界
D	星座をみつけよう	宇宙へ飛び出そう！
E	太陽系グランドツアー	宇宙の果ては？

（夜間観望会）※ オンライン（限定生配信）で実施

内 容	開催期日	参加者数（人）
二重星と月 19：30～20：00	8 月 26 日（土）	
木星と土星 18：00～18：30	12 月 17 日（日）	

(9) 名古屋少年少女発明クラブとの連携事業

平成 14 年度から 18 年度までの「発明発見創造クラブ」を、全国的な広がりをもつ「少年少女発明クラブ」に移行したものである。平成 19 年 3 月に設立された「名古屋少年少女発明クラブ」の主催者は名古屋市と一般社団法人愛知県発明協会、事務局は名古屋市経済局イノベーション推進部次世代産業振興課が担当している。

主に小中学生を対象にし、科学技術やものづくりに関心をもつ人材の育成を目的として、ものづくり体験事業を実施している。科学館では「ものづくり工房・教室」、「地球工房・教室」、「ロボット工房・教室」を実施している。また、「ロボカップジュニアなごや大会・なごやオープン」「ロボカップジュニア東海大会」の主催をしている。

①「ものづくりコース」

ものづくりの楽しさや、科学への興味、関心を高める。来館した小中学生を対象に、身近な素材を利用して簡単な科学工作を行う。ものづくりボランティアが学習支援を行い、ものづくりの大切さを知らせる。

1)ものづくり工房（土曜日・無料）

月	工 作 内 容	日数	参加者数(人)	月	工 作 内 容	日数	参加者数(人)
4	立体箱	4	202	11	ころころ・カメ	4	204
5	スペース エレベーター	4	201	12	あしあと	2	100
6	大回転	4	205	1	恐竜みつけた！	4	207
7	くるくるグライダー	3	151	2	コップでサボニウス	4	156
9	くるキラツリー	3	200	3	紙コップター	2	105
10	クルクル虹の窓	2	102	計		36	1,833

【参考】 令和 4 年度開催日数 39 日
令和 4 年度参加者数 2,008 人

2)ものづくり教室（第 3 土曜日等・有料）

開催期日	工 作 内 容	参加者数(人)	開催期日	工 作 内 容	参加者数(人)
4 月 15 日	アニマルバス	16	11 月 18 日	電磁気くらげ	16
5 月 21 日		13	12 月 16 日		14
6 月 17 日	ヘリコプター	16	1 月 20 日	シークレット・レター を作ろう(かがくのじ っけん)	9
7 月 15 日		16	2 月 17 日		11
9 月 16 日	つなのぼり	14	計		141
10 月 21 日		16			

3)出前ものづくり教室

小中学校及び関係団体等との連携事業

場 所 及 び 内 容	開催期日	参加者数 (人)
緑区 黒石小学校 びっくりへび	11 月 21 日	52
中川区 玉川小学校 虹の筒	11 月 29 日	34
東区 葵小学校 ぱたぱたチョウ	12 月 6 日	57
熱田区 千年小学校 ぱたぱたチョウ	2 月 7 日	44
昭和区 吹上小学校 ぱたぱたチョウ	2 月 27 日	75

②「ロボットコース」

これからのものづくりに求められるソフトウェアに強い人材を育成する。ロボットの機械の動きを制御するプログラミング能力を高める。

1) ロボット工房 (毎月第1・第3日曜日・無料) ※参加者数は見学者を含めない

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	2	49	10	2	81
5	1	27	11	1	30
6	2	58	12	2	59
7	2	75	1	1	28
8	1	48	2	2	64
9	2	91	3	1	36
計				19	646

【参考】 令和4年度開催日数 20日
令和4年度参加者数 548人

2) ロボット教室

- ・開催期日 原則毎月第3日曜日
- ・対象 小学校4年～中学生
- ・内容 ロボットの組み立て(初級者向け)
- ・参加費 20,000円

開催期日	参加者数(人)	開催期日	参加者数(人)
4月16日	5	10月	—
5月21日	4	11月19日	5
6月18日	5	12月17日	5
7月16日	5	1月21日	5
8月	—	2月18日	5
9月	—	3月17日	5
計			44

【参考】 令和4年度開催日数 11日
令和4年度参加者数 50人

3) 発展型コロボ教室・ロボットステップアップ講座

- ・対象 小学校4年～高校生
- ・内容 ロボットの組み立てとプログラミング(中級者向け)
- ・参加費 無料

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	2	49	10	2	35
5	2	35	11	2	25
6	3	33	12	2	31
7	2	34	1	2	40
8	1	17	2	1	20
9	2	29	3	2	41
計				23	389

【参考】 令和4年度開催日数 21日
令和4年度参加者数 322人

4) ロボカップジュニア大会

○ロボカップジュニア名古屋ノード大会 Nippon リーグビギナーズアドバンストリーグ

- ・開催期日 10月28日(土)
 - ・会場 名古屋市科学館 イベントホール
 - ・参加者数 小学4年～高校生(サッカーロボット経験者対象) 28人
- ※上位9チームが東海ブロック大会出場

○ ロボカップジュニア名古屋ノード大会 Nippon リーグビギナーズブルーキーリーグ

- ・開催期日 10月29日(日)
- ・会場 名古屋市科学館 イベントホール
- ・参加者数 小学4年～中学生(サッカーロボット初心者対象。名古屋市科学館のロボット教室参加者や、名古屋少年少女発明クラブで支援している市内小中学校からも参加。) 28人

※上位3チームが東海ブロック大会出場

○ ロボカップジュニア名古屋ノード大会 World リーグライトウェイト

- ・開催期日 10月29日(日)
- ・会場 名古屋市科学館 イベントホール
- ・参加者数 令和6年7月1日で19才以下対象 17人

※上位4チームが東海ブロック大会出場

○ ロボカップジュニア東海ブロック大会 サッカー競技

- ・開催期日 12月9日(土)
- ・会場 愛知工業大学名電高校 淳和記念館
- ・内容 地区大会(名古屋大会始め5地区)から選抜されたチームが対戦し、日本大会選抜者を決定する。競技は大きく分けて、サッカー、レスキュー、OnStageの3部門で行われる。
- ・参加者数 サッカー 24チーム(51人)、レスキュー 32チーム(60人)、OnStage 6チーム(19人)

○ ロボカップジュニア・ジャパンオープン 2024 名古屋

- ・開催期日 令和6年3月22日(金)～24日(日)
- ・会場 名古屋国際展示場(ポートメッセなごや) 第3展示館
- ・内容 競技種目はサッカー・レスキュー・オンステージ・レスキューシミュレーションの4種目。当館チームはサッカーに出場
- ・当館からの参加者数 Nippon リーグサッカービギナーズ 4チーム(8人)
World リーグサッカーライトウェイト 3チーム(7人)
World リーグサッカーオープン 1チーム(2人)
- ・その他 Nippon リーグサッカービギナーズで、当館のチームが準優勝、3位を獲得した。
World リーグサッカーライトウェイトで、当館のチームが日本ロボット学会「RSJ賞」とマザック賞を受賞した。
World リーグサッカーオープンで、当館のチームがブラザー工業株式会社賞を受賞した。

③ 「地球コース」

鉱物や化石などを使ったものづくりを通して、観察することの楽しさや地球への関心を高める。

地球工房(毎週土・日曜日及び祝日を主とした不定期開催、有料)

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	6	312	10	3	209
5	7	389	11	5	258
6	6	323	12	4	182
7	5	316	1	5	320
8	6	454	2	5	351
9	5	344	3	6	328
計				63	3,786

【参考】 令和4年度開催日数 76日
令和4年度参加者数 3,706人

④ 科学ものづくり自由創作教室

自由なテーマで作品制作に取り組み、創造力及び発明に関する知識・才能を伸ばす教室を開催する。参加者は、それぞれ独創的な発想で生活に役立つもの、困っていることに対応できるものなどを発明・作品化する。

- ・開催期日 7月～9月（10日間）
- ・参加者数 10名

(10) コンクール事業

事業名及び内容	募集期間	展示期間	区分	参加資格	応募数 (顕彰数)
令和5年度 科学創作コンクール ①「科学の夢を描く部門」 (四つ切画用紙) ②「科学工作部門」 (科学的な考えを生かして 作った工作品) ③「理科自由研究部門」 小3・4、小5、小6、中 1、中2、中3の6部門に 分け、観察や実験による理 科の自由研究レポートを 募集 以上3部門に分けて作品を募 集 ・応募作品の中から、優秀な作 品を顕彰し館内で展示 ・(公財)中部科学技術センタ ー、中日新聞社共催	8月25日(金) ～ 9月2日(金)	10月11日(水) ～10月15日(日) 表彰式 10月14日(土)	絵画 部門	幼児 (3歳以上) 小・中学生 (個人)	152点 (30点)
			工作 部門	小・中学生、 高校生 (個人又はグ ループ)	50点 (18点)
			自由研究 部門 小3・4年	小学3年 ～中学生 (個人)	32点
			小5年		26点
			小6年		30点
			中1年		253点
			中2年		194点
			中3年		22点
			計		557点 (48点)
第66回 日本学生科学賞愛知県展 ・観察や実験による理科の自由 研究のレポートを募集 ・応募作品の中から、優秀な作 品を顕彰し館内で展示 ・読売新聞社共催	10月4日(水)	10月24日(火) ～28日(土) 表彰式 10月28日(土)	物理	中・高校生 (個人、又は グループ)	47点 (12点)
			化学		
			生物		
			地学		
			広領域		

(11) 博物館実習生の受入れ

博物館法施行規則で定められた「博物館実習」を以下のように実施した。

趣 旨	生涯学習の場である科学館の役割を理解し、生涯学習の手法について 学び、学芸員としての知識・技能・態度を身につける
実 習 期 間	7月29日(土)～8月6日(日) 合計8日間 (7月31日(月)を除く)
実 習 生	高知大学 1、信州大学 1、筑波大学 2、東海大学 1、同志社大学 1、 名古屋芸術大学 1、広島大学 1、三重大学 2、名城大学 2、 八洲学園大学 1、琉球大学 1 合計 14人
実 習 内 容	学芸員による各専門分野に関する実習、イベント企画および実施など

(12) 職場体験学習・職場訪問学習など

①職場体験学習・職場訪問学習

総合的な学習や社会体験学習の一環として行われる職場体験学習・職場訪問学習を、各学校の依頼に対応して実施している。職場体験学習では、館内の接客業務や実演の準備、展示品の保守管理、資料の整理などの体験活動を行っている。また、職場訪問学習では、館の概要や館内の業務についての講義や質疑応答を行っている。

区 分	職場体験	職場訪問
小学校	0 校 0 人	0 校 0 人
中学校	7 校 28 人	7 校 96 人
高等学校	0 校 0 人	1 校 5 人
大学	0 校 0 人	1 校 2 人

5 調査研究

（テーマ1）当館所蔵 B6 形（2412 号）と関連する蒸気機関車の調査

当館所蔵の B6 形蒸気機関車（2412 号）は、令和 6 年 3 月現在、動輪を圧縮空気により回転させる動態展示に向けて修復作業中である。今後の解説作成のため 2412 号の部品にある刻印や製造銘板等を調査し、その詳細を明らかにする。

また、日本国内に保存されている B6 形蒸気機関車は当館所蔵のものを含めて 6 両である。それらの車両について同様の調査をおこなうため所蔵者に調査を打診し、許可が得られた日本工業大学工業技術博物館所蔵の 2109 号の調査を行った。

さらに、2412 号はドイツのハノマーク社による製造である。日本国内に保存されているハノマーク社製造の蒸気機関車は、2412 号を除くと鹿児島交通加世田営業所に保存されている南薩鉄道 1 号と 2 号のみである。これらの調査も行った。

（テーマ2）地球科学分野に関する普及事業の検討

名古屋市科学館の理工館 6 階では、「地下へ挑む」をテーマにボーリングコア試料を常設展示している。実際に研究に用いられる試料や、地球深部探査船「ちきゅう」の模型、映像資料などを展示することで、来館者に最先端の科学へ興味をもってもらおうことを目指しているが、常に進化し続ける最先端科学の研究内容を十分に反映させるのは難しい。

そこで、最先端科学の基礎的な内容から現状についてまでをわかりやすく伝え、より常設展示への理解を深めてもらうための普及行事の開催を目的として、国内のボーリングコアに関する展示を行っている博物館・科学館の展示視察や、そこで開催された過去の普及行事についての調査を行った。

（テーマ3）屋外天文展示の有効活用とメンテナンス方法の調査

名古屋市科学館には、屋外に宇宙航空研究開発機構(JAXA)から寄贈された H-IIB ロケットの試験機と国際宇宙ステーションの実験棟「きぼう」の試験モデルが展示されている。定期的な清掃とメンテナンスを実施しているが、設置から既に 10 年以上が経過し、今後の経年劣化への対策と継続的な有効活用が課題となっている。そこで、当館の屋外展示の持続的な活用法を探るため、大型の屋外展示を持つ全国の博物館と教育施設の視察を行った。調査対象とした施設は、国立科学博物館、種子島宇宙センター、北海道苫小牧市ミール展示館、筑波宇宙センター、栃木県こども総合科学館、鹿児島市平川錦江湾公園、リニア・鉄道館の 7 つである。視察では主に屋外展示の現状とメンテナンス方法の調査を行った。

6 印刷物の発行

名 称	内 容	発行部数	主な配布先
アサラスコープ No. 434～436	科学館広報誌 No. 434, 436 A 4 版 8 頁 No. 435 A 4 版 4 頁	21,000	別 掲
名古屋市科学館要覧 (令和 5 年度)	A 4 版 78 頁	82	科学館ホームページにて PDF データで公開 (平成 24 年度～)
名古屋市科学館紀要 第 50 号	調査研究の報告 他 A 4 版 34 頁	200	国内博物館施設 市内生涯学習施設 関係大学図書館等

「アサラスコープ」の主な配布先(配布場所)

市立幼稚園・小・中・養護・高等学校、16 区役所・6 支所、市立図書館、市生涯学習センター 等

7 広報活動

種 別	内 容	実施 時期	備 考
名古屋市による広報	名古屋市発行の「広報なごや」に館行事を掲載し、市民への周知に努めた	毎月	市内全戸配布 約 110 万部
	大学と共同で科学館を紹介する動画を制作し、「名古屋市公式 Youtube まるはっちゅ〜ぶ」に公開した	随時	
マスコミへの広報	1) 市がもつテレビ・ラジオ番組に、資料を提供し、また、番組にも出演した	随時	新聞社 5 社 放送 14 社 通信 5 社
	2) 名古屋市政記者クラブを通して、広く PR を行った	随時	を始め出版、タウン情報誌など約 200 社
ポスター ・大型映像装置	特別展について、地下鉄や私鉄などにポスターを、また、市がもつ大型映像装置で静止画を掲示した	随時	
アサラスコープ	科学に関する解説や、館の行事予定などをまとめ配布した	年 3 回	(NO. 434) 7,000 部 (NO. 435) 7,000 部 (NO. 436) 7,000 部
案内パンフレット ・チラシ	案内パンフレット及び行事ごとにチラシを作成した (見学ガイドほか)	随時	
他機関等の広報誌による広報	他機関の広報紙に資料提供し、広く市民に周知を図った (観光パンフレットなど)	随時	
ダイレクトメール	県内及び県外の小・中学校、観光旅行者にパンフレットを送付した	随時	
名古屋市科学館 公式ウェブサイト	名古屋市科学館公式ウェブサイトによる館の情報提供や行事案内を行った	随時	

(1) 国内活動

○ 全国科学博物館協議会 ○ 全国科学館連携協議会 ○ 指定都市科学館連絡会議
○ 東海地区博物館連絡協議会 ○ 愛知県博物館協会 ○ 日本プラネタリウム協議会
○ 天文教育普及研究会 ○ 日本天文学会 ○ 東亜天文学会

○ 国際プラネタリウム協会 I P S

（５）研究機関等との相互協定等

平成 23 年 4 月 1 日	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所との相互協力に関する協定
平成 24 年 3 月 19 日	名古屋大学理学部との相互協力に関する協定
平成 24 年 5 月 1 日	名古屋大学情報文化学部との相互協力に関する協定
(平成 29 年 6 月 1 日 名古屋大学情報学部及び名古屋大学大学院情報学研究科に名称変更)	
平成 24 年 7 月 18 日	独立行政法人宇宙航空研究開発機構との相互協力に関する協定
平成 25 年 3 月 26 日	名古屋大学博物館との相互協力に関する協定
平成 25 年 9 月 29 日	中京大学人工知能高等研究所との相互協力に関する協定
平成 28 年 3 月 29 日	名古屋市立大学との連携協力に関する覚書
令和 2 年 1 月 22 日	愛知教育大学との相互連携に関する協定

（６）３館コラボ企画 伏見サイエンスエリアにいこう！

伏見駅近辺にある名古屋市科学館、環境学習センターエコパルなごや、でんきの科学館と共同でサイエンスショーを制作し実演を行い、ワークショップを実施。

2 月 10 日（土）、11 日（日）

【名古屋市科学館会場】

○サイエンスショー「おかしなスイーツ店」

名古屋市科学館とでんきの科学館のスタッフによる化学変化による色変わりなどの実験を行う。スイーツ店にやってきた客と店員という設定でコミカルなショーを行う。

参加者数：560 人

○ワークショップ「ペーパービーズを使ったブレスレット作り」11 日のみ

参加者数：430 人

【でんきの科学館会場】

○サイエンスショー「リカギリ大魔神をやっつけろ！」

名古屋市科学館とでんきの科学館のスタッフが、リカギリ大魔神と、科学と平和を愛する DKK ツインズに扮して、さまざまな実験を行います。

参加者数：358 人

○ワークショップ「ペーパービーズを使ったブレスレット作り」

参加者数：161 人

9 高校生科学力向上促進事業

（１）令和 5 年度 高校生のための科学の日

日時：1 月 28 日（日）

【内容 1】高校生が科学館を自由に観覧し、科学への興味や関心を高めていただけるよう科学館の展示室を無料開放(高校生はプラネタリウムも無料。)

*大学生・一般も入館無料、プラネタリウム観覧も展示室観覧料を減免した料金。

ただし特別展「化石ハンター展」は別途料金が必要。

【内容2】高校生向けの各種事業を実施。（高校生以外の方も参加・見学可）

合計 1,294 人 ※ <2>は合算しない

<1>高校生による科学の広場 発表

高校生たちが日頃の研究成果を持ち寄り発表する。

（愛知県内9校の高等学校 16テーマ）

会場 （ポスター発表）生命館 1階 休憩室・多目的

（口頭発表）地下2階 サイエンスホール

観覧者数 600 人

発表者 100 人（内訳：引率教員 12 人、高校生 88 人）

小林誠名誉館長によるビデオメッセージ投影実施

<2>当日先着で200名様にプレゼント

会場 生命館地下2階 サイエンスホールホワイエ

配付数 200 人分 ※入場者と重なるため内容2の合計に含めない

<3>出張！名大博物館

名古屋大学博物館で活動する大学生・大学院生が、研究や推しの標本を紹介

会場 生命館2階 地球工房

参加者 400 人

アンケート回答でもらえる缶バッジ100個配付

<4>展示室でビンゴ！

参加者 294 人

展示室等をめぐり、展示品についての問題をといて楽しむ。

ビンゴ3列解答でもらえるプレゼント 108 人配付

（2）高校生による科学の広場 発表

高校生たちが日頃の研究成果を持ち寄り発表する。

※詳細は上記（1）【内容2】<1>

10 あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室

（1）来室者数

49,380 人

（2）実演

「鏡にうつった姿は？」「三角形の面積を半分にしよう」「結晶をつくる」「アミノ酸ならべ」「沈めてみよう～浮力の実験～」「色からみる光の仕組み」「ウミホテルを光らせよう」の7タイトル。

709 回実施、2,981 人参加。

（3）イベント

①野依良治先生特別講演会

ア. 日 時 令和5年8月26日（土） 14:00～15:30

イ. 場 所 あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室（名古屋市科学館内）

ウ. 講演者 野依良治氏

エ. 内 容 野依良治氏による講演会及び座談会「若者が野依良治に挑む」

オ. 参加者 147 人

カ. 関連事業 「キラル触媒による不斉反応の研究」に関連する「BINAP 模型」及び「右と左の使い分けが分かる模型」の展示(7/21-8/25)

②2023 年ノーベル賞からみる最新研究講演会

ア. 日時 令和 4 年 12 月 9 日 (日) 14:00~16:30

イ. 場所 あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室 (名古屋市科学館内)

ウ. 講演者・内容

①生理学・医学賞

演題: mRNA を用いた未来の医療

講演者: 阿部洋(名古屋大学大学院理学研究科教授)

②物理学賞

演題: 「一瞬」を切り取る: アト秒光パルスがもたらしたもの

講演者: 菱川明栄(名古屋大学大学院理学研究科教授)

③化学賞

演題: 化学でつくる量子ドットとその光機能

講演者: 亀山達矢(名古屋大学大学院工学研究科准教授)

エ. 参加者 145 人

オ. 主催 愛知県、名古屋市、名古屋大学

カ. 協力 あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク

1 1 研修・講座等

○ 名古屋市立大学『総合博物学』講義 受講登録者 30 人

4 月 21 日(金) (名市大) 柏木 晴香 (科学館における生物系特別展)

4 月 28 日(金) (名市大) 木田 梨沙子 (科学館における教育普及のかたち)

5 月 12 日(金) (名市大) 堀内 智子 (展示室「人体のふしぎ」の企画)

5 月 19 日(金) (名市大) 山田 厚輔 (サイエンスショーのウラガワ)

5 月 26 日(金) (名市大) 毛利 勝廣 (天文教育におけるプラネタリウム)

6 月 2 日(金) (科学館) 山田 厚輔、毛利 勝廣 (サイエンスショーとプラネタリウム)

○ 名古屋市立大学『科学館・博物館・美術館で知る名古屋』講義 受講登録者 28 人

10 月 27 日(金) (名市大) 小林 修二 (名古屋市科学館とものづくりの街名古屋)

11 月 10 日(金) (科学館) 山田 吉孝 (名古屋市科学館のサイエンスショーのウラガワ)

11 月 17 日(金) (名市大) 藤本 雅之 (名古屋と鉄道の歴史)

11 月 24 日(金) (名市大) 持田 大作 (プラネタリウムと天文教育)

12 月 1 日(金) (科学館) 持田 大作 (名古屋市科学館の常設展とプラネタリウム)

○ 名古屋大学 基礎セミナー

期 日 5 月 11 日 (木) 参加者数 16 人

講 師 河野 樹人

会 場 展示室、天文台

○ 名古屋市理科教育研究会 講演会

期 日 5月13日(土) 参加者数 95人
講 師 野田 学
会 場 サイエンスホール

○ 名古屋市理科研究会 講演会

期 日 5月16日(火) 参加者数 35人
講 師 柏木 晴香
会 場 学習室

○ 名古屋市立向陽高等学校 国際科学科 1年生「科学館研修」

期 日 6月8日(木) 参加者数 40人
講 師 山田 厚輔、堀内 智子、藤本 雅之、木田 梨沙子
会 場 プラネタリウム、学習室

○ 愛知淑徳中学校特別講座

期 日 6月30日(金) 参加者数 280人
講 師 持田 大作
会 場 プラネタリウム

○ 研究会「プラネタリウムで俯瞰する多波長全天 / 広域サーベイ」

期 日 7月19日(木)、7月20日(金) 参加者数 57人
(現地参加 42人 オンライン 15人)
講 師 河野 樹人 他
会 場 プラネタリウム、学習室

○ 名古屋市立高等学校中堅教諭等資質向上研修(高校10年目研修)

期 日 7月21日(金)、8月3日(木) 参加者数 1人
講 師 小林 修二、持田 大作、山田 吉孝
会 場 第2実験室、サイエンスステージ 他

○ 京都工学院高等学校サイエンスツアー

期 日 7月28日(金) 参加者数 54人
講 師 小林 修二、持田 大作
会 場 プラネタリウム、学習室

○ 名古屋市小中学校生産・文化的部活動指導者研修会「科学」の部

期 日 8月25日(金) 参加者数 20人
講 師 木田 梨沙子
会 場 プラネタリウム、第2実験室

○ 私立東海中学校科学館学習

特別展に関する講演(特別展『ネコ展』)、展示室見学、プラネタリウム観覧

期 日 9月13日(水) 参加者数 375人
講 師 柏木 晴香
会 場 サイエンスホール、プラネタリウム、イベントホール、展示室

- 名古屋市立向陽高等学校 普通科 1 年生「科学館研修」
期 日 10 月 19 日（木） 参加者数 317 人
講 師 山田 吉孝、持田 大作
会 場 サイエンスホール、プラネタリウム
- 県高等学校文化連盟・自然科学専門部講習会 科学館昼の観望会
(愛知県高等学校自然科学部所属生徒)
期 日 10 月 22 日（日） 参加者数 15 人
講 師 持田 大作
会 場 プラネタリウム、天文台
- 名古屋芸術大学『博物館経営論』
期 日 11 月 2 日（木） 参加者数 57 人
講 師 鈴木 雅夫
会 場 展示室及び多目的室
- 名古屋市立大学特別講座
期 日 11 月 10 日（金） 参加者数 46 人
講 師 毛利 勝廣
会 場 プラネタリウム、天文台
- 愛知県立愛知総合工科高等学校理工科 1 年科学館研修
期 日 11 月 15 日（水） 参加者数 132 人
講 師 野田 学
会 場 愛知総合工科高等学校会議室、展示室
- 日本教育会愛知県支部名瀬ブロック講演会科学館研修
期 日 11 月 18 日（土） 参加者数 103 人
講 師 持田 大作
会 場 サイエンスホール、プラネタリウム、展示室
- 中京大学現代社会学部『博物館資料論』に関する講義
期 日 11 月 25 日（土） 参加者数 25 人
講 師 柏木 晴香
会 場 学習室
- 愛知教育大学「理科研究」校外学習
期 日 1 月 10 日（水） 参加者数 302 人
講 師 毛利 勝廣
会 場 プラネタリウム
- 金城学院中学校特別講座
期 日 1 月 11 日（木） 参加者数 337 人
講 師 持田 大作
会 場 プラネタリウム

○ 愛知県立瑞陵高等学校 理数科特別講座

期 日 1 月 16 日 (火) 参加者数 42 人
講 師 持田 大作
会 場 プラネタリウム、学習室

○ 南山中学校女子部特別講座

期 日 2 月 14 日 (水) 参加者数 165 人
講 師 高羽 幸
会 場 プラネタリウム

1 2 情報収集保存活動

(1) 情報資料室

科学に関する最新の資料の収集に努め、来館者の自発的な学習を支援するため、図書・雑誌などの資料を室内自由閲覧・自由使用に供した。

情報資料室データ（令和5年度）

備品等

備 品	図 書 類
パソコン 3 台	図書 6289 冊
インターネット用(2 台)	雑誌 17 種
事務・調査用 (1 台)	月刊誌 (13 種)
	研究機関誌 (4 種)
	新聞 1 紙
	全国科学館・博物館等資料 1,239 冊

(2) インターネット

名古屋市科学館では、平成7年度から館内コンピュータネットワークの整備と、そのインターネットへの接続を行い、各種情報の取得などに利用している。また同時に当館ウェブサイト（<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/>）の公開も開始した。

また館内には、各フロアに1台ずつ合計10台の情報検索端末が導入されている。これらはタッチパネルのみで操作でき、日本語及び英語による展示解説の閲覧や展示品の検索ができる。また、ブラウザ機能を利用しているので当館ウェブページやその他のサイトの閲覧も可能である。

ウェブサイトアクセス件数と、情報検索端末アクセス件数は下表のとおりである。

(令和5年度)

月	ウェブサイト アクセス件数	情報検索端末 アクセス件数	月	ウェブサイト アクセス件数	情報検索端末 アクセス件数
4	389,146	3,730	10	422,993	4,681
5	401,054	4,091	11	417,486	4,464
6	385,100	3,545	12	389,188	3,251
7	555,803	5,228	1	420,959	4,413
8	722,609	8,539	2	403,276	2,911
9	481,949	4,341	3	457,316	3,884
			計	5,446,879	53,078

13 令和5年度入館者状況

(1) 月別利用状況 (個人・団体別)

区 分	入館者数	営業日数	1 日平均	個 人				団 体						
				大 人	高 大 生	小 人	計	大 人	高 大 生	小 人	計	市 内 (再 掲)	市 外 (再 掲)	電子申請 (再 掲)
4 月	84,951	25	3,398	49,457	7,049	24,807	81,313	1,441	971	1,226	3,638	56	1,751	1,831
5 月	99,304	25	3,972	56,370	7,494	23,956	87,820	2,475	1,177	7,832	11,484	3,769	5,514	2,201
6 月	79,462	25	3,178	40,800	5,144	17,679	63,623	3,033	829	11,977	15,839	9,236	5,446	1,157
7 月	111,380	25	4,455	65,087	7,033	29,360	101,480	2,761	367	6,772	9,900	4,098	3,263	2,539
8 月	187,969	27	6,962	101,280	17,154	60,019	178,453	4,329	425	4,762	9,516	1,092	3,178	5,246
9 月	102,910	23	4,474	58,603	10,698	21,613	90,914	2,756	618	8,622	11,996	5,817	4,523	1,656
10 月	92,982	25	3,719	43,209	4,695	26,231	74,135	2,558	819	15,470	18,847	9,339	8,235	1,273
11 月	100,232	25	4,009	44,676	5,368	29,670	79,714	3,316	977	16,225	20,518	9,513	9,460	1,545
12 月	80,924	22	3,678	38,484	6,449	23,532	68,465	2,223	1,091	9,145	12,459	6,641	4,274	1,544
1 月	100,600	23	4,374	50,341	5,733	30,885	86,959	2,050	506	11,085	13,641	10,324	1,956	1,361
2 月	70,594	16	4,412	37,866	5,491	20,708	64,065	1,307	209	5,013	6,529	3,959	1,785	785
3 月	68,391	16	4,274	32,375	10,514	24,110	66,999	384	169	839	1,392	564	828	-
計	1,179,699	277	4,259	618,548	92,822	332,570	1,043,940	28,633	8,158	98,968	135,759	64,408	50,213	21,138
構 成 比	個人・団体別割合			59.25%	8.89%	31.86%	100.00%	21.09%	6.01%	72.90%	100.00%	47.44%	36.99%	15.57%
	全体に対する割合			52.43%	7.87%	28.19%	88.49%	2.43%	0.69%	8.39%	11.51%	5.46%	4.26%	1.79%

※ 団体には、電子申請分を含む。

※ 構成比の計が一致しないのは、端数処理による。

(2) 月別利用状況 (利用種別)

区 分	展示室とプラネタリウム				展 示 室				合 計				当月のプラ ネの割合	開館以来の プラネ累計
	大 人	高 大 生	小 人	計	大 人	高 大 生	小 人	計	大 人	高 大 生	小 人	計		
4 月	17,776	3,589	7,042	28,407	33,122	4,431	18,991	56,544	50,898	8,020	26,033	84,951	33.44	20,694,370
5 月	20,245	3,075	9,834	33,154	38,600	5,596	21,954	66,150	58,845	8,671	31,788	99,304	33.39	20,727,524
6 月	19,008	2,598	12,786	34,392	24,825	3,375	16,870	45,070	43,833	5,973	29,656	79,462	43.28	20,761,916
7 月	23,323	2,970	13,526	39,819	44,525	4,430	22,606	71,561	67,848	7,400	36,132	111,380	35.75	20,801,735
8 月	26,385	4,887	18,080	49,352	79,224	12,692	46,701	138,617	105,609	17,579	64,781	187,969	26.26	20,851,087
9 月	18,954	4,395	10,232	33,581	42,405	6,921	20,003	69,329	61,359	11,316	30,235	102,910	32.63	20,884,668
10 月	19,664	3,055	15,635	38,354	26,103	2,459	26,066	54,628	45,767	5,514	41,701	92,982	41.25	20,923,022
11 月	20,262	3,039	15,448	38,749	27,730	3,306	30,447	61,483	47,992	6,345	45,895	100,232	38.66	20,961,771
12 月	16,146	3,704	11,059	30,909	24,561	3,836	21,618	50,015	40,707	7,540	32,677	80,924	38.20	20,992,680
1 月	18,245	3,493	13,329	35,067	34,146	2,746	28,641	65,533	52,391	6,239	41,970	100,600	34.86	21,027,747
2 月	11,381	2,385	6,822	20,588	27,792	3,315	18,899	50,006	39,173	5,700	25,721	70,594	29.16	21,048,335
3 月	4,098	815	2,849	7,762	28,661	9,868	22,100	60,629	32,759	10,683	24,949	68,391	11.35	21,056,097
計	215,487	38,005	136,642	390,134	431,694	62,975	294,896	789,565	647,181	100,980	431,538	1,179,699	33.07	—
構成比	18.27%	3.22%	18.00%	33.07%	36.59%	5.34%	25.00%	66.93%	54.86%	8.56%	36.58%	100.00%	—	—

(3) 団体地域別入館者数

区 分		件 数	人 数	割 合
東 海	市 内	1,334	64,408	56.19
	愛 知	462	27,427	23.93
	岐 阜	84	4,067	3.55
	三 重	94	7,532	6.57
	静 岡	15	1,134	0.99
	計	1,989	104,568	91.23
北 陸	福 井	6	350	0.31
	石 川	4	105	0.09
	富 山	3	92	0.08
	計	13	547	0.48
甲 信 越	新 潟	1	105	0.09
	長 野	34	1,621	1.41
	山 梨	2	59	0.05
	計	37	1,785	1.56
関 東	東 京	5	250	0.22
	神奈川	3	59	0.05
	千 葉	3	139	0.12
	埼 玉	3	109	0.10
	群 馬	1	42	0.04
	栃 木	-	-	-
	茨 城	1	16	0.01
	計	16	615	0.54
近 畿	滋 賀	39	2,060	1.80
	京 都	38	2,220	1.94
	大 阪	13	538	0.47
	奈 良	8	407	0.36
	和歌山	7	488	0.43
	兵 庫	9	448	0.39
	計	114	6,161	5.38
中 国	鳥 取	1	39	0.03
	島 根	-	-	-
	岡 山	1	106	0.09
	広 島	2	63	0.05
	山 口	-	-	-
	計	4	208	0.18

区 分		件 数	人 数	割 合
四 国	徳 島	-	-	-
	香 川	-	-	-
	愛 媛	-	-	-
	高 知	-	-	-
	計	-	-	-
九 州	福 岡	3	81	0.07
	長 崎	-	-	-
	佐 賀	-	-	-
	熊 本	-	-	-
	大 分	-	-	-
	宮 崎	-	-	-
	鹿児島	-	-	-
	計	3	81	0.07
東 北	青 森	-	-	-
	岩 手	2	40	0.03
	宮 城	1	16	0.01
	秋 田	-	-	-
	山 形	-	-	-
	福 島	-	-	-
	計	3	56	0.05
北海道・ 沖縄地区	北海道	1	65	0.06
	沖 縄	-	-	-
	計	1	65	0.06
外 国	中 国	1	23	0.02
	米 国	2	102	0.09
	韓 国	7	234	0.20
	台 湾	2	71	0.06
	その他	3	105	0.09
	計	15	535	0.47
計		2,195	114,621	100

※ 電子申請分は含まない。

※ 割合の計が一致しないのは、端数処理による。

参 考 資 料

1 年度別入館者数

年 度	入 館 者 数	内プリアネリウム 入 館 者 数	営業日数 (日)	一日平均	個 人			人 計			団 体		
					大 人	中 高 生	小学生以下	計	大 人	中 高 生	小学生以下	計	市 内 市 外
昭和37	111,023	111,023	125	888	26,875	—	15,339	54,097	5,245	24,442	27,239	56,926	—
38	212,047	212,047	311	682	45,559	—	25,975	91,355	9,662	47,583	63,447	120,692	—
39	325,001	265,607	310	1,048	82,423	—	57,244	189,317	12,275	49,259	74,150	135,684	—
40	366,296	279,218	308	1,189	94,530	—	72,624	223,024	13,454	49,119	80,699	143,272	—
41	375,720	292,208	314	1,197	90,549	—	72,073	211,003	21,442	47,539	95,736	164,717	65,142
42	379,220	284,639	312	1,215	84,636	—	71,671	201,917	36,367	42,049	98,887	177,303	71,549
43	431,740	334,008	311	1,388	98,885	—	91,834	237,339	32,482	45,996	115,923	194,401	78,887
44	453,398	362,255	313	1,449	110,378	—	107,619	270,097	23,684	36,822	122,795	183,301	76,615
45	445,817	365,216	310	1,438	108,462	—	112,918	267,618	15,469	29,296	133,434	178,199	81,945
46	470,288	390,347	312	1,507	105,711	—	118,015	271,714	17,967	37,836	142,771	198,574	81,457
10年累計	3,570,550	2,896,568	2,926	1,220	848,008	—	745,312	2,017,481	188,047	409,941	955,081	1,553,069	455,595
47	464,848	374,054	311	1,495	103,054	—	130,325	280,048	12,853	29,701	142,246	184,800	72,515
48	497,966	416,138	310	1,606	116,551	—	137,816	303,229	11,461	28,636	154,640	194,737	79,338
49	510,016	429,438	308	1,656	114,693	—	141,206	300,817	13,221	32,085	163,893	209,199	81,177
50	553,795	456,725	309	1,792	139,445	—	167,510	353,448	12,400	28,378	159,569	200,347	83,613
年 度	入 館 者 数	内プリアネリウム 入 館 者 数	営業日数	一日平均	大 人			計	大 人	廃 止	中 学 生 以 下	計	市 内 市 外
					大 人	中 学 生 以 下	計						
51	495,551	407,415	282	1,757	135,069	—	166,156	301,225	17,118	—	177,208	194,326	83,852
52	501,747	394,632	296	1,695	142,757	—	163,125	305,882	15,055	—	180,810	195,865	87,483
53	519,689	386,720	296	1,756	152,733	—	174,502	327,235	17,172	—	175,282	192,454	77,568
54	515,791	391,944	296	1,743	151,304	—	164,754	316,058	17,744	—	181,989	199,733	78,791
55	593,571	390,348	296	2,005	151,989	—	150,296	302,285	57,522	—	233,764	291,286	178,904
56	477,384	381,592	295	1,618	148,900	—	136,897	285,797	14,196	—	177,391	191,587	77,275
20年累計	8,700,908	6,925,574	5,925	1,469	2,204,503	—	2,277,899	5,093,505	376,789	528,741	2,701,873	3,607,403	1,356,111
57	476,272	378,781	296	1,609	149,775	—	134,148	283,923	17,891	—	174,458	192,349	83,642
58	418,701	310,786	297	1,410	135,770	—	110,113	245,883	14,442	—	158,376	172,818	71,103
59	452,249	347,805	296	1,528	154,924	—	113,062	267,986	18,167	—	166,096	184,263	86,574
60	499,750	369,976	295	1,694	169,253	—	114,491	283,744	32,037	—	183,969	216,006	120,435
61	421,309	349,585	296	1,423	162,703	—	98,694	261,397	15,590	—	144,322	159,912	76,031
62	571,611	393,271	297	1,925	196,068	—	128,928	324,996	75,423	—	171,192	246,615	167,887
63	440,089	344,212	264	1,667	176,202	—	119,364	295,566	16,264	—	128,259	144,523	76,938
平成元	636,758	368,132	292	2,181	301,961	—	148,123	450,084	46,153	—	140,521	186,674	122,284
2	738,855	406,299	296	2,496	343,438	—	173,796	517,234	47,614	—	174,007	221,621	135,999
3	726,889	359,142	296	2,456	377,902	—	193,828	571,730	22,825	—	132,334	155,159	75,659
30年累計	14,083,391	10,553,563	8,850	1,591	4,372,499	—	3,612,446	8,596,048	683,195	528,741	4,275,407	5,487,343	2,372,663
													2,658,106

年 度	入 館 者 数	内プ・ネネット入館者数	営業日数 (日)	一日平均	個			人			団			体		
					大 人	小 学 生 以 下	計	大 人	中 高 生	小 学 生 以 下	計	市 内	市 外	市 内	市 外	計
4	709,590	365,808	295	2,405	345,654	—	566,308	21,890	—	121,392	143,282	71,870	71,412	—	—	—
5	676,276	339,482	290	2,332	334,791	—	538,765	18,980	—	118,531	137,511	72,245	65,266	—	—	—
6	684,841	310,854	273	2,509	286,342	—	563,528	30,327	—	90,986	121,313	80,964	40,349	—	—	—
7	733,520	309,803	297	2,470	342,987	—	618,538	15,254	—	99,728	114,982	58,901	56,081	—	—	—
8	680,538	290,105	295	2,307	288,377	—	573,450	12,090	—	94,998	107,088	58,336	48,752	—	—	—
9	610,342	265,050	296	2,062	244,626	—	503,999	12,218	—	94,125	106,343	61,823	44,520	—	—	—
10	711,416	287,398	295	2,412	298,300	—	601,725	13,749	—	95,942	109,691	65,938	43,753	—	—	—
11	724,128	259,983	297	2,438	321,340	—	619,712	10,796	—	93,620	104,416	66,764	37,652	—	—	—
12	544,530	248,740	296	1,840	209,759	—	447,931	10,041	—	86,558	96,599	71,320	25,279	—	—	—
13	550,524	250,887	296	1,860	205,585	—	453,542	11,549	—	85,433	96,982	70,942	26,040	—	—	—
40年累計	20,709,096	13,481,673	11,780	1,758	7,250,260	—	14,083,546	840,089	—	5,256,720	6,625,550	3,051,766	3,117,210	—	—	—
14	675,170	232,297	295	2,289	291,794	—	607,185	9,053	—	58,932	67,985	43,293	24,692	—	—	—
15	624,325	250,311	297	2,102	247,780	—	544,154	10,892	—	69,279	80,171	52,497	27,674	—	—	—
16	615,425	226,473	296	2,079	236,606	—	542,847	8,290	—	64,288	72,578	51,462	21,116	—	—	—
17	486,104	231,470	296	1,642	196,483	—	414,316	8,042	—	63,746	71,788	50,371	21,417	—	—	—
年 度	入 館 者 数	内プ・ネネット入館者数	営業日数	一日平均	大 人	中 学 生 以 下	計	大 人	中 学 生 以 下	計	市 内	市 外	市 内	市 外	計	電子申請
18	614,577	261,510	296	2,076	248,508	12,480	531,501	8,776	2,756	71,544	83,076	53,611	29,465	—	—	—
19	618,956	250,848	296	2,091	238,472	10,819	540,001	7,461	2,240	69,254	78,955	51,378	27,577	—	—	—
20	607,864	252,363	296	2,054	239,432	12,520	530,373	7,627	2,213	67,651	77,491	50,933	26,558	—	—	—
21	606,157	261,073	295	2,055	236,005	13,274	530,764	6,736	2,335	66,322	75,393	51,386	24,007	—	—	—
22	481,957	181,837	162	2,975	205,740	12,142	428,419	4,838	1,532	47,168	53,538	43,911	9,627	—	—	—
年 度	入 館 者 数	内プ・ネネット入館者数	営業日数	一日平均	大 人	中 学 生 以 下	計	大 人	中 学 生 以 下	計	市 内	市 外	市 内	市 外	計	電子申請
23	1,531,854	589,595	297	5,158	862,732	102,687	1,304,572	72,648	10,128	144,506	227,282	97,772	118,936	—	—	—
50年累計	27,571,485	16,219,450	14,606	1,888	10,253,812	163,922	20,057,678	984,452	21,204	5,979,410	7,513,807	3,598,380	3,448,279	—	—	—
24	1,303,372	564,471	296	4,403	715,968	56,793	1,070,630	82,152	10,887	139,703	232,742	106,155	107,518	—	—	—
25	1,436,926	541,255	295	4,871	806,440	71,266	1,221,720	68,908	9,609	136,689	215,206	94,216	99,472	—	—	—
26	1,394,003	522,904	296	4,709	786,788	69,898	1,197,388	54,685	9,201	132,729	196,615	85,738	90,429	—	—	—
27	1,382,275	482,431	295	4,686	782,035	70,735	1,206,469	44,623	8,705	122,478	175,806	78,779	83,189	—	—	—
28	1,379,296	511,500	296	4,660	753,314	84,098	1,199,264	45,336	7,974	126,722	180,032	66,544	88,916	—	—	—
29	1,219,416	484,810	296	4,120	649,120	58,250	1,045,209	43,571	6,692	123,944	174,207	80,902	70,315	—	—	—
30	1,354,469	484,439	295	4,591	790,688	71,616	1,184,446	38,060	7,873	124,090	170,023	80,000	68,150	—	—	—
令和元	1,328,867	432,109	268	4,958	747,099	66,314	1,182,927	34,485	6,559	104,896	145,940	68,010	54,390	—	—	—
2	263,911	117,279	244	1,082	123,050	15,770	203,674	13,443	2,973	43,821	60,237	39,161	8,583	—	—	—
3	773,655	305,315	296	2,614	391,235	52,539	694,187	15,163	4,381	59,924	79,468	43,295	21,124	—	—	—
60年累計	39,407,675	20,665,963	17,483	2,254	16,799,549	781,201	30,263,592	1,424,878	96,058	7,094,406	9,144,083	4,341,180	4,140,365	—	—	—
4	1,105,638	401,908	296	3,735	564,313	102,851	974,378	27,580	7,798	95,882	131,260	66,228	40,796	—	—	—
5	1,179,699	390,134	277	4,259	618,548	92,822	1,043,940	28,633	8,158	98,968	135,759	64,408	50,213	—	—	—
総 計	41,693,012	21,458,005	18,056	2,309	17,982,410	976,874	32,281,910	1,481,091	112,014	7,289,256	9,411,102	4,471,816	4,231,374	—	—	—

2 常設展示品（令和6年3月31日現在）

〔展示品数266点（理工館131点・天文館38点・生命館81点・大型展示4点・屋外展示9点・その他3点）〕

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
不思議のひろば 理工館2階 (34点)	ひかりのふしぎ	さんしょくのかげ	総合その他	平22	市
		かげえあそび	総合その他	平22	市
		ひかりのおえかき	総合その他	平22	市
		もじゃもじゃかがみ	総合その他	平22	市
		つかめない？	総合その他	平22	市
		はんたいかがみ	総合その他	平22	市
		あくしゅかがみ	総合その他	平22	市
		へんしんかがみ	総合その他	平22	市
		おっかけかがみ	総合その他	平22	市
		すきとおるかがみ	総合その他	平22	市
	うごきとかたちのふしぎ	ボールコースター	総合その他	平22	市
		うきでるかたち	総合その他	平22	市
		ふりこのすなもよう	総合その他	平22	市
		おどるすなもよう	総合その他	平22	市
		うかぶボール	総合その他	平22	市
		すいつくボール	総合その他	平22	市
		おちにいくかたち	総合その他	平22	市
	おとのふしぎ	ふしぎなおとのもり	総合その他	平22	市
		こだまパイプ	総合その他	平22	市
		パラボラ	総合その他	平22	市
	かんかくのふしぎ	いろいろなさっかく	総合その他	平22	市
		すべすべのて	総合その他	平22	市
		さっかくのへや	総合その他	平22	市
		ふしぎなりったい	総合その他	平22	市
		ふしぎなえんぱん	総合その他	平22	市
		きえるからだ	総合その他	平22	市
	なつかしのてんじ	あなたもさつきよくか	総合その他	平3	市
		NKSじしゃく	総合その他	昭49	寄贈
		たこのダンス	総合その他	昭39	市
		イライラぼう	総合その他	平5	市
	あそびのひろば	Go Go! しょうぼうしゃ	総合その他	平13	出品
		だまし絵サーカス	総合その他	平29	市
		じゅんすいッチ	総合その他	平28	市
		ウッディ・プレイランド	総合その他	平22	市
技術のひろがり 理工館3階 (20点)	街ではたらく機械	モノづくり都市パノラマ	交通・機械	平22	市・寄
		電車	交通・機械	平22	市
		クレーン	交通・機械	平22	市
		大型船	交通・機械	平22	市
		飛行機	交通・機械	平22	市
		ロボット	交通・機械	平22	市・寄
	機械の素	歯車	交通・機械	平1	市
		滑車	交通・機械	平22	市
		てこ	交通・機械	平22	市
		ねじ	交通・機械	平22	市
		ベルトプーリー	交通・機械	平22	市
	部品・製品をつくる	けずる	交通・機械	平22	市
		プレス	交通・機械	平22	市
		溶接	交通・機械	平22	市
		鋳物・射出成形	交通・機械	平22	市・寄
	身近な機械	ミシン	交通・機械	平22	市・寄
		自動販売機	交通・機械	平22	市・寄
		掃除機	交通・機械	平22	市・寄
		時計	交通・機械	平22	市・寄
		くらしの中の電子機器	交通・機械	平22	市・寄
科学原理とのふれあい 理工館4階 (31点)	実験のアトリエ	水の波を見る	エネルギー・物理	平22	市
		縦波と横波	エネルギー・物理	平22	市
		電磁波	エネルギー・物理	平22	市・寄
		声の振動を見る	エネルギー・物理	平22	市
		音の波を見る	エネルギー・物理	平22	市
		音のフレネルレンズ	エネルギー・物理	平22	市
		ボールの色選び	エネルギー・物理	平22	市
		偏光	エネルギー・物理	平22	市
		屈折	エネルギー・物理	平22	市
		振動する磁界	エネルギー・物理	平22	市
		磁性流体	エネルギー・物理	平22	市
		電磁石	エネルギー・物理	平22	市

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
科学原理とのふれあい 理工館 4 階 (31点)	実験のアトリエ	トムソンリング	エネルギー・物理	平22	市
		磁界のかたち	エネルギー・物理	平22	市
		モーター	エネルギー・物理	平22	市
		落ちにくい円盤	エネルギー・物理	平22	市
		モンキーハンティング	エネルギー・物理	平22	市
		加速度と距離	エネルギー・物理	平22	市
		回る水槽	エネルギー・物理	平22	市
		モーメント	エネルギー・物理	平22	市
		転がる円盤	エネルギー・物理	平22	市
	パラボラの反射	数学・情報	平22	市	
	数学	自然を数字で表す	数学・情報	平22	市
		公式と図形	数学・情報	平22	市
		物理現象に見る数学	数学・情報	平22	市
		自然現象に見る数学	数学・情報	平22	市
直線がつくる曲面		数学・情報	平22	市	
情報科学	スーパーコンピューター「京」	数学・情報	令1	市	
	二進法のしくみ	数学・情報	平22	市	
	文字のコード化	数学・情報	平22	市	
	デジタル画像	数学・情報	平22	市	
物質・エネルギーのせかい 理工館 5 階 (32点)	材料大集合	身の回りの材料大図解	物質	平22	市・寄
		重さくらべ	物質	平22	市・寄
		自転車の重さくらべ	物質	平22	市
		金属疲労	物質	平22	市
		熱伝導	物質	平22	市
		電気伝導	物質	平22	市
		弾み方	物質	平22	市
		板ばねの力くらべ	物質	平22	市
		形状記憶合金	物質	平22	市・寄
		液晶	物質	平22	市
		超はっ水と超親水	物質	平22	市・寄
		香料	物質	平22	市・寄
		熱や光で色変化	物質	平22	市・寄
		セラミックスのセンサ	物質	平22	市
		半導体	物質	平22	市
	セラミックス	物質	平22	市・寄	
	金属	物質	平22	市・寄	
	有機材料	物質	平22	市	
	原子・分子の世界	微小な世界へ	物質	平22	市
		原子の誕生	物質	平22	市
		元素周期表	物質	平22	市
		炎色反応	物質	平22	寄贈
		蛍光	物質	平22	市
		動き回る分子-ブラウン運動-	物質	平22	市
		さまざまな分子と化学結合	物質	平22	市
		水分子	物質	平22	市
	炭素	物質	平22	市	
	エネルギー	エネルギーとは	エネルギー・物理	平22	市
		世界のエネルギー事情	エネルギー・物理	平22	市
		わたしたちの主なエネルギー源	エネルギー・物理	平22	出品
エネルギーで成り立っているわたしたちの暮らし		エネルギー・物理	平22	市	
エネルギーQ&A		エネルギー・物理	平22	市	
最新科学とのであい 理工館 6 階 (14点)	地球を知る	新たな世界への挑戦	環境	平22	市
		気候変動を探る	環境	平22	市
		二酸化炭素地中貯留実験	環境	平22	市
	宇宙へ挑む	太陽を観測する～太陽望遠鏡～	天文・宇宙	平22	市
		宇宙へ到達する～H-II Bロケット～	天文・宇宙	平22	市・寄
	宇宙へ挑む	宇宙から地球を解き明かす-世界のロケットと地球観測衛星-	天文・宇宙	平22	市
		宇宙環境を利用する～「きぼう」日本実験棟～	天文・宇宙	平22	市
	地下へ挑む	地圏	環境	平22	市
		地下へ到達する-地球深部探査船「ちきゅう」-	環境	平22	市
		地下から地球を解き明かす-ボーリングコア-	環境	平22	市・出
地下から地球を解き明かす-地震観測網-		環境	平22	市	

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作 年度	備考
最新科学とのであい 理工館 6 階	地下へ挑む	地下環境を利用する-ジオプロジェクト-	環境	平22	市
	話題の科学	話題の科学 1	総合その他	平22	市
		話題の科学 2	総合その他	平22	市
宇宙のすがた 天文館 5 階 (38点)	天文学のあゆみ	古代人の宇宙	天文・宇宙	平22	市
		天動説から地動説へ	天文・宇宙	平22	市
		江戸時代の天文学	天文・宇宙	平22	市
		光学望遠鏡のしくみ	天文・宇宙	平22	市
		望遠鏡をのぞいてみよう	天文・宇宙	平22	市
		65cm望遠鏡	天文・宇宙	平22	市
		望遠鏡の大きさをくらべ	天文・宇宙	平22	市
		さまざまな波長	天文・宇宙	平22	市
		分光観測とスペクトル	天文・宇宙	平22	市
		電波天文学	天文・宇宙	平22	市
		赤外線天文学	天文・宇宙	平22	寄贈
		X線天文学	天文・宇宙	平22	出品
		市街光と星空	天文・宇宙	平17	市
		宇宙線をみる	天文・宇宙	昭52	市
	宇宙のひろがり	パワーズオブテン	天文・宇宙	平22	市
		地球	天文・宇宙	平22	市
		太陽系	天文・宇宙	平22	市
		月の満ち欠け	天文・宇宙	平22	市
		月への挑戦	天文・宇宙	平22	市
		小牧隕石	天文・宇宙	平30	市・出
		惑星の動きと万有引力	天文・宇宙	昭45	市
		惑星探査	天文・宇宙	平22	市
		宇宙を測る・宇宙を探る	天文・宇宙	平22	市
		ニュートリノ	天文・宇宙	平22	市
		星座を形づくる星々	天文・宇宙	平22	市
		星の世界	天文・宇宙	平22	市
		銀河の世界	天文・宇宙	平22	市
		銀河系と天の川	天文・宇宙	平22	市
		宇宙の果て	天文・宇宙	平22	市
	プラネタリウムの 歴史	プラネタリウムの歴史	天文・宇宙	平22	市
		アイジンガー・プラネタリウム	天文・宇宙	平22	市
		ピンホール式プラネタリウム	天文・宇宙	平22	寄贈
		ツァイスIV型プラネタリウム	天文・宇宙	平22	市
		ファイバー式プラネタリウム	天文・宇宙	平22	市
		デジタル式プラネタリウムのしくみ	天文・宇宙	令5	市
		デジスターⅡ	天文・宇宙	平29	寄贈
		デジタルタイムカプセル	天文・宇宙	平22	市
地球のすがた 生命館 2 階 (14点)	地球環境変化の 歴史	地球環境変化の歴史	環境	平10	市
	過去の地球を探る	過去の地球を探る	環境	平 8	寄贈
		地層探検ゲーム	環境	平13	寄贈
		マブサウルス	環境	平21	市
		地球を知る手がかり	環境	平28	市
	地球のデザイン	水の流れがつくる模様	環境	平10	市
		対流がつくる模様	環境	平10	市
		飛び出す雲のリング	環境	平10	市
		夕焼けをつくろう	環境	平10	市
		虹をつくろう	環境	平10	市
		地震実験装置	環境	平10	市
		地球環境ゲーム	環境	平15	市
	発見処	発見処	総合その他	平13	市
		地球工房	総合その他	平16	市
生活のわざ 生命館 3 階 (10点)	食のめぐみ	あなたの食事診断	生活	平12	市
		サイクルでサイクル	生活	平13	市
	家と都市	家のつくり	生活	平13	市
		リサイクルガーデン	生活	平13	市
		都市の地下	生活	平13	市
		都市の防災	生活	平13	市
	くらしと地球	世界のくらし	生活	昭63	市
		くらしとお天気	生活	平11	市
		環境とくらし	生活	平13	市
人体のふしぎ 生命館 4 階	うごかす・ささえる	都市気候観測ステーション	生活	平13	市
		筋肉のふしぎ/骨のふしぎ	生命	平28	市

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作 年度	備考
人体のふしぎ 生命館 4 階 (25点)	うごかす・ささえる	顔の筋肉と骨を見てみよう	生命	平29	市
		筋肉を動かしてみよう	生命	平29	市
		骨パズル	生命	平29	市
	そだつ・うけつぐ・かわる	受精から出産まで	生命	平30	市
		胎児の成長	生命	令2	市
		かわるからだ	生命	令2	市
	つたえる・かんがえる・ちょうせつする	神経系・内分泌系のふしぎ	生命	平28	市
		ミクロの文字を書いてみよう	生命	平30	市
		自分の触覚を試してみよう	生命	平30	市
		自分の反応速度を調べてみよう	生命	平30	市
	はこぶ・めぐる	脳	生命	平24	寄贈
		呼吸・循環のふしぎ	生命	平28	市
		自分の血管を見てみよう	生命	平29	市
		自分の心臓の動きを感じてみよう	生命	平29	市
	とりこむ・すてる	クイズ 呼吸・循環	生命	令2	市
		消化・吸収・排出のふしぎ	生命	平28	市
		食べ物はどこへゆく？	生命	平28	市
		消化器ギャラリー	生命	平28	市
生命のひみつ 生命館 5 階 (10点)	生きものラボ	内臓パズル	生命	平29	市
		人体ランニング	生命	令1	市
		ポーズをとってみよう	生命	令1	市
		透明人体	生命	令2	市
	細胞	からだのふしぎ	生命	令2	市
		人体ニュース	生命	令3	市
		ワンダーゲノム	生命	平23	市
		生命ラボ	生命	平23	市
	DNA	生きものギャラリー	生命	平23	市
		遺伝子ミニラボ	生命	平23	市
		細胞共和国	生命	平24	市
		細胞ラボ	生命	平24	市
	くらしと バイオテクノロジー	DNAってなんだろう？	生命	平25	市
		チャレンジ！DNA	生命	平25	市
		バイオのめぐみ	生命	平26	市
		バイオの森	生命	平26	市
あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室 生命館地下2階 (22点)	野依良治	受賞者紹介展示	物質	令2	市・県
		左と右の世界	物質	令2	市・県
		化学合成ゲーム	物質	令2	市・県
	小林誠・益川敏英	受賞者紹介展示	エネルギー・物理	令2	市・県
		地球のボールと月のボール	エネルギー・物理	令2	市・県
		物質は何からできているか	エネルギー・物理	令2	市・県
	下村脩	受賞者紹介展示	生命	令2	市・県
		蛍光タンパク質のいろいろな色	生命	令2	市・県
		オワンクラゲを捕まえよう	生命	令2	市・県
	赤崎勇・天野浩	受賞者紹介展示	交通・機械	令2	市・県
		青色の光がない世界	交通・機械	令2	市・県
		結晶の形と機能	交通・機械	令2	市・県
	大隅良典	受賞者紹介展示	生命	令2	市・県
		オートファジーのしくみ	生命	令2	市・県
		いろいろな細胞	生命	令2	市・県
	吉野彰	受賞者紹介展示	物質	令2	市・県
		リチウムイオン電池のしくみ	物質	令2	市・県
		電極カードバトル	物質	令2	市・県
	体験交流展示	ノーベルウィークの魅力	総合その他	令2	市・県
		実験ブース	総合その他	令2	市・県
		大型映像展示	総合その他	令2	市・県
	ノーベル賞解説展示	ノーベル賞解説展示	総合その他	令2	市・県

大型展示（4点）

水のひろば 理工館2・3階	くものステージ	さかのぼるあめ	総合その他	平22	市・寄
		みずのプリズム			
	あめのステージ	くものつぶとあめのつぶ			
		ころがるすいてき			
	かわのステージ	あまつぶのかたち			
		ながれとうず			
		みずのシーソー			
		いろいろなすいしゃ			

水のひろば 理工館2・3階	かわのステージ	うずをつくる	総合その他	平22	市・寄
	うみのステージ	アルキメデスのポンプ			
		おうふうポンプ			
		かいてんポンプ			
		かいてんぐるま			
		ながれあそび			
		みずでっぽう			
		ジャンボしゃぼんまく			
		りったいしゃぼんまく			
		ぶくぶくタンク			
		ポコポコタンク			
竜巻ラボ理工館3・4階	竜巻ラボ	竜巻ラボ	環境	平22	市
放電ラボ理工館4・5階	放電ラボ	放電ラボ	エネルギー・物理	平22	市
極寒ラボ理工館 5階	極寒ラボ	極寒ラボ	環境	平22	市・寄

その他（3点）

エントランスホール 理工館 1 階（2点）	エントランス展示	LE-7エンジン	天文・宇宙	平 6	出・寄
		建物の環境配慮設備	環境	平22	市
休憩室生命館 1 階	フーコーの振り子	フーコーの振り子	天文・宇宙	平22	市

屋外

屋外展示 （9点）	屋外展示	B6型蒸気機関車（調査中）	交通・機械	昭43	寄贈
		市電1400型ボギー車	交通・機械	昭49	寄贈
		H-II Bロケット	天文・宇宙	平23	寄贈
		日本実験棟「きぼう」	天文・宇宙	平23	寄贈
		南極観測用雪上車SM50S型522号車	環境	平29	出品
		ニュートンのりんごの木	エネルギー・物理	平22	寄贈
		フランス水車	エネルギー・物理	昭43	出品
		無人探査機 ドルフィン 3 K	環境	平16	出品
		風力発電装置	エネルギー・物理	平16	寄贈

分類別集計

天文・宇宙	46
物質	33
数学・情報	10
エネルギー・物理	33
交通・機械	25
生命	41
環境	25
生活	10
総合その他	43
合計	266

備考欄集計

市	201	76%
市・寄	20	8%
市・出	2	1%
市・県	22	8%
寄贈	14	5%
出品	6	2%
出・寄	1	0%
合計	266	100%

建物集計

理 2	34	
理 3	20	
理 4	31	
理 5	32	
理 6	14	131
天 5	38	38
生地下 2	22	
生 2	14	
生 3	10	
生 4	25	
生 5	10	81
大型	4	4
その他	3	3
屋外	9	9
合計		266

3 年度別決算

※職員給与は市役所費用にて一括計上のため除く

年度	経 常 費 歳 出			歳入決算 (観覧料)	総入場者 数	摘要	科学館費以外の歳出
	人件費	運営費	計				
昭和	千円	千円	千円	千円	人	千円	千円
36	—	989	989	—		※	建設費 194,900
37	1,440	13,758	15,198	6,790	111,023	※ 37. 11. 1 第一期工事(天文館)完成	建設費 245,991
38	720	22,470	23,190	12,537	212,047	※ 38. 6. 29 第二期工事(理工館)着工	建設費 200,000
39	27,569	38,513	66,082	22,523	325,001	39. 10. 30 第二期工事(理工館)完成	建設費 407,149
40	33,648	53,904	87,552	27,296	366,296		
41	36,936	58,427	95,363	27,259	375,720		
42	39,914	65,038	104,952	26,564	379,220		
43	45,075	66,429	111,504	30,839	431,740	スカイラインプロジェクト設置	
44	51,485	73,946	125,431	33,525	453,398	プラネタリウム椅子取替え	
45	58,161	77,139	135,300	32,700	445,817	プラネタリウムドーム内天井塗装	
46	69,792	89,231	159,023	34,455	470,288		
47	74,893	101,326	176,219	33,049	464,848		
48	86,034	98,959	184,993	36,261	497,966		
49	106,543	111,006	217,549	36,988	510,016		
50	148,972	164,077	313,049	40,768	553,795	S C R 調光器取替	
51	161,180	387,779	548,959	52,046	495,551		空調熱源取替 214,000
52	160,845	196,793	357,638	51,705	501,747		
53	182,537	212,063	394,600	53,053	519,689		
54	190,001	216,492	406,493	53,066	515,791		
55	198,134	223,249	421,383	55,110	593,571		
56	203,376	254,889	458,265	51,071	477,384		エレベータ取替 49,000
57	217,504	274,420	491,924	50,913	476,272		エレベータ取替 49,500
58	223,636	289,283	512,919	43,480	418,701		プラネタリウム室改修 103,000
59	229,019	288,658	517,677	69,432	452,249		天文館改修 220,000 生命館基本設計 7,000 望遠鏡設置 75,000
60	242,433	280,497	522,930	76,532	499,750		生命館実施設計 70,000
61	264,216	288,563	552,779	71,012	421,309		生命館建設(初年度分) 895,950
62	277,742	292,205	569,947	78,464	571,611		生命館建設(第2年度分) 552,200 科学館の改修(初年度分) 249,600
63	291,979	315,957	607,936	65,317	440,089		生命館建設(最終年度分) 2,415,770 科学館の改修(最終年度分) 998,400 プラネタリウムの施設整備 87,796 発券改札業務の機械化 93,090

(次ページへ続く)

年度	経 常 費 歳 出			歳入決算 (観覧料)	総入場者数	摘要	科学館費以外の歳出
	人件費	運営費	計				
平成 元	千円 311,870	千円 611,743	千円 923,613	千円 113,723	人 636,758	千円 生命館開館式典費 4,720	千円
2	324,977	593,417	918,394	130,943	738,855		
3	354,803	728,085	1,082,888	117,673	726,889	プラネタリウムオーバーホール 22,000 ハイビジョン 映像情報コーナー設置 97,000	
4	365,527	572,743	938,270	116,924	709,590	開館 30 周年記念式典	
5	373,281	609,427	982,708	107,887	676,276		
6	381,162	623,955	1,005,117	88,693	684,841		理工館冷温水発生機等整備 107,000 電源設備等復旧 328,600
7	386,952	703,174	1,090,126	106,252	733,520	プラネタリウム 新演出システム導入 64,200 福祉環境整備 42,800	天文館用熱源機器取替等整備 107,000
8	381,840	525,817	907,657	84,657	680,538	自動改札システム更新 14,097	天文館空調機取替等整備 42,800 天文館・理工館耐震診断 4,422
9	382,080	562,686	944,766	77,840	610,342	プラネタリウム 調光装置改修 17,640	理工館空調機器取替等整備 109,000
10	388,960	633,179	1,022,139	84,990	711,416	館内情報システム 電気配線工事 8,400	
11	395,080	587,541	982,621	77,413	724,128	ガス管及び水道管布設替 9,000 プラネタリウムオーバーホール 20,000	
12	388,557	548,277	936,834	63,741	544,530	スカイラインプロジェクター システム更新 5,600	
13	349,200	638,055	987,255	65,908	550,524	プラネタリウムスクリーン塗装 15,225	
14	334,800	545,151	879,951	72,087	675,170	プラネタリウム 補聴システム導入 1,597 理工館展示品更新 4,000	
15	323,000	535,052	858,052	69,271	624,325	プラネタリウム音響装置改修 4,000 出前ミュージアム 3,137	
16	297,000	487,413	784,413	62,344	615,425	プラネタリウム電源部改修 10,626 理工館・天文館改築基本構想 4,935	
17	300,832	456,635	757,467	67,213	486,104	愛・地球博記念 ロボットサッカー国際交流 10,000 科学演芸(笹島サテライト) 3,000 理工館・天文館改築基本構想 1,785	
18	321,742	476,335	798,077	68,295	614,577	プラネタリウム映像機器改修 4,798 理工館・天文館改築基本計画 40,971	
19	341,532	391,496	733,028	64,210	618,956		理工館・天文館改築 315,589

(次ページへ続く)

年度	経 常 費 歳 出			歳入決算 (観覧料)	総入場者数	摘要	科学館費以外の歳出
	人件費	運営費	計				
平成	千円	千円	千円	千円	人	千円	千円
20	335,160	387,104	772,264	66,687	607,864		理工館・天文館改築 288,640
21	326,700	380,855	707,555	73,403	606,157		理工館・天文館改築 2,421,157
22	319,464	354,918	674,382	57,573	481,957		理工館・天文館改築 12,197,788
23	274,691	601,132	875,823	333,907	1,531,854		屋外展示・外構改築 794,389
24	281,632	618,490	900,122	306,626	1,303,372		
25	289,949	617,573	907,522	277,651	1,436,926		
26	291,291	659,401	950,692	268,148	1,394,003		生命館空調動力盤交換 2,376
27	296,472	623,827	920,299	238,856	1,382,275		プラネタリウム機器の更新 151,999 天井等落下防止対策調査 8,030
28	294,690	838,348	1,133,038	240,750	1,379,296		エレベーター改修 918 生涯学習施設の大規模修繕 3,975
29	297,561	649,976	947,537	235,430	1,219,416	ノーベル賞受賞者顕彰施設整備基本計画 7,449	エレベーター改修 79,380 プラネタリウム LED 改修 27,994 生涯学習施設の大規模修繕 5,382
30	295,911	644,322	940,233	236,606	1,354,469		ノーベル賞受賞者顕彰施設整備の設計 50,406 天井落下防止対策実施設計 2,312 生涯学習施設の大規模修繕 4,846
令和 元	282,038	633,703	915,741	210,116	1,328,867		ノーベル賞受賞者顕彰施設の整備 40,159 B6 型蒸気機関車の動態展示に向けた調査等 9,793 生命館トイレ改修の設計 3,597 天井落下防止対策工事 31,696 生涯学習施設の大規模修繕 8,183
2	297,099	669,689	966,788	49,119	263,911		プラネタリウム機器の更新 68,838 ノーベル賞受賞者顕彰施設の整備 902,619 B6 型蒸気機関車の運搬等 9,679 トイレの改修 90,165 生涯学習施設の大規模修繕 9,502
3	360,159	889,735	1,249,894	136,062	773,655		生涯学習施設の大規模修繕 11,180
4	374,947	1,010,253	1,385,200	202,002	1,105,638	B6 型蒸気機関車等の展示整備に向けた基本計画の策定等 68,658	生涯学習施設の大規模修繕 8,842
5	395,830	1,203,006	1,386,625	211,241	1,179,699	B6 型蒸気機関車等の展示整備に向けた基本計画の策定等 212,211	生涯学習施設の大規模修繕 30,170

(注) 昭和 56 年度以降の人件費については、生涯学習推進職員費(平成 9 年度までは社会教育総務費、令和 2 年度までは生涯学習推進費)にて一括計上のため按分により算出

4 展示協力

協 力 者	展 示 品 名	区 分	展示場所
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	H-II ロケットメインエンジン (LE-7)	展示品出品	理工館 1 階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	H-II ロケット (模型)	展示品寄贈	理工館 1 階
立命館大学文学部心理学専攻教授 北岡明佳	さっかく	作品提供	理工館 2 階
明治大学研究・知財戦略機構特任教授 杉原厚吉	さっかく	作品提供	理工館 2 階
住友特殊金属株式会社	NKS じしゃく	展示品寄贈	理工館 2 階
名古屋市消防局	GoGo! しょうぼうしゃ	展示品出品	理工館 2 階
竹田印刷株式会社	ころがるすいてき (超はっ水シート)	物品寄贈	理工館 2 階
名古屋大学大学院工学研究科・マテリアル理工学専攻教授 高井治	ころがるすいてき	製作協力	理工館 2 階
オーストラリア国立科学技術センター	いろいろな錯覚 (ホロウマスク錯視)	物品寄贈	理工館 2 階
名古屋鉄道株式会社	モノづくり都市パノラマ (模型車両)	物品寄贈	理工館 3 階
日本車輛製造株式会社	電車	画像協力	理工館 3 階
名古屋市交通局	電車	画像協力	理工館 3 階
高木 常雄	蒸気機関車 C53 模型	物品寄贈	理工館 3 階
	蒸気機関車 C64 模型	物品寄贈	理工館 3 階
株式会社竹中工務店	クレーン	製作協力	理工館 3 階
株式会社新来島豊橋造船	大型船	画像協力	理工館 3 階
ナカシマプロペラ株式会社	大型船	画像協力	理工館 3 階
日本航空株式会社中部支社事業推進部	ものづくり都市パノラマ (航空機模型)	物品寄贈	理工館 3 階
ボーイング	飛行機	画像協力	理工館 3 階
中日本航空専門学校	飛行機	製作協力	理工館 3 階
株式会社デンソー	ロボット (産業ロボット体験装置)	装置部寄贈	理工館 3 階
	ものづくり都市パノラマ	画像協力	理工館 3 階
名古屋市立工業高等学校	けずる、溶接、鋳物・射出成形	製作協力	理工館 3 階
一般社団法人日本アルミニウム協会	プレス (アルミニウム標本)	物品寄贈	理工館 3 階
長島鋳物株式会社	鋳物・射出成形 (名古屋市型マンホールふた)	物品寄贈	理工館 3 階
	ミシン (ミシンのしくみ体験装置)	装置部寄贈	理工館 3 階
	ミシン (スケルトンミシン)	装置部寄贈	理工館 3 階
ブラザー工業株式会社	くらしの中の電子機器 (複合機・モバイルプリンター)	物品寄贈	理工館 3 階
富士電機リテイルシステムズ株式会社	自動販売機 (自動販売機)	装置部寄贈	理工館 3 階
日立アプライアンス株式会社	掃除機 (掃除機)	装置部寄贈	理工館 3 階
	掃除機 (掃除機カットモデル)	物品寄贈	理工館 3 階
リコーエレメックス株式会社	時計 (時計分解図パネル・時計部品)	物品寄贈	理工館 3 階
なるせ時計	時計	画像協力	理工館 3 階
株式会社日立製作所 中部支社	くらしの中の電子機器 (薄型テレビ)	物品寄贈	理工館 3 階
パナソニック電工株式会社	くらしの中の電子機器 (蛍光灯電球)	物品寄贈	理工館 3 階
象印マホービン株式会社	くらしの中の電子機器 (圧力IH炊飯ジャー)	装置部寄贈	理工館 3 階
平川明良	竜巻ラボ	音楽協力	理工館 3 階
株式会社デンソー	電磁波 (ミリ波レーダー)	物品寄贈	理工館 4 階
東京都立高等学校教諭 田原輝夫	音のフレネルレンズ	製作協力	理工館 4 階
独立行政法人産業技術総合研究所計量標準センター	自然を数字で表す	画像協力	理工館 4 階
独立行政法人情報通信研究所	自然を数字で表す	画像協力	理工館 4 階
理化学研究所	スーパーコンピューター「京」	物品寄贈	理工館 4 階

協 力 者	展 示 品 名	区 分	展示場所
パナソニック電工株式会社	身の回りの材料大図解（ノートパソコン筐体始め7点）	物品寄贈	理工館 5 階
大同特殊鋼株式会社	重さくらべ（金属）	装置部寄贈	理工館 5 階
	形状記憶合金（形状記憶合金）	装置部寄贈	理工館 5 階
	金属（金属標本）	物品寄贈	理工館 5 階
株式会社LIXIL	超はっ水と超親水（超親水タイル）	物品寄贈	理工館 5 階
竹田印刷株式会社	超はっ水と超親水（超はっ水シート）	物品寄贈	理工館 5 階
名古屋大学大学院工学研究科・マテリアル理工学専攻教授 高井治	超はっ水と超親水	製作協力	理工館 5 階
高砂香料工業株式会社	香料（香料）	装置素材寄贈	理工館 5 階
	炭素	装置素材寄贈	理工館 5 階
パイロットインキ株式会社	熱や光で色変化（サーモクロミズムシート）	装置部寄贈	理工館 5 階
信越化学工業株式会社	半導体	物品寄贈	理工館 5 階
日本特殊陶業株式会社	セラミックス（ファインセラミックス標本）	物品寄贈	理工館 5 階
新日本製鐵株式会社 名古屋製鉄所	金属（金属標本）	物品寄贈	理工館 5 階
日本金属株式会社	金属（金属標本）	物品寄贈	理工館 5 階
一般社団法人日本アルミニウム協会	金属（アルミニウム標本）	物品寄贈	理工館 5 階
東邦ガス株式会社	炎色反応	展示品寄贈	理工館 5 階
中部電力株式会社	わたしたちの主なエネルギー源	装置部出品	理工館 5 階
石油連盟	エネルギーで成り立っているわたしたちの暮らし	資料寄贈	理工館 5 階
ミサワホーム株式会社	極寒ラボ（南極の建築部材）	物品寄贈	理工館 5 階
国立極地研究所	極寒ラボ（防寒具）	物品寄贈	理工館 5 階
	極寒ラボ（氷）	素材協力	理工館 5 階
	極寒ラボ	製作協力	理工館 5 階
知床斜里町観光協会	極寒ラボ（氷）	素材協力	理工館 5 階
立山カルデラ博物館	極寒ラボ	製作協力	理工館 5 階
旭川市科学館	極寒ラボ	製作協力	理工館 5 階
北海道オホーツク流氷科学センター	極寒ラボ	製作協力	理工館 5 階
関西電力株式会社	極寒ラボ（氷）	素材協力	理工館 5 階
名古屋大学雪氷圏研究グループ	極寒ラボ	画像協力	理工館 5 階
株式会社テレビ朝日	極寒ラボ	画像協力	理工館 5 階
西堀栄三郎記念探検の殿堂	極寒ラボ	製作協力	理工館 5 階
名古屋海洋博物館	極寒ラボ	製作協力	理工館 5 階
有限会社キューアールシー	極寒ラボ（昭和基地付近立体地図）	物品寄贈	理工館 5 階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	宇宙へ到達する（H-II B ロケット試験機の衛星フェアリングの一部）	物品寄贈	理工館 6 階
	宇宙へ到達する（M-V ノーズフェアリングカットモデル）	物品寄贈	理工館 6 階
	宇宙環境を利用する（SFUサーマル・ブランケット）	物品寄贈	理工館 6 階
	宇宙へ到達する	画像協力	理工館 6 階
	宇宙から地球を解き明かす	画像協力	理工館 6 階
	宇宙環境を利用する	画像協力	理工館 6 階
三菱重工業株式会社	宇宙へ到達する	画像協力	理工館 6 階
川崎重工業株式会社	宇宙環境を利用する	画像協力	理工館 6 階
京都大学大学院工学研究科准教授 山田泰広	二酸化炭素地中貯留実験	製作協力	理工館 6 階
独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構	地圏-ジオスフェア	画像協力	理工館 6 階
	地下環境を利用する	資料寄贈	理工館 6 階
東北大学理学部地球科学系教授 掛川武	地圏-ジオスフェア	資料寄贈	理工館 6 階
国立科学博物館	地圏-マントルと核	画像協力	理工館 6 階

協 力 者	展 示 品 名	区 分	展示場所
独立行政法人海洋研究開発機構	地下へ到達する	画像協力	理工館 6 階
	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料出品	理工館 6 階
独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館 6 階
独立行政法人日本原子力研究開発機構	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館 6 階
	地下環境を利用する	画像協力	理工館 6 階
神奈川県温泉地学研究所	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館 6 階
DOWAホールディングス株式会社	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館 6 階
住友金属鉱山株式会社	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館 6 階
名古屋市見晴台考古資料館	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館 6 階
国際日本文化研究センター安田研究室	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館 6 階
山田亮一	地下から地球を解き明かす	製作協力	理工館 6 階
徳島大学 押村美幸	気候変動を探る	画像協力	理工館 6 階
国立極地研究所	気候変動を探る	画像協力	理工館 6 階
独立行政法人防災科学技術研究所	地下から地球を解き明かす（地震観測網）	データ協力	理工館 6 階
九州電力株式会社	地下環境を利用する	画像協力	理工館 6 階
名古屋大学博物館教授 吉田英一	地下環境を利用する	データ協力	理工館 6 階
一般財団法人日本宝くじ協会	80cm反射望遠鏡	寄贈	理工館 7 階
山田達夫	江戸時代の天文学	資料寄贈	天文館 5 階
国立天文台岡山天体物理観測所	分光観測とスペクトル（分光器）	画像協力	天文館 5 階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	赤外線天文学（「あかり（ASTRO-F）」冷却系プロトモデル）	物品寄贈	天文館 5 階
名古屋大学大学院理学研究科宇宙物理学研究室	X線天文学（X線望遠鏡（あすか衛星搭載用スペア）・X線望遠鏡1/4鏡（BBXRT試験モデル））	物品出品	天文館 5 階
国立天文台 かぐやプロジェクト	月の満ち欠け	データ協力	天文館 5 階
国立天文台 4D2Uプロジェクト	銀河の世界	データ協力	天文館 5 階
アイジンガー・プラネタリウム	アイジンガー・プラネタリウム	画像協力	天文館 5 階
金子芳江	ピンホール式プラネタリウム（金子式プラネタリウム始め8点）	物品寄贈	天文館 5 階
名古屋大学情報文化学部	デジタルタイムカプセル	製作協力	天文館 5 階
宇宙科学博物館コスモアイル羽咋	デジスターⅡ	物品寄贈	天文館 5 階
下村 脩	受賞者紹介展示（下村脩）	物品寄贈画像協力	生命館地下2階
下村明美	受賞者紹介展示（下村脩）	学術監修物品寄贈	生命館地下2階
東京大学名誉教授 馬淵一誠	受賞者紹介展示（下村脩）	学術監修製作協力	生命館地下2階
三重大学 寺西克倫	受賞者紹介展示（下村脩）	製作協力	生命館地下2階
マーティン・チャルフィー	受賞者紹介展示（下村脩）	画像協力	生命館地下2階
平田正義先生追悼記念事業会	受賞者紹介展示（下村脩）	画像協力	生命館地下2階
中部大学 大場裕一	受賞者紹介展示（下村脩）	画像協力	生命館地下2階
名古屋大学高等研究院・ITbM 水多陽子	受賞者紹介展示（下村脩）	画像協力	生命館地下2階
鶴岡市立加茂水族館	受賞者紹介展示（下村脩）	画像協力	生命館地下2階
魚津水族館	受賞者紹介展示（下村脩）	画像協力	生命館地下2階
静岡大学 大場由美子	受賞者紹介展示（下村脩）	画像協力	生命館地下2階
長崎大学薬学部	受賞者紹介展示（下村脩）	製作協力	生命館地下2階
長崎原爆資料館	受賞者紹介展示（下村脩）	画像協力	生命館地下2階
メダカバイオリソースプロジェクト	受賞者紹介展示（下村脩）	画像協力	生命館地下2階
国立感染症研究所	受賞者紹介展示（下村脩）	画像協力	生命館地下2階
大隅良典	受賞者紹介展示（大隅良典）	物品寄贈画像協力	生命館地下2階

協 力 者	展 示 品 名	区 分	展示場所
基礎生物学研究所 鎌田芳彰・倉田智子	受賞者紹介展示 (大隅良典)	学術監修物品寄贈	生命館地下2階
千葉大学 松浦 彰	受賞者紹介展示 (大隅良典)	物品寄贈	生命館地下2階
工学院大学 馬場美鈴	受賞者紹介展示 (大隅良典)	画像協力	生命館地下2階
東京大学 水島 昇	受賞者紹介展示 (大隅良典)	画像協力	生命館地下2階
名古屋大学素粒子宇宙起源研究所 棚橋誠治、南崎梓	受賞者紹介展示 (小林誠・益川敏英)	製作協力	生命館地下2階
高エネルギー加速器研究機構	受賞者紹介展示 (小林誠・益川敏英)	画像協力	生命館地下2階
小林誠	受賞者紹介展示 (小林誠・益川敏英)	物品寄贈製作協力	生命館地下2階
益川敏英	受賞者紹介展示 (小林誠・益川敏英)	製作協力	生命館地下2階
野依良治	受賞者紹介展示 (野依良治)	製作協力	生命館地下2階
名古屋大学	受賞者紹介展示 (野依良治)	画像協力	生命館地下2階
日本経済新聞出版	受賞者紹介展示 (野依良治)	画像協力	生命館地下2階
東レ株式会社	受賞者紹介展示 (野依良治)	画像協力	生命館地下2階
ハーバード大学	受賞者紹介展示 (野依良治)	画像協力	生命館地下2階
読売新聞社	受賞者紹介展示 (野依良治)	画像協力	生命館地下2階
吉野彰	受賞者紹介展示 (吉野彰)	製作協力	生命館地下2階
旭化成株式会社	受賞者紹介展示 (吉野彰)	製作協力	生命館地下2階
読売新聞社	受賞者紹介展示 (吉野彰)	画像協力	生命館地下2階
でんきの科学館	受賞者紹介展示 (吉野彰)	画像協力	生命館地下2階
名古屋大学	受賞者紹介展示 (赤崎勇・天野浩)	画像協力	生命館地下2階
名城大学	受賞者紹介展示 (赤崎勇・天野浩)	画像協力	生命館地下2階
日本経済新聞出版	受賞者紹介展示 (赤崎勇・天野浩)	画像協力	生命館地下2階
P P S 通信社	受賞者紹介展示 (赤崎勇・天野浩)	画像協力	生命館地下2階
天野浩	受賞者紹介展示 (赤崎勇・天野浩)	物品寄贈製作協力	生命館地下2階
高砂香料工業株式会社	実験ブース	物品寄贈	生命館地下2階
東京工業大学 丸山茂徳	地球環境変化の歴史	資料寄贈	生命館 2 階
財団法人東海財団	過去の地球を探る	展示品寄贈	生命館 2 階
つけち創工社	過去の地球を探る	製作協力	生命館 2 階
名古屋大学年代測定資料センター	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館 2 階
国立極地研究所	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館 2 階
信州大学理学部 原山智	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館 2 階
日本ガイシ株式会社	過冷却水製造装置	物品寄贈	実演用
	水流を曲げる実験装置	物品寄贈	実演用
	雲をつくる装置	物品寄贈	実演用
株式会社アドホック	地層探検ゲーム	展示品寄贈	生命館 2 階
一般財団法人日本宝くじ協会	家のつくり	展示品寄贈	生命館 3 階
	リサイクルガーデン	展示品寄贈	生命館 3 階
一般財団法人日本宝くじ協会	環境とくらし	展示品寄贈	生命館 3 階
	都市の地下	展示品寄贈	生命館 3 階
名古屋市立大学 消化器・代謝内科学教室	消化器ギャラリー	画像協力	生命館 4 階
名古屋大学 森健策研究室	消化器ギャラリー	画像協力	生命館 4 階
文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究「計算解剖学」、「多元計算解剖学」	消化器ギャラリー	画像協力	生命館 4 階
大阪大学大学院 安藤英由樹 NTTコミュニケーション科学基礎研究所 渡邊 淳司	自分の心臓の動きを感じてみよう	企画設計協力	生命館 4 階
医療社団法人ミオ・ファティリティ・クリニック	受精から出産まで	画像協力	生命館 4 階
名古屋第二赤十字病院	受精から出産まで	画像協力	生命館 4 階
医療法人 葵鐘会／キャスルベルクリニック	受精から出産まで	画像協力	生命館 4 階
株式会社東海銀行	透明人体 (男性像)	物品寄贈	生命館 4 階
株式会社スズケン	透明人体 (女性像)	物品寄贈	生命館 4 階
自然科学研究機構 生理学研究所	自分の反応速度を調べてみよう	企画協力	生命館 4 階
日本科学未来館	脳	展示品寄贈	生命館 4 階

協 力 者	展 示 品 名	区 分	展示場所
藤田保健衛生大学総合医科学研究所分子遺伝学研究部門	病気と遺伝について相談したくなったら	画像協力	生命館5階
理化学研究所・京都大学iPS細胞研究所	再生医療への期待	画像協力	生命館5階
藤田保健衛生大学総合医科学研究所分子遺伝学研究部門	次世代シーケンス	画像協力	生命館5階
株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング	自家培養角膜上皮	画像協力	生命館5階
株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング	自家培養表皮	画像協力	生命館5階
藤田保健衛生大学総合医科学研究所分子遺伝学研究部門	遺伝子解析	画像協力	生命館5階
藤田保健衛生大学総合医科学研究所分子遺伝学研究部門	インフルエンザウイルス検査キット	画像協力	生命館5階
藤田保健衛生大学総合医科学研究所分子遺伝学研究部門	DNAマイクロアレイ	画像協力	生命館5階
三重大学 珠玖洋・タカラバイオ株式会社	遺伝子組換えリンパ球	画像協力	生命館5階
京都大学iPS細胞研究所	iPS細胞	画像協力	生命館5階
国立研究開発法人産業技術総合研究所	イヌ用の薬を作る	画像協力	生命館5階
国立研究開発法人農業生物資源研究所	遺伝子組換え作物の研究	画像協力	生命館5階
名古屋大学生物機能開発利用研究センター 芦刈基行	遺伝子を調べて育てる	画像協力	生命館5階
名城大学	まだ見ぬ微生物を求めて	画像協力	生命館5階
名古屋大学生物機能開発利用研究センター 芦刈基行/名古屋大学生物機能開発利用研究センター 北野英己	DNAマーカー育種で品種改良	画像協力	生命館5階
愛知県農業総合試験場	地域のブランドを守る (DNA鑑定)	画像協力	生命館5階
日本モンサント株式会社	害虫の被害をふせぐ (GMトウモロコシ)	画像協力	生命館5階
(独) 農業生物資源研究所	遺伝子資源を守る (イネ・コアコレクション)	画像協力	生命館5階
日本モンサント株式会社	特定の除草剤の影響を受けない作物 (GMダイズ)	画像協力	生命館5階
ハワイパパイア協会/Dr. Dennis Gonsalves	ウイルス病を防ぐ (GMパパイア)	画像協力	生命館5階
米国デュポン社	有用な成分を増やす (高オレイン酸GMダイズ)	画像協力	生命館5階
東京大学大学院農学生命科学研究科 北本勝ひと・丸山潤一/株式会社月桂冠	伝統的な発酵技術をさらに発展	画像協力	生命館5階
株式会社デンソー	藻が作るバイオエネルギー (展示物: 藻パウダー/粗オイル/精製オイル)	展示品寄贈	生命館5階
株式会社カネカ	植物油から作る生分解バイオプラスチック (展示物: 原料植物油/抽出・精製バイオポリマー)	展示品寄贈	生命館5階
大阪府立大学 小西康裕/株式会社森下仁丹 田川大輔	微生物による有用貴金属回収 (展示物: 微生物が入ったカプセル/金属溶解液に入れた前後)	展示品寄贈	生命館5階
株式会社トヨタ自動車バイオ・緑化研究所	バイオ燃料を作る	画像協力	生命館5階
北海道鹿追町	バイオガス	画像協力	生命館5階
筑波大学・東北大学・仙台市	下水処理	画像協力	生命館5階
立命館大学 久保幹/株式会社大和ハウス工業	汚染土壌の油の除去	画像協力	生命館5階
立命館大学 久保幹	土の肥沃土診断	画像協力	生命館5階
株式会社スパイバー	微生物が作るクモの糸	画像協力	生命館5階
株式会社デンソー	藻が作るハンドクリーム	画像協力	生命館5階

協 力 者	展 示 品 名	区 分	展示場所
池谷治義	オオミジンコ	展示生物提供	生命館5階
株式会社ドキュメンタリーチャンネル 藤原英史	モジホコリ	展示生物提供	生命館5階
愛知県水産試験場	ニホンウナギ	展示生物提供	生命館5階
理化学研究所バイオリソースセンター 実験植物開発室	シロイヌナズナ	展示生物提供	生命館5階
自然科学研究機構基礎生物学研究所 長谷部光泰	ヒメツリガネゴケ	展示生物提供	生命館5階
元・名古屋大学高等研究院YLC特任助 教 田中奈月	ゼニゴケ	展示生物提供	生命館5階
池谷治義	ヘイケボタル	展示生物提供	生命館5階
中部大学応用生物学部教授 大場裕一	発光バクテリア	展示生物提供	生命館5階
NPO法人八丈島観光レクリエーション 研究会	ヤコウタケ	展示生物提供	生命館5階
自然科学研究機構基礎生物学研究所バ イオリソース研究室	GFPメダカ	展示生物提供	生命館5階
石原産業株式会社	B 6 型蒸気機関車	展示品寄贈	屋 外
名古屋市交通局	市電1400型ボギー車	展示品寄贈	屋 外
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	H-II B ロケット第1段エンジン部	物品寄贈	屋 外
	H-II B ロケット第1段 LH2 タンク	物品寄贈	屋 外
	H-II B ロケット第1段中央部	物品寄贈	屋 外
	H-II B ロケット段間部アダプタ	物品寄贈	屋 外
	H-II B ロケット強度試験用供試体	物品寄贈	屋 外
三菱重工業／独立行政法人宇宙航空研 究開発機構	日本実験棟「きぼう」	物品寄贈	屋 外
東京大学大学院理学系研究科附属植物 園（小石川植物園）	ニュートンのりんごの木	展示品寄贈	屋 外
独立行政法人海洋研究開発機構	無人探査機ドルフィン3 K	展示品出品	屋 外
名古屋城北ライオンズクラブ	風力発電装置	展示品寄贈	屋 外
公益財団法人中部科学技術センター	フランスス水車	展示品出品	屋 外
国立極地研究所	南極観測用雪上車SM50S型522号車	展示品出品	屋 外

5 特別展及び企画展

展 覧 会 名	開 催 期 間	入場者数(人)
時計の今昔展 ～昔の時計、今の時計～	昭 38. 6. 1 ～ 6. 16	8,000
電車の科学展 ～電車の知識～	10. 10～11. 10	8,000
たのしい科学玩具展 ～いろいろな科学玩具の展示～	39. 2. 1 ～ 2. 26	10,000
新しい時計展 ～近代の時計展示～	39. 6. 2～ 6. 14	—
のびゆく時計展 ～内外の新しい時計～	40. 6. 1～ 6. 13	12,000
交通の科学展 ～戦後 20 年のあゆみと近代化～	10. 27 ～11. 7	20,000
豊田佐吉生誕 100 年記念展 ～豊田佐吉に関する資料～	41. 4. 10 ～ 4. 24	50,000
鉄の本多光太郎展 ～本多光太郎に関する各種資料の展示～	42. 4. 18 ～ 5. 7	17,021
カメラの今昔展 ～懐かしいカメラ、新しいカメラの展示～	6. 4 ～ 6. 18	12,826
交通の科学展 ～交通の近代化へのあゆみ～	10. 29 ～11. 12	25,098
電力王福沢桃介生誕 100 年展 ～福沢桃介に関する資料～	43. 6. 22 ～ 7. 7	14,980
蒸気機関車展 ～蒸気機関車に関する各種資料を展示～	10. 2 ～11. 10	45,943
宇宙科学と望遠鏡展	44. 11. 1～ 11. 16	30,780
あかりの科学展	45. 11. 1～ 11. 15	20,517
日本の地震展	46. 7. 22 ～ 8. 1	—
月の石と宇宙科学展	47. 1. 9～ 1. 23	49,876
花火の科学展	47. 9. 15～10. 1	—
世界の鉄道展 ～未来の交通～	10. 29～11. 12	36,000
のびゆく国際通信展	48. 4. 24～ 5. 6	—
コペルニクス展 ～生誕 500 年～	49. 1. 4～ 1. 20	—
写真の科学展 ～写真のあゆみ～	49. 10. 27～11. 10	18,994
からくりの科学展 ～からくり人形、文献及び実演～	50. 5. 17～ 6. 1	11,112
ステレオの科学展 ～蓄音機のあゆみ～	11. 1～11. 16	20,247
写真で見る懐かしの名古屋展	51. 11. 3～11. 14	2,546
地図の科学展	52. 3. 19～ 4. 3	7,000
日本の科学技術の源流を探究	52. 10. 29～11. 13	7,263
記録で見る巨大地震	53. 1. 7～ 1. 22	5,222
日本化学会創立 100 周年記念展 ～日本の化学 100 年のあゆみ～	53. 10. 17～10. 29	5,000
消防展 ～江戸から近代消防まで～	54. 2. 17～ 3. 4	12,341
夢ののりもの科学展	54. 7. 21～ 8. 5	33,218
電気 100 年展 ～エジソン電球から L S I まで～	10. 27～ 11. 1	15,588
科学者レオナルド・ダビンチ展	55. 7. 26～ 8. 10	21,000
北京原人展 ～日本人のルーツをさぐる～	10. 18～11. 30	100,088
時計展 ～江戸から昭和初期まで～	57. 3. 6～ 3. 21	13,835
エネルギーの科学展	57. 7. 24～ 8. 15	45,102
新コミュニケーション展	58. 10. 14～11. 6	19,520
はかる ～長さ・重さ・時間～	59. 3. 17～ 3. 29	9,409
サイエンス・アート	59. 7. 25～ 8. 5	15,013
科学のひろば ～みよう、ためそう、ふれよう～	60. 8. 1～ 8. 11	15,767
恐竜イグアノドン展	10. 8～11. 24	57,594
鉄道の科学	61. 7. 26～ 8. 10	25,000
NHK 地球大紀行展	62. 4. 25～ 5. 24	100,758
ザ・カメラ展	8. 6～ 8. 16	15,767
オルゴールの科学	63. 7. 28～ 8. 7	15,799

展 覧 会 名	開 催 期 間	入場者数(人)
人類誕生 400 万年展	平元. 4. 29～ 6. 18	106, 795
第 1 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'89	7. 7～ 7. 23	5, 777
特別展 世界最新のホログラフィ	7. 29～ 9. 10	30, 260
特別展 スミソニアン ～アメリカの大発明展～	11. 3～12. 3	7, 230
特別展 発明王エジソン展	2. 4. 21～ 6. 17	78, 775
特別展 恐竜時代 ～日本と中国～	7. 21～ 8. 31	104, 335
企画展 ミクロの世界 ～細胞生物学へのとびら～	10. 20～11. 11	46, 929
企画展 世界を変えた科学書 ～科学・工学のルネサンス～	3. 4. 27～ 5. 12	33, 805
特別展 ロボットワールド ～夢と遊びを科学する～	7. 20～ 9. 1	106, 013
第 2 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'91	10. 10～11. 10	54, 691
特別展 生命の大進化解	4. 3. 20～ 5. 10	69, 039
特別展 ザ・化学展'92	4. 7. 18～ 8. 30	72, 459
企画展 ふれあい地球ひろば	11. 1～11. 12	32, 409
第 3 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'93	5. 4. 23～ 6. 6	50, 534
特別展 のりもの大集合展	7. 17～ 8. 31	88, 482
企画展 ガラスの科学展(電気室事故により途中打ち切り)	6. 3. 19～ 3. 24	8, 770
企画展 '93 名古屋タンポポ調査隊報告展	6. 7. 1～ 7. 17	28, 441
特別展 ふしぎ体感!! マジカル・サイエンス	7. 21～ 8. 31	101, 323
特別展 世界のモーターサイクル歴史展	9. 10～10. 16	30, 301
特別展 知られざるサメの世界展	11. 23～ 7. 1. 8	36, 251
企画展 エネルギー体験館 ～みよう・ふれよう電気の世界～	7. 1. 14～ 1. 29	29, 289
企画展 遺伝子のひ・み・つ	3. 18～ 4. 2	31, 118
第 4 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'95	7. 4. 28～ 6. 25	41, 855
特別展 パリ発! 科学と遊ぶ夢空間「ラ・ビレット展」	7. 22～ 8. 31	48, 637
特別企画 クリスタルワールド ① 特別展 スミソニアン博物館「大宝石・鉱物展」 ② 企画展 「結晶の科学展」	9. 9～10. 29	74, 789
特別展 シルクロード大恐竜展	8. 3. 23～ 5. 26	94, 384
特別展 ニュートンのおもしろサイエンス	8. 7. 20～ 9. 1	52, 472
特別展 大生命展	10. 10～11. 17	21, 499
特別行事 '96 青少年のための科学の祭典	11. 23～11. 24	11, 533
企画展 人間のあしのふしぎ	9. 3. 16～ 3. 30	25, 142
第 5 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'97	9. 6. 6～ 7. 6	29, 690
特別展 クジラ・イルカ大研究	7. 19～ 8. 31	51, 138
企画展 空気と遊ぼう	9. 13～ 9. 28	27, 914
超空間展'97	10. 7～10. 26	31, 326
企画展 鉄道模型 50 年のあゆみ	11. 22～11. 24	10, 480
緊急企画 ポカポカ地球は大変! 君ならどうする? ～地球温暖化を科学しよう～	10. 2. 10～ 3. 1	22, 114
特別展 うごく・かなでる楽器たち ～オーケストラからオルゴールまで～	3. 21～ 5. 10	33, 107
ミニ企画展 科学と遊ぶ木のおもちゃ展	10. 4. 1～ 6. 30	147, 197
特別展 メディアトンネル探検隊～象形文字からインターネットへ～	7. 18～ 8. 30	47, 600
特別展 大恐竜展 ～失われた大陸ゴンドワナの支配者～	10. 31～11. 1. 17	99, 484
企画展 '98 名古屋タンポポ調査隊報告展	12. 19～11. 1. 17	78, 466
特別展 鳥のルーツを探る ～恐竜は絶滅しなかった! ?～	11. 3. 20～ 5. 16	45, 218
特別展 発見!! 石の王国 ～今明かされる地球の秘密～	11. 7. 17～ 8. 31	62, 574
企画展 かがく遊び ～家でできる化学の実験～	9. 15～ 9. 26	17, 503
特別展 中部地質情報展 ～20 億年のタイムトラベル～	9. 15～10. 11	45, 529
特別展 カオを学ぶ カオで遊ぶ ～大「顔」展～	10. 30～12. 1. 30	96, 867
特別展 宇宙展 2000 ～さあ始めよう時空の旅～	12. 3. 18～ 5. 14	64, 504

展 覧 会 名	開 催 期 間	入場者数(人)
特別展 匠(たくみ)のサイエンス	平 12. 7. 15～ 8. 31	39, 140
緊急企画展 これが東海豪雨だ	10. 13～12. 28	88, 994
企画展 君も気象予報士	13. 3. 17～ 3. 31	18, 669
ゴールデンウィーク企画展 「鉄道模型であそぼう」	13. 4. 29～ 5. 6	36, 505
特別展 からだ・ふしぎ発見	7. 20～ 9. 2	59, 387
企画展 素材とかたちの科学＝建築とE. トロハ展 ～過去・現在・未来～	10. 11～10. 30	3, 517
企画展 野依良治 ノーベル化学賞への道	14. 1. 25～ 3. 3	38, 263
企画展 光とあそぼう	3. 16～ 3. 31	23, 509
特別展 目でみる『がん』展	14. 4. 13～ 6. 30	32, 395
開館 40 周年記念特別展 ロボットワールド	7. 20～ 9. 1	118, 878
企画展 鉄道模型であそぼう	11. 3～11. 4	6, 297
特別展 水俣・名古屋展	11. 16～15. 1. 13	8, 064
企画展 小柴・田中 ノーベル賞展	15. 1. 25～ 3. 2	53, 109
企画展 地球のデザイン	3. 15～ 3. 30	21, 638
特別展 手で考える!? 木組みからくり展	15. 7. 19～ 8. 31	88, 334
特別展 アート オブ スター・ウォーズ展	10. 18～12. 7	40, 272
古川為三郎サイエンス企画展 水とあそぼう	16. 3. 20～ 4. 4	26, 916
特別展 むし虫ワールド	16. 7. 18～ 8. 31	140, 661
古川為三郎サイエンス企画展 光る生きものたち ～輝く魅力と探求の浪漫	17. 3. 19～ 4. 3	19, 804
特別展 庶民の算術展	17. 4. 29～ 6. 26	3, 969
特別展 Go! Go! ゴールド	7. 16～ 8. 31	46, 018
なるほど・THE・エネルギー 科学市場	11. 3～11. 16	17, 710
古川為三郎サイエンス企画展 よみがえるレオナルド・ ダ・ヴィンチ「手稿」アイデアからの再現	18. 3. 18～ 4. 2	28, 916
特別展 のりものワールド	18. 7. 22～ 9. 3	85, 214
特別展 脳!～内なる不思議の世界へ	10. 7～12. 3	25, 170
古川為三郎サイエンス企画展 みんなで考える地球温暖化	19. 3. 17～ 4. 8	56, 219
特別展 ようこそ恐竜ラボへ～研究現場はこんなにおもしろい	3. 17～ 5. 27	57, 696
特別展 ザリガニワールド	19. 7. 21～ 9. 2	74, 334
企画展 地図記号わくわく大図鑑	9. 22～ 9. 30	14, 983
古川為三郎サイエンス企画展 よくわかる地球のこと	10. 13～10. 28	20, 110
企画展 名古屋城を科学する～ヒメボタルの巻	11. 3～20. 1. 14	70, 849
特別展 世界最大の翼竜展	20. 3. 20～ 6. 15	92, 024
特別展 発明ワールド～エジソンと日本の発明～	20. 7. 19～ 8. 31	48, 340
企画展 小林・益川・下村ノーベル賞展	21. 1. 31～ 3. 15	56, 537
古川為三郎サイエンス企画展 建築家になってみよう	3. 20～ 4. 5	27, 689
企画展 名古屋城を科学する パート2 ～本丸御殿復元の意義	3. 20～ 4. 5	27, 689
特別展 お菓子の秘密	21. 7. 18～ 8. 31	90, 521
古川為三郎サイエンス企画展 ガリレオの天体観測から 400 年 宇宙の謎を解き明かす	10. 17～11. 29	46, 225
プレ COP10 企画展 肉食恐竜マブサウルス～生命の絶滅と多様化	12. 5～ 3. 14	104, 826
企画展 電気をつくろう	12. 16～ 4. 11	148, 538
企画展 名古屋城を科学する パート3 ～石垣のナゾをときあかす	22. 3. 20～ 4. 4	32, 993

展 覧 会 名	開 催 期 間	入場者数(人)
天文館・理工館さよならフェスティバル 行こうよ、もう一度！思い出の科学館	平 22. 7. 3～ 8. 31	
特別展 ふしぎ！昆虫パワー	7. 17～ 8. 31	87, 589
COP10 開催記念企画展 生物多様性～あいちのニホンカモシカ	22. 10. 11～10. 31	24, 277
緊急企画展 小惑星探査機 はやぶさー帰還カプセル	10. 14～10. 18	17, 752
開館記念 古川為三郎サイエンス企画展 最新の映像技術 深海の不思議	23. 3. 19～ 5. 5	13, 815
特別企画 お化け屋敷で科学する！	23. 4. 23～ 6. 26	72, 886
新館開館記念特別展 黄河大恐竜展～中国・甘肅省大恐竜群の新発見～	7. 16～ 8. 31	157, 822
新館開館 1 周年記念特別展 O C E A N！海はモンスターでいっぱい	24. 3. 17～ 6. 10	105, 732
特別展 空飛ぶのりもの	24. 7. 21～ 9. 2	58, 323
企画展 見つめてふしぎ！人間の眼	11. 17～12. 2	6, 266
特別展 ドラえものの科学みらい展	25. 3. 16～ 5. 6	123, 179
特別展 深海たんけん！	25. 7. 20～ 9. 1	136, 660
企画展 [世界を変えた書物] 展	9. 13～ 9. 29	13, 770
企画展 色いろカラフルワールド	11. 16～12. 1	11, 283
特別展 チョコレート展	12. 17～26. 2. 23	108, 414
特別展 発掘！モンゴル大恐竜展	26. 3. 19～ 6. 8	121, 976
特別展 ドラゴンボールで科学する！	26. 7. 16～ 8. 31	106, 746
企画展 教授を魅了した大地の結晶 北川隆司 鉱物コレクション 200 選	9. 13～ 9. 23	7, 914
特別展 館長 庵野秀明 特撮博物館 ミニチュアで見る昭和 平成の技	11. 1～27. 1. 12	115, 054
特別展 夢と感動の宇宙展 「宇宙兄弟」ムッタとヒビトが 挑んだ空へ！	27. 3. 14～ 5. 24	88, 015
特別展 錯覚体験 ふしぎワールド！	27. 7. 18～ 8. 31	111, 605
企画展 バイオなものづくり	9. 12～ 9. 23	14, 909
特別展 生命大躍進-脊椎動物のたどった道-	10. 17～12. 13	113, 112
特別展 ポケモン研究所～キミにもできる！新たな発見～	12. 23～28. 3. 6	73, 497
特別展 恐竜・化石研究所	28. 3. 19～ 6. 12	108, 525
特別展 南極へ行こう！！～南極観測 6 0 周年記念特別展～	28. 7. 16～ 9. 4	86, 460
企画展 磁石とモーター	9. 17～ 9. 25	13, 360
特別展 チームラボアイランド 踊る！アート展と、学ぶ！ 未来の遊園地	11. 12～29. 2. 12	176, 081
特別展 恐竜の大移動～ティラノサウルス類と角竜の起源と 進化～	29. 3. 18～ 5. 28	99, 220
特別展 ロボットってなんだろう？	7. 15～ 9. 3	76, 156
企画展 さわってビックリ！見てフシギ？ 人間の皮膚	9. 16～ 9. 24	10, 938
特別展 恐竜の卵～恐竜誕生に秘められた謎～	11. 11～30. 2. 25	75, 719
特別展 マーベル展—時代が創造したヒーローの世界—	30. 3. 17～ 6. 10	132, 820

展 覧 会 名	開 催 期 間	入場者数(人)
特別展 名探偵コナン科学捜査展～真実への推 ^{アブダクション} 理～	平 30. 7. 14～ 9. 24	179, 277
企画展 私の南極展	30. 11. 3～11. 11	7, 919
特別展 スイーツ展	30. 11. 23～31. 2. 11	70, 565
特別展 血液ツアーズ「人体大解明の旅」	31. 3. 16～ 令 元. 6. 2	80, 302
特別展 絶滅動物研究所	元. 7. 6～9. 8	145, 566
企画展 国際周期表年2019特別展	元. 9. 21～9. 29	4, 299
企画展 木のおもちゃ展～遊んでわかる動きや形の不思議～	元. 11. 2～11. 10	3, 786
特別展 チームラボ☆学ぶ！未来の遊園地と、花と共に生きる動物達	元. 11. 30～2. 2. 16	204, 994
特別展 マンモス展～その「生命」の過去と未来～ ※令和2年2月29日から令和2年6月1日までの休館に伴い中止した。	2. 3. 14～6. 14	開催中止
特別展 五感で楽しむ発酵博覧会2020(仮称) ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。	2. 7. 11～9. 13	開催中止
企画展 今日から学芸員！～若手学芸員とまなぶ科学館のたのしみかた～	2. 10. 31～11. 8	6, 793
特別展 PIXARのひみつ展 いのちを生みだすサイエンス	2. 11. 28～3. 2. 23	38, 062
特別展 ノーベル賞受賞100年記念「アインシュタイン展」	3. 3. 20～6. 6	35, 790
企画展 南部陽一郎生誕100年記念展	6. 19～6. 27	1, 654
特別展 昆虫	7. 17～9. 20	93, 065
特別展 ティラノサウルス展 ～ <i>T. rex</i> 驚異の肉食恐竜～	3. 11. 13～4. 2. 13	71, 635
特別展 大地のハンター展	4. 3. 12～6. 12	71, 674
特別展「宝石 ～地球がうみだすキセキ～」	7. 9～9. 19	120, 361
開館60周年記念企画展「名古屋市科学館60年のあゆみ」	10. 29～11. 20	4, 640
企画展「小惑星探査機「はやぶさ2」 帰還カプセル・リュウグウサンプル特別公開」	11. 16～11. 23	2, 693
特別展「やってみた展 カラダで学ぶ遊園地」	4. 12. 3～5. 2. 19	40, 504
特別展「スケスケ展」	5. 3. 18～6. 11	90, 107
特別展「ネコ」～にゃんと！クールなハンターたち～	7. 15～9. 18	83, 943
企画展「プラネタリウム100周年」	9. 26～10. 22	34, 389
特別展「化石ハンター展」	5. 11. 11～6. 2. 18	68, 951
特別展「海 ー生命のみなもとー」	3. 16～6. 9	82, 225

6 観覧料の変遷

(1) 昭和 37 年 11 月 1 日 天文館開館

[全 館]	大 人	1 0 0 円
	中 人 (高等学校及び中学校生徒)	7 0 円
	小 人 (小学校児童及び幼児)	5 0 円

(2) 昭和 39 年 11 月 1 日 理工館開館

[全 館]	大 人	1 5 0 円
	中 人 (高等学校及び中学校生徒)	1 0 0 円
	小 人 (小学校児童及び幼児)	7 0 円
[天文館]	大 人	1 0 0 円
	中 人 (高等学校及び中学校生徒)	7 0 円
	小 人 (小学校児童及び幼児)	5 0 円
[理工館]	大 人	7 0 円
	中 人 (高等学校及び中学校生徒)	5 0 円
	小 人 (小学校児童及び幼児)	3 0 円

(3) 昭和 51 年 4 月 1 日 観覧料改定

[全 館]	大 人	2 0 0 円
	小 人 (中学校生徒・小学校児童及び幼児)	1 0 0 円
[展示室のみ]	大 人	1 0 0 円
	小 人 (中学校生徒・小学校児童及び幼児)	5 0 円

(4) 昭和 59 年 4 月 1 日 観覧料改定

[全 館]	大 人	3 0 0 円
	小 人 (中学校生徒・小学校児童及び幼児)	1 5 0 円

※展示室のみは据置き

(5) 平成元年 4 月 29 日 生命館開館

[全 館]	大 人	5 0 0 円
	小 人 (中学校生徒及び小学校児童)	2 0 0 円
[展示室のみ]	大 人	2 5 0 円
	小 人 (中学校生徒・小学校児童)	1 0 0 円

※ 小学校就学の始期に達するまでの者は無料

(6) 平成 6 年 4 月 1 日 観覧料改定

[全 館]	大 人	6 0 0 円
	小 人 (中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	1 0 0 円
[展示室のみ]	大 人	3 0 0 円
	小 人 (中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無 料

※ 小学校就学の始期に達するまでの者は無料

(7) 平成 18 年 4 月 1 日 観覧料改定

[全 館]	大 人	6 0 0 円
	高大生 (大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	4 0 0 円
	小 人 (小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無 料
[展示室のみ]	大 人	3 0 0 円
	高大生 (大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	2 0 0 円
	小 人 (小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無 料

(8) 平成23年3月19日 観覧料改定

[全館]	大人	800円
	高大生(大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	500円
	小人(小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料
[展示室のみ]	大人	400円
	高大生(大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	200円
	小人(小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料

利 用 案 内

開 館 時 間	午前 9 時 30 分 から午後 5 時 00 分 まで(入館は、午後 4 時 30 分 まで)							
休 館 日	(1) 月 曜 日 (祝日の場合は、直後の休日でない日)							
	(2) 毎月第 3 金曜日 (祝日の場合は、第 4 金曜日)							
	(3) 年末年始 (12 月 29 日から 1 月 3 日まで)							
観 覧 料	区 分	当 日			定期観覧券 (1 年間有効)			
		展示室とプラネタリウム		展示室のみ	展示室とプラネタリウム	展示室のみ		
	大 人	800 円		400 円	3,200 円	1,600 円		
	高 大 生	500 円		200 円	2,000 円	800 円		
	小人(中学生以下)	無 料						
	※団体は、30 人以上は 1 割引、100 人以上は 2 割引							
プラネタリウム 開演時間※	投影開始時間 (投影時間約 50 分)	10:00	11:20	12:40	14:00	15:20	16:40	
	平 日	* 学習投影 一般投影	* 学習投影 一般投影	* 学習投影 一般投影	一般投影	一般投影	一般投影	
	土曜 春・冬休み	一般投影	一般投影	一般投影	ファミリー アワー	一般投影	一般投影	
	日曜・祝日 夏休み	一般投影	ファミリー アワー	一般投影	ファミリー アワー	一般投影	一般投影	
* 平日 10:00、11:20、12:40 の回につきましては、時期により投影内容が変更となります。						定員 345 人		
実演実験 演出時間※	実演 会場		名 称	平 日		土曜・日曜・祝日及び GW とお盆の繁忙期		
	理 工 館	5 階	極寒ラボ	10:00 10:30 11:00 11:30 13:30 14:00 14:30 15:00 15:30 16:00 16:30		10:00 10:30 11:00 11:30 13:00 13:30 14:00 14:30 15:00 15:30 16:00 16:30		
				10:00 11:00 13:00 14:30 16:00		10:00 11:00 12:00 13:30 14:30 15:30 16:30		
		4 階	放電ラボ	10:30 12:30 15:00		10:30 11:30 14:30 15:30		
				11:30 13:30 15:30		11:00 12:00 14:00 15:00		
	3 階	竜巻ラボ						
		モノづくり 都市パノラマ						
	天文 館	4 階	サイエンス ステージ	11:00 14:00		11:00 13:00 14:00 15:00 16:00		
生命 館	5 階	生命ラボ	14:00		11:00 15:00			
	地下 2 階	あいち・なご やノーベル 賞受賞者記 念室 体験 交流展示 実験ブース	11:00 15:00		11:00 14:00 15:00			

※新型コロナウイルス感染症対策のため、プラネタリウムの投影回数や実演実験の演出時間・回数を、一部変更しています。

(設置)

第 1 条 近代科学に関する知識の普及啓発を目的として、次のように科学館を設置する。

名称 名古屋市科学館

位置 名古屋市中区栄二丁目 17 番 1 号

(事業)

第 2 条 名古屋市科学館（以下「科学館」という。）は、その目的達成のために次の事業を行う。

- (1) 科学に関する資料及び装置（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。次号において同じ。）を含む。）の展示
- (2) 科学に関する資料及び装置に係る電磁的記録の作成及び公開の展示
- (3) プラネタリウムによる天体運行等の映写及び天文観測の指導
- (4) 科学に関する図書の備付け並びに研究会、講習会、映画会等の開催
- (5) 科学技術に関する調査研究及び科学資料等の刊行
- (6) 学芸員その他の科学館の事業に従事する人材の養成及び研修
- (7) 科学知識の普及啓発に必要な他機関との連携及び協力
- (8) 地域における教育、学術及び文化の振興、文化観光（博物館法（昭和 26 年法律第 285 号。以下「法」という。）第 3 条第 3 項の文化観光をいう。）その他の活動の推進
- (9) その他教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める事業

(観覧料)

第 3 条 科学館に入館しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納付しなければならない。

第 4 条 削除

(観覧料の減免)

第 5 条 委員会は、次の各号に掲げる者について、それぞれ当該各号に定める額を、別表に規定する個人の観覧料の額から減免する。ただし、第 1 号に定める額を減免した後の観覧料の額が 100 円未満となる場合の観覧料の額は、100 円とする。

- (1) 市内に住所を有する 65 歳以上の者 当該観覧料の 3 分の 2 の額（100 円未満の端数は、切り上げる。）
- (2) 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条に規定する身体障害者手帳の交付を受けている者その他の教育委員会規則で定める者 当該観覧料の全額

2 前項に定めるもののほか、委員会は、特別の事由があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料等の不還付)

第 6 条 既納の観覧料及び料金は、還付しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めたときは、これらの全部又は一部を還付することができる。

(秩序保持)

第 7 条 次の各号の一に該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

- (1) でい酔者又は伝染性の疾患があると認められる者
- (2) 管理上必要な指示に従わない者

- (3) その他管理上支障があると認められる者
(損害賠償等)

第 8 条 建物、展示品、図書及びその他の器物を損傷し、又は滅失させた者は、これらを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(職員)

第 9 条 科学館に、館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(科学館協議会)

第 10 条 法第 23 条第 1 項の規定に基づき、科学館に名古屋市科学館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15 人以内とする。

3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、委員会が委嘱する。

4 委員の任期は、2 年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 委員会は、特別の事由があると認めるときは、任期中においても、委員を解任することができる。

(観覧時間等)

第 11 条 科学館の観覧時間及び休館日等に関しては、教育委員会規則で定める。

附 則 抄

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 科学館の一般公開を開始する日は、市長が定める。

附 則（昭和 39 年条例第 64 号）

この条例は、昭和 39 年 11 月 1 日から施行する。

附 則（昭和 41 年条例第 19 号）

この条例は、名古屋都市計画事業復興土地地区画整理事業施行地区内の中第 1 工区及び中第 2 工区に係る土地地区画整理事業の換地処分公告があった日の翌日から施行する。

附 則（昭和 51 年条例第 17 号）

この条例は、昭和 51 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（昭和 55 年条例第 10 号）

この条例は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（昭和 59 年条例第 26 号）

この条例は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成元年条例第 4 号）

この条例は、平成元年 4 月 29 日から施行する。

附 則（平成 6 年条例第 7 号）

この条例は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 6 年条例第 17 号）

この条例は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 17 年条例第 112 号）

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 22 年条例第 5 号）

- 1 この条例の施行期日は、規則で定める。（平成 23 年規則第 2 号で平成 23 年 3 月 19 日から施行）
- 2 この条例による改正前の名古屋市科学館条例別表の定期観覧券を使用する場合に係るこの条例の施行の日以後の使用については、なお従前の例による。

附 則（平成 24 年条例第 8 号）

この条例は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（令和 5 年条例第 11 号）

この条例は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

別表

区分	観覧料の額			
	1 回券（1 人につき）			定期観覧券 （1 年券）
	個人	団体		
		30 人以上 100 人未満	100 人以上	
一般	800 円 (400 円)	720 円 (360 円)	640 円 (320 円)	3, 200 円 (1, 600 円)
大学生又は高校生	500 円 (200 円)	450 円 (180 円)	400 円 (160 円)	2, 000 円 (800 円)

備考

- 1 一般とは、15 歳以上の者（「大学生又は高校生」及び中学校又はこれに準ずる学校に在学する者を除く。）をいう。
- 2 大学生又は高校生とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは各種学校又はこれらに準ずる学校に在学する者をいう。
- 3 小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校又はこれらに準ずる学校に在学する者は、無料とする。
- 4 （ ）内の額は、科学館のプラネタリウム室を利用しない者が科学館に入館しようとする場合に適用する。
- 5 特別装置の展示、映画会の開催その他の特別の催しをする場合における観覧料の額は、この表に定める 1 回券の金額を超え当該金額に 3 を乗じて得た額までの金額とすることができる。
- 6 特殊の装置を自ら運転する者は、この表に定める観覧料のほか、委員会が定める料金を納付しなければならない。

(趣旨)

第 1 条 名古屋市科学館条例(昭和 37 年名古屋市条例第 27 号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項は、別に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(開館時間等)

第 2 条 名古屋市科学館(以下「科学館」という。)の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとし、科学館に入館することができる時間(次項において「入館時間」という。)は、午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分までとする。

2 教育委員会(以下「委員会」という。)は、必要があると認めるときは、前項の開館時間又は入館時間を変更することができる。

(休館日)

第 3 条 科学館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号。以下「法」という。)に規定する休日にあたるときは、その直後の法に規定する休日でない日)

(2) 毎月第 3 金曜日(法に規定する休日にあたるときは、第 4 金曜日)

(3) 12 月 29 日から 1 月 3 日まで

2 委員会は、特に必要があると認めるときは、休館日を臨時に定め、又は前項の休館日を変更することができる。

(団体の人員の計算)

第 4 条 条例別表に規定する団体の人員の計算は、団体を構成する総人員(観覧料を納付しない者を除く。)によって行う。

(観覧券)

第 5 条 観覧料の徴収と引き換えに、観覧券を発行する。ただし、委員会が特別の事由があると認めたときは、観覧料を後納させることができる。

(観覧券の種類)

第 6 条 観覧券は、科学館観覧券、科学館(プラネタリウム室を除く。)観覧券、団体観覧券、団体観覧券(プラネタリウム室を除く。)、定期観覧券及び定期観覧券(プラネタリウム室を除く。)とする。

2 条例別表に規定する特別装置の展示、映画会の開催その他の特別の催しをする場合においては、前項の規定にかかわらず、その都度、当該特別の催しを象徴するような特別観覧券を発行することができる。

3 観覧券の様式は、別に定める。

第 7 条 削除

(観覧券の改札)

第 8 条 観覧券の発行を受けた者は、入口において観覧券の改札を受けなければならない。
(観覧料の減免)

第 9 条 条例第 5 条第 1 項第 2 号に規定する規則で定める者は、次に掲げる手帳、受給者証等のいずれかの交付を受けている者とする。

- (1) 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条に規定する身体障害者手帳
- (2) 戦傷病者特別援護法（昭和 38 年法律第 168 号）第 4 条に規定する戦傷病者手帳
- (3) 原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（平成 6 年法律第 117 号）第 2 条に規定する被爆者健康手帳
- (4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条に規定する精神障害者保健福祉手帳
- (5) 市長の発行する愛護手帳（これに類する療育手帳等を含む。）
- (6) 難病の患者に対する医療等に関する法律（平成 26 年法律第 50 号。以下「難病法」という。）第 7 条第 4 項に規定する医療受給者証
- (7) 難病法第 28 条第 2 項に規定する指定難病要支援者証明事業により発行される登録者証
- (8) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成 17 年法律第 123 号。以下「障害者総合支援法」という。）第 22 条第 8 項に規定する障害福祉サービス受給者証（障害者総合支援法第 4 条第 1 項の政令で定める特殊の疾病による障害の程度が主務大臣が定める程度である者（以下「特殊疾病者」という。）に係るものに限る。）
- (9) 障害者総合支援法第 51 条の 7 第 8 項に規定する地域相談支援受給者証（特殊疾病者に係るものに限る。）
- (10) 市長の発行する移動支援・地域活動支援受給者証（これに類するものを含む。）（特殊疾病者に係るものに限る。）

2 条例第 5 条第 2 項の規定により観覧料を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- (1) 幼稚園、小学校若しくは中学校又はこれらの学校に準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として幼児、児童又は生徒の引率者が入館する場合 観覧料の全額
- (2) 市内の高等学校又はこの学校に準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として生徒及びこれらの者の引率者が入館する場合 観覧料の 5 割相当額
- (3) 児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）に規定する児童福祉施設に入所している児童及びその引率者が教育上の目的で入館する場合 観覧料の全額
- (4) 前項に定める者に同行する介護者（前項に定める者 1 人につき 2 人以内に限る。）が入館する場合 観覧料の全額
- (5) 市内に住所を有する 65 歳以上の者（以下「市内の高齢者」という。）が定期観覧券により入館する場合 観覧料の額に 3 分の 2 を乗じて得た額（100 円未満の端数は、

切り上げる。)

- (6) 市内の高齢者が条例別表に規定する団体の構成員として入館する場合 次の表に定める額

区分	団体	
	30 人以上 100 人未満	100 人以上
一般	540 円 (270 円)	480 円 (240 円)
大学生又は高校生	360 円 (90 円)	320 円 (80 円)
備考 ()内の額は、科学館のプラネタリウム室を利用しない者が科学館に入館しようとする場合に適用する。		

- (7) その他委員会が特別の事由があると認める場合 その都度委員会が定める額
(観覧料の減免申請手続)

第 10 条 前条第 2 項（第 4 号から第 6 号までを除く。）の規定による観覧料の減免を受けようとする者は、観覧料減免申請書（別記様式）を委員会に提出しなければならない。ただし、同項第 7 号の規定による場合において委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

(共通観覧券)

第 10 条の 2 委員会は、必要があると認めるときは、他の施設との共通観覧券を発行することができる。

2 前項の共通観覧券の様式は、別に定める。

(優待券等)

第 11 条 委員会は、必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

(観覧券付クーポン)

第 12 条 委員会は、特に必要があると認める場合に限り、旅客輸送を主たる業務とする者又は旅行業法（昭和 27 年法律第 239 号）により旅行業の登録を受けた者と共同して観覧券付クーポンを発行することができる。

2 前項の観覧券付クーポンを発行する場合の観覧料の額は、そのつど委員会が定める。

(観覧料の還付)

第 12 条の 2 条例第 6 条ただし書の規定により既納の観覧料の全部又は一部を還付する場合は、次のとおりとする。

- (1) 科学館の展示室又はプラネタリウム室（以下「展示室等」という。）を利用しようとする者の責めに帰することのできない理由によって展示室等を利用することができ

なくなったとき。

(2) その他委員会が特別の理由があると認めるとき。

(協議会の会長及び副会長)

第 13 条 名古屋市科学館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長 1 人を置き、それぞれ委員の互選により定める。

2 会長及び副会長の任期は、1 年とする。ただし、再任を妨げない。

3 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第 14 条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、定例会及び臨時会とする。

3 定例会は、毎年 2 回招集する。

4 臨時会は、必要に応じて招集する。

5 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

6 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(説明又は資料の請求等)

第 15 条 会長は、会議において関係職員に対し説明又は資料の提出を求めることができる。

2 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

(協議会の庶務)

第 16 条 協議会の庶務は、科学館において行う。

(委任)

第 17 条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

1 この規則は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

2 この規則施行の際現に市立名古屋科学館条例施行細則(昭和37年名古屋市規則第70号。以下「旧規則」という。)の規定に基づく優待券を所持する者の使用については、なお従前の例による。

3 この規則施行の際現に旧規則に基づいて提出されている観覧料減免申請書は、この規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。

4 この規則施行の際現に旧規則の規定に基づいて調製されている観覧券及び観覧料減免申請書は、残量のある限り、使用することができる。ただし、観覧料減免申請書については、この規則の様式の要件を満たすよう修正するものとする。

〔中略〕

附 則（令和元年教育委員会規則第 2 号）

- 1 この規則は、令和元年 7 月 1 日から施行する。
- 2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて提出されている申請書等は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。
- 3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて交付されている許可書等は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて交付されたものとみなす。
- 4 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて作成されている用紙で残量のあるものについては、この規則による改正後の各規則の規定にかかわらず、当分の間、修正して使用することができる。

附 則（令和 5 年教育委員会規則第 15 号）

この規則は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

別記様式(第 10 条関係)

名古屋市科学館観覧料減免申請書	
年 月 日 (宛先) 名古屋市教育委員会 (申請者) 住 所 (団体は主な事務所の所在地及び名称) 氏 名 (団体は代表者氏名) 電話 自宅 (団体は主な事務所) 勤務先 次のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。	
観 覧 の 種 別	
観 覧 年 月 日	年 月 日
観 覧 の 人 員	
引率者の職氏名	
観 覧 の 目 的	
減免を受けよう とする理由	
減免を受けよう とする金額	
そ の 他	

(備考) 用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

位置略図



交通アクセス

- 地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」下車 4,5番出口から南へ徒歩5分
- 市バス「広小路伏見」下車 南へ徒歩5分
- 名鉄バス「白川公園前」下車 北へ徒歩5分

名古屋市科学館要覧

(令和6年度)

発行 名古屋市科学館
発行年月 令和6年8月



〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目 17 番 1 号

(芸術と科学の杜・白川公園内)

TEL (052) 201-4486

FAX (052) 203-0788

団体予約専用 TEL (052) 231-9771

インターネットホームページ <http://www.ncsm.city.nagoya.jp/>